代議員総会・会員総会・評議員会

■日時：11 月 21 日（土）12：40 ～ 13：40
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター　3F　コンベンションホール）

※代議員総会・会員総会・評議員会およびシミック賞・レッドリボン賞・ECC 奨励賞・優秀演題賞の授賞式ならびに ECC 奨励賞受賞者からのお言葉をいただきます。

※参加者は学会員に限ります。

日本エイズ学会学会賞受賞講演
シミック賞・レッドリボン賞

日時：11 月 21 日（土）13：40 ～ 14：10
会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター　3F　コンベンションホール）

日本エイズ学会 学会賞受賞講演 シミック賞・ レッドリボン賞	**座長**　俣野哲朗（国立健康危機管理研究機構）

Plenary Lecture 1

■日時：11 月 20 日（金）10:30 ～ 11:30
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

Plenary Lecture 1 臨床・C	**座長**　俣野哲朗（国立健康危機管理研究機構）

■演者

PL01　**HIV Prevention: No Time to Lose**

Linda-Gail Bekker
Desmond Tutu HIV Centre, Institute of Infectious Disease and Molecular Medicine, University of Cape Town, South Africa

Plenary Lecture 2

■日時：11 月 21 日（土）10:10 ～ 11:10
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

Plenary Lecture 2 臨床・C	**座長**　村松　崇（東京医科大学臨床検査医学科）

■演者

PL02　**Challenges in Late Diagnosis of HIV**

Anton Pozniak
Chelsea and Westminster Hospital and London School of Hygiene & Tropical Medicine, London, UK

会長講演

■日時：11 月 21 日（土）14:10 ～ 14:25
■会場 : 第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

会長講演	**座長**　俣野哲朗（国立健康危機管理研究機構）

■演者

CH01　**行政、CBO、医療機関が協働した HIV 検査体制の構築**

和田秀穂
川崎医科大学総合臨床医学／川崎医科大学附属病院 エイズ治療センター

シンポジウム「治療の手引き」

■日時：11 月 22 日（日）13:40 ～ 15:40
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）
■中継：第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

シンポジウム「治療の手引き」臨床・C	**座長**	満屋裕明（国立健康危機管理研究機構） 岡　慎一（国立健康危機管理研究機構） 潟永博之（国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター）

■演者

はじめに

満屋裕明
国立健康危機管理研究機構

What's New

潟永博之
国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

TR01-1　イドビンソの処方経験

南　留美
国立病院機構九州医療センター

TR01-2　吾輩は Lenacapavir である。―カプシド阻害薬が拓く HIV 治療の現在と未来―

今橋真弓
国立病院機構名古屋医療センター

TR01-3　ワクチン審査の現状～新規 B 型肝炎ワクチンの導入に向けて～

塩川智規
医薬品医療機器総合機構

TR01-4　ゼロプロの新たな展開～一般国民への感染予防のメッセージと一般社団法人つなごう未来へ推進協議会との連携など～

白阪琢磨
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター

終わりに

岡　慎一
国立健康危機管理研究機構

シンポジウム

■日時：11 月 20 日（金）8:30 ～ 10:00
■会場 : 第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

シンポジウム 1 **基礎・B/ 社会・S / 臨床・C**	**身体障害・自立支援医療の認定基準について**	**座長**	井上洋士（日本エイズ学会早期治療推進検討委員会／株式会社アクセライト） 田沼順子（国際医療福祉大学）

■演者

SY01-1 **早期治療の意義と臨床現場での課題**
四本美保子
東京医科大学病院臨床検査医学科

SY01-2 **身体障害者・自立支援医療の認定基準について**
葛田衣重
千葉大学医学部附属病院

SY01-3 **指定自立支援医療機関について**
三嶋一輝
福井大学医学部附属病院

SY01-4 **HIV 陽性判明後、10 年半にわたり治療開始の制度から排除された当事者の経験**
生島　嗣
特定非営利活動法人ぷれいす東京

■日時：11 月 20 日（金）8:30 ～ 10:00
■会場 : 第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

シンポジウム 2 **社会・S**	**「見えない存在」から「知ってもらう社会」へ―HIV/AIDS 差別ゼロに向け当事者はどこまでかかわるべきか―**	**座長**	灰　来人（認定NPO法人魅惑的倶楽部 福岡コミュニティセンター HACO）／ notAlone Fukuoka HIV 陽性者交流会） 戸ヶ里泰典（放送大学）

■演者

SY02-1 **カミングアウトをめぐる「強い主体」と「弱い主体」**
本郷正武
桃山学院大学社会学部

SY02-2 **当事者中心主義の陥穽 ― 当事者だけに依存しないエイズ対策に向けて**
田丸りりぃ
関西大学人権問題研究室／ SWASH ／ MASH 大阪

SY02-3 **差別低減に向けての課題―ハンセン病研究の視点から**
蘭由岐子
追手門学院大学

SY02-4 **福岡県における医療介護福祉等従事者への HIV パブリックスティグマ対策の取り組み**
首藤美奈子
国立病院機構　九州医療センター

指定発言
つとむ
notAlone fukuoka HIV 陽性者交流会

シゲ
日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

■日時：11 月 20 日（金）8:30 ～ 10:00
■会場：第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

シンポジウム 3 **臨床・C**	**HIV 感染女性のライフステージを支える** ※「認定講習会・薬剤師」としても申請可能	**座長**	白野倫徳（大阪市立総合医療センター） 羽柴知恵子（独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター）

■演者

SY03-1 **日本における HIV 感染女性の現状と課題**
白野倫徳
大阪市立総合医療センター　感染症内科

SY03-2 **HIV 感染女性の妊娠出産について**
山田里佳
JA 愛知厚生連海南病院

SY03-3 **HIV 感染女性のライフステージを支える薬剤選択と薬剤師の視点**
松木克仁
国立病院機構名古屋医療センター薬剤部

SY03-4 **HIV 陽性女性の「その人らしい人生」を支える―ライフステージに寄り添う看護の実践**
羽柴知恵子
独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

■日時：11 月 20 日（金）12:50 ～ 14:20
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

シンポジウム 4 **基礎・B**	**次世代抗 HIV 薬の最新知見**	**座長**	高折晃史（京都大学医学研究科） 杉浦　亙（国立健康危機管理研究機構）

■演者

SY04-1 **第 3 世代インテグラーゼ阻害剤探索戦略と開発候補品 S-365598（VH4524184）の創製**
吉永智一
塩野義製薬株式会社　創薬疾患研究所　感染症 / グループ

SY04-2 **AIDS と HIV 感染症との戦い：AZT から islatravir へ**
満屋裕明
国立健康危機管理研究機構　国立国際医療研究所

■日時：11 月 20 日（金）12:50 ～ 14:20
■会場 : 第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

シンポジウム 5 **基礎・B/ 臨床・C / 社会・S**	**横断的シンポジウム　高齢化に関する横断的シンポジウム** ※「認定講習会・薬剤師」としても申請可能	**座長**　宇野健司（南奈良総合医療センター　感染症内科） 岡本　学（大阪医療センター）

■演者

SY05-1 **HIV 感染者の慢性炎症 : 腸内環境からの新たな視点**

石坂　彩

国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　エイズ研究センター

SY05-2 **People with HIV の健康な高齢化を支える：日本のデータと地域ケアの課題**

仲村秀太

琉球大学大学院医学研究科　感染症・呼吸器・消化器内科学講座

SY05-3 **PWH 視点からみた日本の Aging PWH の課題**

井上洋士

株式会社アクセライト

■日時：11 月 20 日（金）12:50 ～ 14:20
■会場 : 第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

シンポジウム 6 **社会・S**	**病院以外に社会に居場所を創る～地域で取り組む就労支援の現場での取り組み～**	**座長**　大里文誉（九州医療センター） 森田眞子（大阪医療センター　臨床心理室）

■演者

SY06-1 **HIV 陽性であることに起因する就労上の課題と障害者雇用枠での就労について**

高久陽介

特定非営利活動法人 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

SY06-2 **地域啓発として、支援者対象の HIV/AIDS の基礎知識研修（職業能力開発講座）の開催報告**

檜垣美抄

広島市健康福祉局障害福祉部障害自立支援課

SY06-3 **疾患理解から始まる就労支援～本人の社会生活の幅を広げるために～**

田中　望

ウェルビー株式会社　ウェルビー横川駅前センター

SY06-4 **HIV 陽性者が安心できる就労環境を創るための医療機関の役割と地域連携の実践**

重信英子

広島大学病院

■日時：11 月 20 日（金）14:30 ～ 16:30
■会場 : 第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

シンポジウム 7 基礎・B	**越境する免疫学：感染免疫と腫瘍免疫から学ぶ次世代 HIV 治療戦略**	**座長**	山本拓也（医薬基盤・健康・栄養研究所　難病・免疫ゲノム研究センター） 山本浩之（国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　エイズ研究センター）

■演者

SY07-1 **IFN-γ を介した結核防御メカニズムの再解釈**
酒井俊祐
北海道大学 総合イノベーション創発機構ワクチン研究開発拠点

SY07-2 **幹細胞性とエフェクター機能を両立する疲弊 CD8T 細胞の創出**
高村史記
理化学研究所　生命医科学研究センター

SY07-3 **CD8$^+$ T 細胞クローンの動員・置換・維持―腫瘍免疫とワクチン応答からみる持続的免疫の原理―**
上羽悟史
東京理科大学 生命医科学研究所

SY07-4 **同種 iPS 細胞に由来するがん治療用抗原提示細胞の開発**
植村靖史
国立がん研究センター

■日時：11 月 21 日（土）8:30 ～ 10:00
■会場 : 第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

シンポジウム 8 臨床・C	**日本エイズ学会認定講習会（医師） 日和見感染症、合併症**	**座長**	齊藤誠司（国立病院機構福山医療センター感染症内科） 今北菜津子（奈良県立医科大学）

■演者

SY08-1 **HHV-8 関連疾患の臨床像と治療戦略 - 全国調査データと自験例を踏まえて**
照屋勝治
国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

SY08-2 **サイトメガロウイルスの診療経験と最新知見**
青木孝弘
国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

SY08-3 **アメーバ赤痢の世界（基礎と臨床）**
渡辺恒二
東海大学医学部　基礎医学系生体防御学領域

■日時：11 月 21 日（土）8:30 ～ 10:30
■会場 : 第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

シンポジウム 9 社会・S

在日外国人の動向把握と予防啓発・検査・治療支援をつなぐ

座長 高久道子（岐阜保健大学）
金子典代（名古屋市立大学）

■演者

SY09-1 **外国籍 HIV 感染者の動向とサーベイランスに現れにくい外国籍者**
松岡佐織
国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所エイズ研究センター

SY09-2 **保健所等における HIV 検査の多言語化**
北島　勉
杏林大学総合政策学部

SY09-3 **外国籍 HIV 陽性者の「暮らし」を治療につなぐ看護**
―多言語対応から始める地域連携とセルフケア支援―
羽柴知恵子
独立行政法人国立病院機構　名古屋医療センター

SY09-4 **だれもがつながる地域医療・保健を目指してソーシャルワーカーができること**
重信英子
広島大学病院

SY09-5 **外国籍 HIV 陽性者の直面する課題と市民社会の役割**
青木理恵子
認定 NPO 法人 CHARM

■日時：11 月 21 日（土）8:30 ～ 10:00
■会場 : 第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

シンポジウム 10 基礎・B

HIV ライフサイクルの理解から治癒戦略へ

座長 池田輝政（熊本大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター）
浦野恵美子（医薬基盤・健康・栄養研究所）

■演者

SY10-1 **Fibroblastic reticular cells promote permissiveness of CD4+ T cells to HIV-1 infection**
村上知行
East Carolina University Brody School of Medicine, Department of Microbiology and Immunology

SY10-2 **hMRC1 を起点とした HIV-1 感染増殖制御：新規宿主因子の探索とその分子基盤**
助川明香
東京科学大学大学院医歯学総合研究科ウイルス制御学分野

SY10-3 **治癒を目指したイムノペプチドミクスによる HIV 抗原探索**
近田貴敬
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

SY10-4 **ART 下に残存する誘導性 HIV 転写リザーバー：Env 抗原暴露と炎症・血管障害をつなぐ新たな病態仮説**
松田幸樹
鹿児島大学ヒトレトロウイルス共同研究センター

■日時：11 月 21 日（土）14:40 ～ 16:40
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

シンポジウム 11
臨床・C

HIV スクリーニング検査のいろいろな姿

座長
今橋真弓（名古屋医療センター臨床研究センター 感染・免疫研究部）
池田詩子（宮の森レディースクリニック）

■演者

SY11-1 **あったらいいな、その検査！アンメットニーズから創る未来の HIV スクリーニング ～人を検査に合わせるのではなく、検査を人に合わせる HIV スクリーニングへ～**

田島靖久
浜松医療センター　感染症内科 / 光産業創成大学院大学 バイオフォトニクスデザイン分野

SY11-2 **病原体検査における検体種に関して -HIV 検査におけるうがい液利用の検討へ -**

花岡　希
国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所

SY11-3 **沖縄県が実施している検査機会拡充の取り組みについて**

宮平勝人
沖縄県保健医療介護部地域保健課

SY11-4 **「おかやまエイズ感染防止作戦」の歩みと新たな展開**

山本健太
岡山県保健医療部疾病感染症対策課

コメンテーター

太田ふとし
やろっこ

げいまきまき
SWASH/MASH 大阪

■日時：11 月 21 日（土）14:40 ～ 16:40
■会場：第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

シンポジウム 12
臨床・C

薬害エイズ和解 30 周年企画

※「認定講習会・薬剤師」としても申請可能

座長
澤田暁宏（兵庫医科大学　血液内科）
上村　悠（国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター）

■演者

SY12-1 **日本のエイズ／薬害エイズ　和解成立まで**

清水　勉
東京 HIV 訴訟原告弁護団／弁護士（東京弁護士会）

SY12-2 **HIV 感染血友病肝硬変症例への生体肝移植について**

立川夏夫
名寄東病院

SY12-3 **エイズ治療の夜明け前**

岡　慎一
国立健康危機管理研究機構

SY12-4 **必要な場所に必要な支援を―医療から生活までを支える長期療養体制**

藤谷順子
国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター

SY12-5 **薬害エイズの経験を未来へつなぐ - 孤立とスティグマを越えて次世代とともに考える医療 -**

近澤悠志
東京医科大学　臨床検査医学分野

■日時：11 月 22 日（日）8:30 ～ 10:30
■会場：第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

シンポジウム 13
社会・S

2030 年エイズ流行終結に向けた予防啓発と CBO の役割 ―「予防の医療化」の時代に CBO は何を担い、何を必要とするか―

座長
灰　来人（認定 NPO 法人魅惑的倶楽部（エキゾチッククラブ）／ notAlone Fukuoka HIV 陽性者交流会）
新山　賢（一般社団法人カラフルドットライフ）

■演者

SY13-1 **岩橋恒太**
特定非営利活動法人 akta

SY13-2 **地方 CBO は何を担えるのか―「予防の医療化」の時代に考えるコミュニティセンターの役割―**
舩石翔馬
認定 NPO 法人 魅惑的倶楽部　福岡コミュニティセンター HACO

SY13-3 **センター未設置地域における HIV 予防の地域格差と課題～「予防の医療化」時代における CBO・行政・医療連携の模索～**
新山　賢
一般社団法人カラフルドットライフ

SY13-4 **トランスジェンダーとセックスワーカーはエイズ対策の主体になれているか ―「予防の医療化」時代のコミュニティ活動**
田丸りりぃ
関西大学人権問題研究室／ SWASH ／ MASH 大阪

SY13-5 **2030 年エイズ流行終結に向けた CBO の役割とコレクティブ・インパクト ～「予防の医療化」を、もう一度、社会の意識を動かすテコとするために～**
松中　権
認定 NPO 法人 グッド・エイジング・エールズ 代表／一般社団法人 work with Pride 代表／一般社団法人 金沢レインボープライド 共同代表／公益社団法人 Marriage For All Japan -結婚の自由をすべての人に 理事／ NPO 法人 新公益連盟 理事

SY13-6 **郵送検査事業者から見た CBO の役割**
野路裕理子
株式会社アルバコーポレーション

■日時：11 月 22 日（日）8:30 ～ 10:00
■会場：第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

シンポジウム 14
臨床・C

EACS（欧州エイズ学会）コラボレーション企画：Case-based Discussion- Aging, Low Level Viremia

座長
今北菜津子（奈良県立医科大学）
福島一彰（がん・感染症センター東京都立駒込病院　感染症科 / 感染制御科）

■演者

SY14-1 **村田賢哉**
奈良県立医科大学　感染症内科学講座

SY14-2 **山本浩貴**
がん・感染症センター東京都立駒込病院　感染症科 / 感染制御科

■ディスカッサント

小泉陽介
長崎大学病院 総合感染症科 国際感染症予防診療センター

岡　祐介
佐賀大学医学部附属病院　感染制御部

Annemarie Wensing
University Medical Center Utrecht, the Netherlands

Patrick Mallon
University College Dublin School of Medicine, Ireland

■日時：11 月 22 日（日）10:40 ～ 12:10
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

シンポジウム 15 臨床・C	ART の変化と薬剤マネジメント ※「認定講習会・薬剤師」としても申請可能	座長	谷口俊文（千葉大学医学部附属病院　感染制御部・感染症内科） 平井由児（東京医科大学八王子医療センター　感染症科）

■演者

SY15-1 **2剤併用療法における経口ARTの最適化と新規レジメンのポジショニング**

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院　感染制御部・感染症内科

SY15-2 **Long-acting injectables が変える HIV 診療**

安達英輔

東京大学医科学研究所附属病院　感染免疫内科

SY15-3 **HBV に対する対応に関して考える**

村松　崇

東京医科大学病院臨床検査医学科

SY15-4 **薬剤師の視点から現在の2剤 / 3剤、注射剤による ART を考える**

矢倉裕輝

国立病院機構 大阪医療センター 臨床研究センター
エイズ先端医療研究部

■日時：11 月 22 日（日）10:40 ～ 12:10
■会場：第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

シンポジウム 16 基礎・B/ 臨床・C/ 社会・S	PrEP に関しての横断的シンポジウム	座長	松下修三（熊本大学、ヒトレトロウイルス学共同研究センター） 金子典代（名古屋市立大学）

■演者

SY16-1 **HIV 薬剤耐性動向と PrEP**

菊地　正

国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター

SY16-2 **臨床的側面から見る日本の PrEP の現状と課題**

水島大輔

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

SY16-3 **地方における包摂的セクシュアルケアの構築～ CBO・行政・医療の三位一体の社会モデルへの模索～**

新山　賢

一般社団法人カラフルドットライフ

日本性感染症学会 合同シンポジウム

■日時：11 月 20 日（金）14:30 ～ 16:00
■会場 : 第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

日本性感染症学会 合同シンポジウム 臨床・C/ 社会・S	**DOXY-PEP の Pros and Cons: 性感染症予防と AMR**	**座長**	潟永博之（国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター） 高橋　聡（札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座）

■演者

水島大輔
国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
エイズ治療・研究開発センター

安田　満
札幌医科大学医学部感染制御・臨床検査医学講座

町登志雄
MASH 大阪 / コミュニティセンター dista

田丸りりぃ
SWASH、MASH 大阪、関西大学

サテライトシンポジウム

■日時：11 月 20 日（金）9:30 ～ 10:30
■会場 : 第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

サテライトシンポジウム 1	**薬害 HIV/HCV 血友病患者に対する外科手術　江口班 ～フィブリノーゲン製剤の移植領域での適正使用を考える～**	**座長**　江口　晋（長崎大学 外科学講座）

■演者

Umberto Baccarani
Surgery Liver Transplant Unit, Department of Medicine, University of Udine, Italy

曽山明彦
徳島大学大学院　消化器・移植外科学

文　靖子
厚生労働省 医薬局医薬品審査管理課

花井十伍
特定非営利活動法人ネットワーク医療と人権

■日時：11 月 21 日（土）10:00 ～ 11:00
■会場 : 第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

サテライトシンポジウム 2	**HIV 感染予防・薬物使用・スティグマ～日韓ピアの経験から**	**座長**　生島　嗣（特定非営利活動法人ぷれいす東京） 徐　淑子（新潟県立看護大学）

■演者

ナ・ヨンジョン
PoP (Power of Pleasure) 韓国

チョ・ナムウン
PoP (Power of Pleasure) 韓国

新田慎一郎
国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 / ぷれいす東京 / ゆうリンクリニック

■通訳

植田祐介

教育講演

■日時：11 月 20 日（金）12:50 ～ 13:40
■会場 : 第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

教育講演	**Status Neutral のその先へ ―ゲイの感染症専門医が歩んだ公衆衛生と米国 HIV 対応**	**座長**	杉浦　亙（国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター） 岩橋恒太 (特定非営利活動法人 akta)

■演者

Demetre Daskalakis
Callen-Lorde Community Health Center, New York, USA

■コメンテーター

金子典代
名古屋市立大学

ワークショップ 3

■日時：11 月 22 日（日）10:40 ～ 12:10
■会場 : 第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

ワークショップ 3	**ワークショップ～チームでケアしよう！医療従事者の多職種ケースカンファレンス～**	**座長**	宇野健司（南奈良総合医療センター　感染症内科） 日笠真一（兵庫医科大学病院　薬剤部）

■ファシリテーター

澤田暁宏
兵庫医科大学病院　呼吸器・血液内科

前田サオリ
琉球大学病院

治田匡平
奈良県立医科大学附属病院　薬剤部

齊藤誠司
福山医療センター感染症内科

東　政美
大阪医療センター　看護部

石川雅美
大阪市立総合医療センター　看護部

箱崎祐紀子
兵庫医科大学病院　医療社会福祉部

迫田直樹
法円坂メディカル株式会社　法円坂薬局

塚田訓久
埼玉医科大学　医学部 総合医療センター

ポジティブトークセッション

■日時：11 月 20 日（金）14:30 ～ 16:00
■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

ポジティブトークセッション	**POSITIVE TALK 2026**	**座長**	高久陽介（特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス） 塩野徳史（大阪青山大学）

■スピーカー：HIV 陽性者（数名）

メモリアルサービス

■日時：11 月 20 日（金）15:10 ～ 16:10
■会場：第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

メモリアルサービス	**第 16 回　世界エイズデイ　メモリアルサービス～生命（いのち）をつなぐ～**

■企画者

有志

AIDS で亡くなられた人、亡くなられた人たちを追悼したい人がいる。世界エイズデイ　メモリアル・サービスでは、HIV/AIDS に関わる人たちが、年齢、性別、性的指向、信仰、医療者と患者の枠を超え、ありのままの気持ちでいられる場を提供したい。また今も HIV と共に生きている陽性者やこれからの時代を担っていく、全ての人たちが命をつなぎ、明日への希望を覚える時を共に過ごしたい。

日本エイズ学会認定講習会（看護師）

■日時：11 月 21 日（土）16:50 ～ 18:20
■会場 : 第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

日本エイズ学会認定講習会（看護師）臨床・C	**外国人支援 ―言語的・文化的障壁を抱える HIV 陽性者支援の実践―**	**座長**	下司有加（国立病院機構京都医療センター） 竹林早苗（公立大学法人　横浜市立大学附属病院）

■演者

長與由紀子
国立病院機構九州医療センター

竹野　翠
認定 NPO 法人 CHARM

羽柴知恵子
国立病院機構名古屋医療センター

日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修

■日時：11 月 22 日（日）13:40 ～ 15:10
■会場 : 第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

日本エイズ学会認定 HIV 感染症指導看護師向けアドバンスト研修 臨床・C	**療養場所の選定における意思決定支援**	**座長**	有馬美奈（都立駒込病院） 中村美保（高知大学医学部附属病院）

■演者

前田サオリ
琉球大学病院

向井三穂子
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

渡部恵子
北海道大学病院

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会

■日時：11 月 22 日（日）8:30 ～ 10:30
■会場 : 第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

HIV 感染症薬物療法認定・専門薬剤師認定講習会 臨床・C	**HIV 診療における PRO の現在地と実装 ― 薬剤師は患者の声をどう活かすか ～研究から日常診療へ、PRO 利活用の多様なかたち～**	**座長**	石井聡一郎（広島大学病院　薬剤部） 矢倉裕輝（国立病院機構大阪医療センター　臨床研究センター　エイズ先端医療研究部）

■演者

TR04-1 **専門医療機関連携薬局・共同認定薬剤師制度について**

増田純一

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター

TR04-2 **HIV 診療における PRO の意義と臨床実装：患者の声を診療行動につなげるために**

吉野友祐

帝京大学医学部微生物学講座

TR04-3 **HIV-SI を用いた HIV 診療－ PLWH の「困りごと」を診療につなげる試み－**

今橋真弓

名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部

TR04-4 **治療選択における意思決定の葛藤を評価する PRO：Decisional Conflict Scale（DCS）の特徴とその活用**

関根祐介

東京医科大学病院　薬剤部

TR04-5 **SF-36・HIVTSQ：健康関連 QOL・治療満足度を評価する PRO とその活用**

日笠真一

兵庫医科大学病院　薬剤部

市民公開講座

■日時：11 月 22 日（日）14:10 ～ 15:40
■会場 : 第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

市民公開講座	**性に、ひとつの正解はない**	**座長**	和田秀穂（川崎医科大学総合臨床医学）

■演者

上村茂仁

岡山 SRH 研究会

岩室紳也

HIV ／ AIDS 診療医　コンドームの達人

Scientific Engagement Satellite Symposium

■日時：11 月 22 日（日）8:30 ～ 10:30
■会場 : 第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

Scientific Engagement Satellite Symposium	**HIV 診療における B 型肝炎ウイルス対策の現在地と未来展望 ～個別化医療時代に求められる HBV マネジメント～**	**座長**	潟永博之（国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター）

■演者

Pietro Lampertico
Gastroenterology and Hepatology Division, University of Milan

木内　英
東京医科大学病院　臨床検査医学科

奥新和也
東京大学医学部附属病院　感染制御部・消化器内科

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

ゼロプロエイズ啓発活動

■日時：11 月 22 日（日）10:40 ～ 12:00
■会場 : 第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

ゼロプロエイズ啓発活動	**「HIV の 3 つのゼロの達成」を目指して ～メモリアルキルトを通じてエイズの理解を深めよう～**	**座長**	白阪琢磨（Zero transmission in Japan by 2030 推進委員会）

■演者

寺口淳子
メモリアル・キルト・ジャパン（MQJ）

白阪琢磨
Zero transmission in Japan by 2030 推進委員会

共催シンポジウム

■日時：11 月 20 日（金）8:30 ～ 10:30
■会場 : 第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

共催シンポジウム 1	**抗 HIV 療法 (ART) の新しい選択肢**	**座長**　木内　英（東京医科大学　臨床検査学分野）

■演者

SS1-1 **Personalised Approaches to HIV Care: Translating DOR/ISL Phase 3 Results into Clinical Practice**

Chloe Orkin

Queen Mary University of London, London, UK

SS1-2 **抗 HIV 療法の新たな課題とイドビンソ ® 配合錠 (DOR/ISL) の位置づけ**

照屋勝治

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

SS1-3 **創薬と基礎研究から紐解くイスラトラビル～新規作用機序 NRTTI* の特徴と可能性～**

***NRTTI：ヌクレオシド系逆転写酵素トランスロケーション阻害薬**

前田賢次

鹿児島大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター　抗ウイルス療法研究分野

共催：MSD 株式会社

■日時：11 月 20 日（金）12:50 ～ 14:20
■会場 : 第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

共催シンポジウム 2	**まだ検査に来ていない人に、どう届けるか ～郵送検査から臨床現場まで、2030 年 HIV 流行終結に向けた検査・予防の再設計～**	**座長**　今村顕史（がん・感染症センター 都立駒込病院 感染症科）

■演者

SS2-1 **全国の自治体・保健所調査からみた HIV 検査へのアクセスの現状と課題**

劔　陽子

熊本県阿蘇保健所

SS2-2 **婦人科クリニックにおける HIV 検査・予防啓発の現状**

池田詩子

宮の森レディースクリニック

SS2-3 **「まだ届いていない人」に届ける：コミュニティセンターを拠点とした person-centered かつ community-led な HIV 検査と予防啓発の実践**

岩橋恒太

特定非営利活動法人 akta

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社
メディカルアフェアーズ本部

共催シンポジウム

■日時：11 月 20 日（金）14:30 ～ 16:00
■会場 : 第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

共催シンポジウム 3	ウイルス抑制後の HIV 診療を考える：LAI（Long-Acting Injectable）治療が起点となる新しい治療フェーズ	座長	青木孝弘（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

■演者

SS3-1 **新しいフェーズに来た HIV 治療 治療ゴールの広がり：「ウイルス抑制」から「QOL」も考える時代へ**

青木孝弘

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

SS3-2 **PWH の健康関連 QOL と treatment burden を考える―患者中心の治療選択と SDM の実践に向けて―**

保科斉生

東京慈恵会医科大学附属病院

SS3-3 **SOLAR 試験と実臨床から考える患者への情報提供**

小西啓司

国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11 月 21 日（土）14:40 ～ 16:40
■会場 : 第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

共催シンポジウム 4	日常診療における HIV 治療の再設計 －長期的成功を見据えた臨床と対話の統合－	座長	平井由児（東京医科大学 八王子医療センター 感染症科） 谷口俊文（千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科）

■演者

SS4-1 **Unmet Needs and Treatment Optimization for HIV Care**

Laura Waters

Gilead Sciences, Global Medical Affairs

SS4-2 **治療最適化を検討する際の臨床的ポイント**

村松　崇

東京医科大学 臨床検査医学分野

SS4-3 **ともに考え、ともに決める - Shared Decision-Making による HIV 治療最適化**

仲村秀太

琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社
メディカルアフェアーズ本部

共催シンポジウム

■日時：11 月 21 日（土）16:50 ～ 18:50
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

共催シンポジウム 5	ART のゴールをどこに置くか？ HIV 陽性者の Well-being と、日々の治療との向き合い方から見えてくるもの	**座長** 吉野友祐（帝京大学医学部微生物学講座）

■演者

SS5-1

吉野友祐
帝京大学医学部微生物学講座

SS5-2

仲村秀太
琉球大学大学院医学系研究科 第一内科

SS5-3

大島　岳
明治大学　情報コミュニケーション学部

SS5-4

中内崇夫
大阪医療センター薬剤部

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11 月 21 日（土）16:50 ～ 18:20
■会場：第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

共催シンポジウム 6	ART 選択肢の拡大がもたらす HBV マネジメント変革の必要性	**座長** 南　留美（国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター）

■演者

SS6-1 **抗 HBV 活性を持たない ART 時代の HBV 未感染者における感染対策と ART 選択**

村松　崇
東京医科大学病院臨床検査医学科

SS6-2 **抗 HBV 活性を持たない ART 時代の HBV 既感染例における ART 選択**

安達英輔
東京大学医科学研究所附属病院　感染免疫内科

共催：MSD 株式会社メディカルアフェアーズ

ランチョンセミナー

■日時：11 月 20 日（金）11:40 ～ 12:40
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

ランチョンセミナー 1

HIV 治療の新たな潮流
～ 2DR の可能性と PLHIV を中心とした医療の未来～

座長 白阪琢磨（大阪医療センター　HIV/AIDS先端医療開発センター／たによんスタートクリニック）

■演者

LS1-1 **HIV 治療のこれからの潮流**

白阪琢磨

大阪医療センター　HIV/AIDS 先端医療開発センター／たによんスタートクリニック

LS1-2 **開業医のリアルワールド**
～持効性注射剤の処方実態と 2DR 治療について～

山中　晃

新宿東口クリニック

共催：ヴィーブヘルスケア株式会社

■日時：11 月 20 日（金）11:40 ～ 12:40
■会場：第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

ランチョンセミナー 2

座長 渡邊　大（国立病院機構 大阪医療センター 臨床研究センター エイズ先端医療研究部）

■演者

LS2-1 **長期治療成功の要素を再考する**
－ ART の岐路をどう見極めるか－

木内　英

東京医科大学 臨床検査医学分野

LS2-2 **リアルワールドにおけるビクタルビの長期有効性・安全性・PRO**
－ BICSTaR 試験 24 カ月成績より－

照屋勝治

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11 月 20 日（金）11:40 ～ 12:40
■会場 : 第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

ランチョンセミナー 3

座長　一木昭人（東京医科大学　臨床検査医学分野）

■演者

LS3-1　**治療の進歩とともに変化した心理支援ー長期療養時代における心理支援について考えるー**

杉本悠貴恵

広島大学病院　輸血部・エイズ医療対策室

LS3-2　**ヘムライブラ時代に考える HIV 感染合併血友病患者の長期マネジメント**

長谷川祐太

北海道大学病院　血液内科

共催：中外製薬株式会社

■日時：11 月 21 日（土）11:30 ～ 12:30
■会場 : 第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

ランチョンセミナー 4

日本における新規の抗 HIV 薬『イドビンソ ® 配合錠』の位置づけ

座長　潟永博之（国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター）

■演者

LS4-1　**HIV 治療の新たな選択肢を考える - イドビンソ®配合錠の臨床活用 -**

渡邊　大

国立病院機構大阪医療センター　臨床研究センター

LS4-2　**イドビンソ®配合錠の実臨床アップデート**
～治療経験を踏まえて～

南　留美

国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター

共催：MSD 株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11 月 21 日（土）11:30 ～ 12:30
■会場 : 第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

ランチョンセミナー 5

長期療養について考える
～未来の連携のあり方
つなぐのは誰か～

座長 柿沼章子（社会福祉法人はばたき福祉事業団 事務局長）
柏崎正雄（公益財団法人エイズ予防財団 事務局長）

■演者

LS5-1 **HIV とともに高齢期を生きる人を地域で支える―長期療養の現状と地域連携の課題―**

畠山修司
自治医科大学医学部 感染症学部門 教授

LS5-2 **中核拠点病院を中心とした HIV 感染症の診療連携モデルの構築－ MSW の立場から－**

三嶋一輝
福井大学医学部附属病院

共催：セコム医療システム株式会社

■日時：11 月 21 日（土）11:30 ～ 12:30
■会場 : 第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

ランチョンセミナー 6

座長 藤井輝久（広島大学病院 輸血部 部長）

■演者

LS6-1 **血友病診療の現在地**
～治療選択は一方向から双方向へ～

徳川多津子
兵庫医科大学病院 血液内科 助教

共催：ファイザー株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11 月 22 日（日）12:30 ～ 13:30
■会場 : 第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

ランチョンセミナー 7

座長　和田秀穂（川崎医科大学総合臨床医学 川崎医科大学附属病院）

■演者

LS7-1　**未来の治療選択肢を守るために今再び考えるべきこと**
―耐性との戦いの歴史から学ぶ長期療養時代の HIV 治療戦略―

遠藤知之

北海道大学病院 感染制御部
HIV 診療支援センター

LS7-2　**HIV 治療における将来を見据えた治療選択**
～ B/F/TAF の臨床的意義の再考～

谷口俊文

千葉大学医学部附属病院 感染制御部・感染症内科

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

■日時：11 月 22 日（日）12:30 ～ 13:30
■会場 : 第 2 会場（岡山コンベンションセンター 1F イベントホール）

ランチョンセミナー 8

薬害患者さんの高齢化に伴う血友病診療と包括的ケア

座長　上村　悠（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

■演者

LS8-1　**薬害被害血友病患者さんの今日の課題と心理的支援**

小島賢一

荻窪病院　血液凝固科

LS8-2　**血友病薬害被害者の現状と今後のケアを考える**

澤田暁宏

兵庫医科大学　血液内科学

共催：サノフィ株式会社

ランチョンセミナー

■日時：11 月 22 日（日）12:30 ～ 13:30
■会場：第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

ランチョン セミナー 9	**座長**　藤井輝久（広島大学病院　輸血部）

■演者

LS9-1　**血友病 B における EHL-FIX の インパクトと患者ニーズの変化を考える**

木内　英

東京医科大学　臨床検査医学分野

共催：CSL ベーリング株式会社

大会長総括プログラム

■日時：11 月 22 日（日）15:50 ～ 17:00
■会場：第 1 会場（岡山コンベンションセンター 3F コンベンションホール）

大会総括 プログラム	**つどう。つながる。多様な力を 未来につむぐ。**	**座長**	和田秀穂（川崎医科大学総合臨床医学 川崎医科大学附属病院 ／エイズ治療センター） 井上洋士（株式会社アクセライト）

■演者

仲村秀太

琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座

宇野健司

南奈良総合医療センター　感染症内科

白川康太郎

京都大学医学部附属病院血液内科

塩野徳史

大阪青山大学

■日時：11 月 21 日（土） 14:40 ～ 16:00
■会場：第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

ワークショップ 1・口演（基礎・B）
HIV の複製・制御

座長　齊藤　暁
（宮崎大学フロンティア科学総合研究センター）

座長　宮内浩典
（国立研究開発法人理化学研究所 生命医科学研究センター 感染免疫研究チーム）

WS01-1 HIV-1 粒子成熟過程における Lenacapavir 誘導性キャプシド異常の構造基盤

町田晋一

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 ウイルス構造機能研究部

WS01-2 HIV-2 Vif 依存的な APOBEC3H 分解機構の解明：HIV-1 Vif との比較構造解析

松岡和弘[1)]、Skorupka Katarzyna[2)]、今橋真弓[1,3)]、横幕能行[1)]、松尾　浩[2)]、岩谷靖雅[1,4)]

1）（独）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
2）Cancer Innovation Laboratory, Frederick National Laboratory for Cancer Research
3）名古屋大学大学院医学系研究科　免疫不全統御学
4）浜松医科大学医学部医学科微生物学・免疫学講座

WS01-3 HIV-1 と HIV-2 の異なる宿主域を規定する Vif の構造特性の違い

岩谷靖雅[1)]、松岡和弘[2)]、Katarzyna Skorupka[3)]、松尾　浩[3)]

1）浜松医科大学医学部医学科
2）（独）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
3）Cancer Innovation Laboratory, Frederick National Laboratory for Cancer Research, NIH

WS01-4 HIV-1 capsid コアと相互作用して感染を抑制するコウモリ由来の新規宿主分子のプロテオーム解析

大倉定之[1)]、石野孔祐[1)]、清水真澄[1)]、北村妙子[1)]、武内寛明[2)]、森田林平[1)]

1）日本医科大学
2）東京科学大学

WS01-5 Tellimagrandin 1 は、HIV-1 の放出を抑制し、異常なコア形成を誘導することによってウイルス複製を阻害する

門出和精[1)]、Perpetual Nyame[1)]、Berkay Beyri[2)]、安藤　眞[3)]、刈谷龍昇[4)]、門出奈美[1)]、Wright Andrews Ofotsu Amesimeku[1)]、Md. Jakir Hossain[1)]、寺沢広美[1)]、立石　大[2)]、澤　智裕[1)]、藤田美歌子[2)]、池田　剛[5)]

1）熊本大学大学院生命科学研究部微生物学講座
2）熊本大学　大学院生命科学研究部サイエンスファーム生体機能化学共同研究講座
3）熊本大学　大学院生命科学研究部（薬学系）
4）神戸学院神戸学院大学　薬学部
5）崇城大学　薬学部

WS01-6 HIV- ゲノム RNA パッケージングシグナルの機能的構造の検討

櫻木淳一、山本浩之、俣野哲朗

国立感染症研究所エイズ研究センター

WS01-7 なぜ HIV-1 の LTR に存在する GGG 配列は保存されているのか

芳田　剛[1)]、増田貴夫[2)]、俣野哲朗[1)]、山本浩之[1)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　エイズ研究センター
2）東京医科歯科大学（現 東京科学大学）

■日時：11 月 21 日（土） 16:00 ～ 17:20
■会場：第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

ワークショップ 2・口演（社会・S）
社会系の研究と活動―街場の取り組み

座長　塩野徳史
（大阪青山大学）

座長　北島　勉
（杏林大学総合政策学部）

WS02-1 教職員向け研修後のアンケートから教職員への HIV/ エイズについての効果的な啓発に関する分析

古川香奈江、安井典子、檜垣史郎、岡田めぐみ、井村元気、津田侑子、大野利佐子

大阪市保健所感染症対策課感染症グループ

WS02-2 HIV 歯科診療体制充実に向けた取り組み～歯科衛生士学生の調査からみえたこと～

向　真紀[1)]、越田美和[1)]、槙野莉沙[1)]、塚本暁子[1)]、横山ゆき乃[1)]、岡本莉菜[1)]、平山恭子[1)]、干場明香[1)]、豊永夏希[1)]、高木純一郎[2)]、高島侑美[2)]、舩木勇人[2)]、渡辺　茜[2)]、渡邉珠代[3)]、車　陽子[4)]、辻　典子[5)]

1）石川県立中央病院歯科技術室
2）石川県立中央病院歯科口腔外科
3）石川県立中央病院免疫感染症科
4）石川県立中央病院看護部
5）石川県立中央病院 HIV 事務室

WS02-3 中四国地方におけるゲイ CBO と医療、行政の協働による MSM 向けクリニック検査事業の展開と最新の成果評価

八木貴博[1)]、新山　賢[1)]、大山治彦[1,2)]、塩野徳史[3,4)]、高田清式[5)]、福田寛文[6)]、和田秀穂[7)]

1）一般社団法人カラフルドットライフ
2）四国学院大学社会福祉学部
3）大阪青山大学看護学部看護学科
4）MASH 大阪 / コミュニティセンター dista
5）愛媛大学医学部附属病院
6）川崎医科大学血液内科学
7）川崎医科大学附属病院エイズ治療センター

WS02-4 薬害 HIV 感染被害者の自宅訪問の取り組みの報告

武内阿味[1,2)]、渡部恵子[1,2)]、熊谷泰恵[1,2)]、山口みなみ[2)]、北村未季[2)]、石田陽子[2)]、尾谷ゆか[2)]、原田裕子[3)]、遠藤知之[4)]、稲田範子[1,2)]

1）北海道大学病院看護部
2）北海道大学病院 HIV 診療支援センター
3）北海道大学病院リハビリテーション部
4）北海道大学病院感染制御部

WS02-5 薬害 HIV 感染者の生きがいに関する研究 第二報 質的検討

木村聡太[1)]、大友　健[1)]、加藤　温[2)]、藤谷順子[3)]、高橋昌也[1)]、宮本里香[1)]、知久熙眞[1)]、野崎宏枝[1)]、大杉福子[1)]、鈴木ひとみ[1)]、杉野祐子[1)]、大金美和[1)]、中本貴人[1)]、上村　悠[1)]、照屋勝治[1)]、潟永博之[1)]

1）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 精神科
3）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター リハビリテーション科

WS02-6 地方の PLH サポートグループの機能について

與那嶺敦[1)]、井村弘子[1)]、宮良尚子[2)]

1）沖縄県公認心理師協会
2）沖縄国際大学

WS02-7 HIV 診療における本人とパートナーの関係性を支える MSW 実践 ―在宅支援導入過程を振り返る一例―

大里文誉、首藤美奈子

独立行政法人国立病院機構九州医療センター

一般演題（口演）

■日時：11 月 20 日（金） 12:50 ～ 13:40
■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F 405 会議室）

ビギナーズ 口演 1（基礎・B）

座長 立川（川名）愛
（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所エイズ研究センター）

山本浩之
（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所エイズ研究センター）

BO-1-1 HIV-1 の新規 cis-acting element 網羅的同定に向けたデータ駆動型解析パイプラインの構築と機能検証

稲元佑真[1)]、土肥直哉[2)]、れ ばお[2)]、とらん かん[2)]、ちゅ せん[2)]、加地泉稀[1)]、足立昭夫[2)]、駒 貴明[2)]、渡邊謙吾[3)]、野間口雅子[2)]

1）徳島大学理工学部理工学科
2）徳島大学大学院医歯薬学研究部微生物病原学分野
3）徳島大学大学院医歯薬学研究部メディカル AI データサイエンス分野

BO-1-2 多様な HIV-1 系統における Lenacapavir 耐性関連カプシド変異体の表現型解析

福嶋優莉[1,2)]、大出裕高[3)]、門出和精[4)]、岩谷靖雅[5)]、齊藤 暁[1,2,6,7)]

1）宮崎大学フロンティア科学総合研究センター ウイルス感染制御学ラボ
2）宮崎大学農学部獣医学科
3）独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
4）熊本大学大学院生命科学研究部
5）浜松医科大学医学部医学科
6）宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター
7）宮崎大学医学獣医学総合研究科

BO-1-3 ミトコンドリア障害による HIV 潜伏感染再活性化の誘導

池田正俊[1)]、野村亮介[1)]、Caroline Jelagat[1)]、清水知成[1)]、鈴木光太郎[1)]、青木一成[2)]、小西義延[1)]、岡本裕介[1)]、松井宏行[1)]、松本忠彦[1)]、遊佐宏介[2)]、高折晃史[1)]、白川康太郎[1)]

1）京都大学大学院医学研究科 血液内科学
2）京都大学医生物学研究所 幹細胞遺伝学

BO-1-4 RNAscope・Imaging Mass Cytometry 同一切片連続染色による HIV 感染組織内免疫微小環境の空間統合解析技術の構築

鈴木光太郎[1)]、小西義延[1)]、池田正俊[1)]、清水知成[1)]、片岡阿沙美[1)]、石山賢一[1)]、伊藤寛朗[2)]、平田勝啓[2)]、羽賀博典[2)]、岡本裕介[1)]、松本忠彦[1)]、松井宏行[1)]、白川康太郎[1)]、高折晃史[1)]

1）京都大学医学部附属病院 血液内科
2）京都大学医学部附属病院 病理診断科

BO-1-5 Novel LRA Derivatives Exhibit Dual Shock-and-Kill Activity with Selective Cytotoxicity Toward HIV Reservoir Cells: A Preliminary Mechanistic Study

Ebenezer Adjei-Gati[1,2)]、Sukegawa Sayaka[3,4)]、Tsuji Kohei[5)]、Peter Bolah[5)]、Takeuchi Hiroaki[1,4,6)]

1）Department of High-risk Infectious Disease Control, Institute of Science Tokyo
2）Department of Immunology, Noguchi Memorial Institute for Medical Research, University of Ghana
3）Department of Molecular Virology, Institute of Science Tokyo
4）Center for Infectious Disease Education and Analysis (TCIDEA)
5）Department of Medicinal Chemistry, Institute of Science Tokyo
6）Science Tokyo Hospital

■日時：11 月 20 日（金） 13:40 ～ 14:30
■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F 405 会議室）

ビギナーズ 口演 2（臨床・C/ 社会・S）

座長 羽柴知恵子
（国立病院機構 名古屋医療センター）

白野倫徳
（大阪市立総合医療センター）

BO-2-1 感染症病棟における HIV 療養支援の実践状況と課題―ドナベディアンモデルを用いた構造・過程の分析―

奥村千絵、綱 文香、人見尚子、上田小百合、黒岩志津、森田 諒、白野倫徳

大阪市立総合医療センター

BO-2-2　近年の HIV 母子感染例に関する検討

岡本　峻[1)]、湊　怜子[1)]、杉浦　敦[1)]、
山本皇之祐[2)]、山中彰一郎[2)]、竹田善則[2)]、
市田宏司[2)]、小林裕幸[2)]、中西美紗緒[2)]、
箕浦茂樹[2)]、高野政志[2)]、桃原祥人[2)]、田中瑞恵[2)]、
出口雅士[2)]、喜多恒和[2)]、吉野直人[2)]

1）武蔵野赤十字病院　産婦人科
2）HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究班

BO-2-3　神奈川県の保健所等で実施する HIV 即日検査における陽性率および陽性反応的中度

兼任千恵[1,2)]、佐野貴子[1)]、林　暁子[3)]、
中澤よう子[4,5)]、沢田貴志[6)]

1）神奈川県衛生研究所
2）神奈川県健康医療局保健医療部医療整備・人材課
3）神奈川県健康医療局保健医療部健康危機・感染症対策課
4）神奈川県健康医療局総務室
5）公益財団法人神奈川県予防医学協会
6）神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所

BO-2-4　岡山県 HIV 歯科診療ネットワークの構築に向けた取り組み

本多浩三[1)]、和田秀穂[2)]、角南善章[1)]、
越宗紳二郎[1)]、弘末　勝[1)]、石戸善一郎[1)]、
南哲之介[1)]、西岡宏樹[1)]

1）（一社）岡山県歯科医師会
2）川崎医科大学附属病院エイズ治療センター

BO-2-5　レジストリ事業を用いた国内エムポックス症例の臨床疫学的特徴と臨床現場即時検査の評価

高橋あずさ[1)]、加藤博史[1)]、川畑拓也[2)]、
浜みなみ[2)]、阪野文哉[2)]、吉村幸浩[3)]、今橋真弓[4)]、
鄭　瑞雄[5)]、山岸拓也[1,6)]、島田智恵[1)]、砂川富正[1)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　応用疫学研究センター
2）大阪健康安全基盤研究所　ウイルス課
3）横浜市民病院　感染症内科
4）名古屋医療センター　臨床研究センター感染・免疫研究部
5）都立駒込病院　感染症科
6）国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　薬剤耐性研究センター

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 9:20
■会場：第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

ビギナーズ 口演 3（臨床・C/ 社会・S）

座長　仲村秀太
（琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座）
今橋真弓
（名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部）

BO-3-1　People with HIV における HBV 感染後の HBs 抗体保有に関する因子の検討

森木朝子[1,2,3)]、遠藤知之[2,3,4)]、松川敏大[2,3)]、
荒　隆英[2,3)]、長谷川祐太[2,3)]、高橋知希[1,2,3)]、
相庭昌之[1,2,3)]、後藤秀樹[2,3)]、豊嶋崇徳[2,3)]

1）エイズ予防財団
2）北海道大学病院血液内科
3）北海道大学病院 HIV 診療支援センター
4）北海道大学病院感染制御部

BO-3-2　看護・介護・リハビリ職における HIV および HBV 陽性者へのスティグマ関連意識調査

長倉英里[1,2)]、田沼順子[2,3)]

1）国際医療福祉大学大学院医学研究科
2）グラクソ・スミスクライン株式会社
3）国際医療福祉大学医学部感染症学

BO-3-3　妊娠前に HIV 感染が判明し、その後に妊娠した女性の背景・妊娠転帰の検討

山本皇之祐[1,2)]、杉浦　敦[2)]、山中彰一郎[2)]、
湊　玲子[2)]、岡本　峻[2)]、竹田善紀[2)]、市田宏司[2)]、
小林裕幸[2)]、中西美紗緒[2)]、箕浦茂樹[2)]、
高野政志[2)]、田中瑞恵[2)]、出口雅士[2)]、喜多恒和[2)]、
吉野直人[2)]

1）奈良県立医科大学附属病院　産婦人科
2）HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究班

BO-3-4　東海地域のゲイ・バイセクシュアル男性およびトランスジェンダーにおける PrEP 使用とフォローアップの実態ー 3 年間の対面調査から

李　秀訂[1,2)]、石田敏彦[3)]、藤浦裕二[3)]、
藤井良樹[5)]、高久道子[4)]、弘田翔也[2)]、鄭　志吾[2)]、
金子典代[2)]

1）金城学院大学看護学部看護学科
2）名古屋市立大学大学院看護学研究科
3）ANGEL LIFE NAGOYA
4）岐阜保健大学看護学部看護学科
5）名古屋大学大学院博士研究員

BO-3-5 Mental Health Services and Interventions for Sexual and Gender Minorities in Asia, 2023-2025: A Scoping Review

Thi Phuong Lam Nguyen[1)]、田沼順子[1,2)]

1）国際医療福祉大学大学院医学研究科
2）国際医療福祉大学医学部

■日時：11 月 21 日（土） 9:20 ～ 10:10

■会場：第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

ビギナーズ 口演 4（臨床・C）

座長　藤井輝久
（広島大学病院　輸血部長／エイズ医療対策室長）

福田寛文
（川崎医科大学血液内科学 / 川崎医科大学附属病院エイズ治療センター）

BO-4-1 ニューモシスチス肺炎治療中 ST 合剤中止後に急速顕在化したNocardia elegansによる肺感染症の新規診断 HIV 例

酒井　結[1)]、中本貴人[1)]、桑田　亮[1)]、川島　亮[1)]、井上恵理[1)]、青木孝弘[1)]、照屋勝治[1)]、黒川正美[2)]、星野泰隆[3)]、潟永博之[1)]

1）国立危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
2）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　中央検査部門
3）国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　真菌部

BO-4-2 HIV 関連ニューモシスチス肺炎におけるデジタル PCR を用いた血清 Pneumocystis jirovecii DNA 動態と PCP-IRIS との関連

池宮城七重、井手口周平、西山直哉、山入端一貴、山城朋子、宇治宮蕗、新垣若子、上　若生、仲村秀太、古堅　誠、宮城一也、山本和子

琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学講座

BO-4-3 都立駒込病院における HIV 感染症新規診断例でのインターフェロン γ 遊離試験の実施状況と有用性の検討

佐野宙輝[1,2)]、福島一彰[1,2)]、鵜飼康平[1,2)]、滝澤あゆみ[2,3)]、相澤陽太[1)]、鄭　瑞雄[1)]、田中　勝[1)]、小林泰一郎[1)]、関谷綾子[1)]、矢嶋敬史郎[1)]、味澤　篤[1)]、今村顕史[1)]

1）東京都立駒込病院　感染症科
2）東京都立駒込病院　感染制御科
3）東京都立駒込病院　総合診療・救急科

BO-4-4 HIV 合併非小細胞肺癌のケースシリーズ検討

加藤千博[1)]、大崎俊樹[1)]、金子　峻[1)]、原田侑子[1)]、宮下竜伊[1)]、一木昭人[1)]、近澤悠志[1)]、備後真登[1)]、村松　崇[1)]、四本美保子[1)]、河野雄太[2)]、天野景裕[1)]、木内　英[1)]

1）東京医科大学病院　臨床検査医学科
2）東京医科大学病院　呼吸器内科

BO-4-5 レナカパビルが著効した多剤耐性 HIV 感染症を伴う薬害 AIDS・先天性血友病 A の 1 例

田中秀一[1)]、福田寛文[1)]、和田秀穂[2)]

1）川崎医科大学付属病院　血液内科
2）川崎医科大学 総合臨床医学

■日時：11 月 20 日（金） 8:30 ～ 9:20

■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 1（基礎・B）
潜伏感染・リザーバー

座長　佐藤賢文
（北海道大学大学院医学研究院病原微生物学教室）

本園千尋
（熊本大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

O01-1 腸内細菌由来細胞外小胞を介した慢性炎症と HIV リザーバー維持機構の解析

石坂　彩[1,2)]、古賀道子[2,3)]、四柳　宏[2,4)]、山本浩之[1)]、水谷壮利[1)]

1）国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2）東京大学 医科学研究所附属病院 感染免疫内科
3）東京大学 国際高等研究所 新世代感染症センター
4）国立健康危機管理研究機構

O01-2 HIV リザーバー活動性を可視化する HIV 転写活性解析プラットフォームの構築

鈴木一雄[1)]、ればーと あんげりか[1)]、ゆー えま[1)]、大出裕高[2)]、岩谷靖雅[3)]、ぶりゅー ぶるーす[4)]

1）セント　ヴィンセント　ホスピタル　アプライド　メディカル　リサーチセンター、シドニー
2）名古屋医療センター、臨床研究センター
3）浜松医科大、微生物学　免疫学講座
4）Departments of Neurology and Immunology, St Vincent's Hospital, Sydney

O01-3　新規 LRA 候補化合物 2-HSB が示す “Shock-and-Kill”活性に基づく HIV 潜伏感染細胞排除機序の解析

原雄一郎[1,2]、北村春樹[3]、松田幸樹[4]、藤崎知園子[5]、助川明香[6,7]、谷本幸介[2]、前田賢次[4]、武内寛明[2,7]

1）東京科学大学　医歯学総合研究科　生体集中管理学分野
2）東京科学大学　医歯学総合研究科　ハイリスク感染症研究マネジメント学分野
3）米国国立衛生研究所（NIH）
4）鹿児島大学　レトロウイルス学共同研究センター
5）鹿児島大学　血管代謝病態解析学
6）東京科学大学　医歯学総合研究科　ウイルス制御学分野
7）東京科学大学　感染症センター（TCIDEA）

O01-4　慢性 SIV 感染カニクイザルにおける Tat mRNA ワクチンおよび TLR9 アゴニスト併用療法によるリバウンド制御

野木森拓人[1]、北村紳悟[2]、高濱正吉[1]、北畑　舜[2]、黒田典一[2]、釘宮　啓[2]、本多　拡[2]、野村大貴[2]、中野祥行[2]、吉永智一[2]、山本拓也[1,3,4]

1）医薬基盤・健康・栄養研究所　難病・免疫ゲノム研究センター　プレシジョン免疫プロジェクト
2）塩野義製薬株式会社
3）大阪大学大学院薬学研究科　免疫老化制御学分野
4）大阪大学大学院医学系研究科　免疫・感染制御学分野

■日時：11 月 20 日（金）　8:30 ～ 9:20
■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 2（臨床・C）
抗 HIV 療法（臨床試験 1）

座長　鈴木麻衣
（順天堂大学医学部総合診療科学講座）
渡邊　大
（独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター）

O02-1　第 III 相 ARTISTRY-1 試験における複雑レジメンから bictegravir/lenacapavir (BIC/LEN) 配合錠への切替における有効性及び安全性

Chloe Orkin[1]、Peter J. Ruan[2]、Malcolm Hedgcock[3]、Cyril Gaultier[4]、Marcelo H. Losso[5]、Mark Bloch[6]、Karam Mounzer[7]、Hung-Chin Tsai[8]、Kwanza Price[9]、Keith Aizen[9]、Martin Rhee[9]、Xu Zhang[9]、Jairo M. Montezuma-Rusca[9]、Peter Sklar[9]、今橋真弓[10]、Pedro Cahn[11]

1）SHARE Collaborative, Blizard Institute, Queen Mary University of London, London, UK
2）Ruane Clinical Research Group, Los Angeles, CA, USA
3）Spectrum Health, Vancouver, BC, Canada
4）BIOS Clinical Research, Palm Springs, CA, USA
5）Emerging Diseases Research Unit, Hospital General de Agudos Jose Maria Ramos Mejia, Buenos Aires, Argentina
6）Holdsworth House Medical Practice, Darlinghurst, NSW, Australia
7）Philadelphia FIGHT Community Health Centers, Philadelphia, PA, USA
8）Kaohsiung Veterans General Hospital, Kaohsiung City, Taiwan
9）Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
10）国立病院機構 名古屋医療センター , 名古屋 , 日本
11）Fundacion Huesped, Buenos Aires, Argentina

O02-2 65 歳以上の HIV 陽性者における bictegravir/lenacapavir (BIC/LEN) 配合シングルタブレットレジメン（STR）の有効性および安全性：第 III 相 ARTISTRY-1 試験 48 週解析

Mark Bloch[1)]、Cyril Gaultier[2)]、Benoit Trottier[3)]、Jorge Santana[4)]、Simiso Mandisa Sokhela[5)]、Po-Liang Lu[6)]、Xu Zhang[7)]、Jairo M Montezuma-Rusca[7)]、Peter Sklar[7)]、渡邊　大[8)]、Pedro Cahn[9)]

1) 1.Holdsworth House Medical Practice and Kirby Institute, University of New South Wales, Sydney, NSW, Australia
2) BIOS Clinical Research, Palm Springs, CA, USA
3) Clinique de Medecine Urbaine du Quartier Latin, Montreal, QC, Canada
4) University of Puerto Rico, San Juan, Puerto Rico
5) Ezintsha, University of Witwatersrand, Johannesburg, South Africa
6) Kaohsiung Medical University Chung-Ho Memorial Hospital, Kaohsiung, Taiwan
7) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
8) 国立病院機構 大阪医療センター , 大阪 , 日本
9) Fundacion Huesped, Buenos Aires, Argentina

O02-3 第 III 相 ARTISTRY-2 試験における bictegravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide (B/F/TAF) から bictegravir/lenacapavir (BIC/LEN) 配合 STR への切替の有効性および安全性

Eric G Meissner[1)]、Moti Ramgopal[2)]、Peter J Ruane[3)]、William Sanchez[4)]、Jean-Pierre Routy[5)]、Mark O'Reilly[6)]、Sergio Lupo[7)]、Sven Schellberg[8)]、Keith Aizen[9)]、Hailin Huang[9)]、Kwad Mponponsuo[9)]、Peter Sklar[9)]、Martin Rhee[9)]、井上恵理[10)]、Chien-Ching Hung[11)]

1) Medical University of South Carolina, Charleston, SC, USA
2) Midway Immunology and Research Center, Fort Pierce, FL, USA
3) Ruane Clinical Research Group, Los Angeles, CA, USA
4) Floridian Clinical Research, Miami Lakes, FL, USA
5) McGill University Health Centre, Montreal, QC, Canada
6) Taylor Square Private Clinic, Sydney, NSW, Australia
7) CAICI, Rosario, Argentina
8) Novopraxis Berlin GbR, Berlin, Germany
9) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
10) エイズ治療・開発研究センター 国立国際医療センター , 東京 , 日本
11) National Taiwan University Hospital Yunlin Branch, Yunlin, Taiwan

O02-4 第 III 相 ARTISTRY-2 試験における年齢、性別、人種および地域別サブグループにおける bictegravir/lenacapavir (BIC/LEN) 配合 STR と B/F/TAF の有効性および安全性比較

Pedro Cahn[1)]、PeterRuane[2)]、Sergio Lupo[3)]、Moti Ramgopal[4)]、Claudia Martorell[5)]、Mark O'Reilly[6)]、Jean-Pierre Routy[7)]、William Sanchez[8)]、Jezer I. Lezama-Mora[9)]、横幕能行[10)]、Sven Schellberg[11)]、Keith Aizen[12)]、Hailin Huang[12)]、Kwad Mponponsuo[12)]、Jairo M Montezuma-Rusca[12)]、Peter Sklar[12)]、今橋真弓[10)]、Eric Meissner[13)]

1) Fundacion Huesped, Buenos Aires, Argentina
2) Ruane Clinical Research Group, Los Angeles, CA, USA
3) CAICI, Rosario, Argentina
4) Midway Immunology and Research Center, Fort Pierce, FL, USA
5) The Research Institute, Springfield, MA, USA
6) Taylor Square Private Clinic, Sydney, New South Wales, Australia
7) McGill University Health Centre, Montreal, Quebec, Canada
8) Floridian Clinical Research, Miami Lakes, FL, USA
9) ProcliniQ Investigacion Clinica, Mexico City, Mexico
10) 国立病院機構 名古屋医療センター , 名古屋 , 日本
11) Novopraxis Berlin GbR, Berlin, Germany
12) Gilead Sciences, Inc., Foster City, CA, USA
13) Medical University of South Carolina, Charleston, SC, USA

O02-5 複雑なレジメン又は B/F/TAF から BIC/LEN へ切り替えた際の有効性および安全性：ARTISTRY-1, -2 試験日本人集団事後解析

渡邊　大[1)]、横幕能行[2)]、Chloe Orkin[3)]、Eric Meissner[4)]、Peter Sklar[5)]、Mauricio Montezuma[5)]、Ying Guo[5)]、近藤　陽[6)]、神谷　誠[6)]、白阪琢磨[1)]、潟永博之[7)]

1) 独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター
2) 独立行政法人国立病院機構　名古屋医療センター
3) SHARE Collaborative, Blizard Institute, Faculty of Medicine and Dentistry, Queen Mary University of London
4) Medical University of South Carolina
5) Gilead Sciences Inc.
6) ギリアド・サイエンシズ株式会社
7) 国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

■日時：11 月 20 日（金） 9:20 ～ 10:20
■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F 405 会議室）

口演 3（基礎・B）
免疫・ワクチン

座長 本園千尋
（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）
野村拓志
（熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター）

O03-1 高度免疫不全 HIV 患者における長期持続感染 SARS-CoV-2 の中和活性についての検討

戸山 凪[1,2)]、土屋亮人[1)]、川島 亮[1,3)]、黒木絢士郎[4)]、長島真美[5)]、貞升健志[4)]、吉村和久[4)]、潟永博之[1,3)]

1) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター
2) 公益財団法人エイズ予防財団
3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
4) 前 東京都健康安全研究センター
5) 東京都健康安全センター

O03-2 SIVmac239 特異的中和抗体誘導における Env 可変・保存領域残基の選択圧解析

星野南月[1,4)]、西澤雅子[1)]、芳田 剛[1)]、関紗由里[1)]、林 隆也[1)]、菅野芳明[7)]、山本浩之[1,2,3,4,5,6)]

1) JIHS 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) 東京科学大学 NIID 統合微生物学
3) 熊本大学人レトロウイルス学共同研究センター
4) 横浜市立大学医学研究科
5) University Hospital Basel
6) Thai Nguyen University of Sciences
7) 東京大学医科学研究所

O03-3 HIV-1 CRF01_AE Envelope features in neutralizers from a Vietnamese cohort

Hong Quynh Anh Pham[1,2)]、雅子西澤[1)]、原田 恵嘉[1)]、松岡佐織[1)]、俣野哲朗[1,3)]、Thi Lan Anh Nguyen[5)]、Thi Thu Trang Hau[1)]、山本浩之[1,2,3,4,6)]

1) 国立健康危機管理研究機構 , 国立感染症研究所 エイズ研究センター
2) Joint Research Center for Human, Retrovirus Infection, Kumamoto University, Kumamoto, Japan
3) Institute of Science Tokyo, Tokyo, Japan
4) Department of Biomedicine, University Hospital Basel, Basel, Switzerland
5) National Institute of Hygiene and Epidemiology, Hanoi, Vietnam
6) Department of Biotechnology, Thai Nguyen University of Sciences, Thai Nguyen, Vietnam

O03-4 VSV ベクターワクチンによるカプシド特異的 CD8 陽性 T 細胞反応の選択的誘導

石井 洋[1)]、中村 碧[1)]、岡崎みどり[1)]、阪脇廣美[2)]、三浦智行[1,2)]、山本浩之[1,3)]、俣野哲朗[1,3,4)]

1) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所
2) 京都大学医生物学研究所
3) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
4) 東京大学医科学研究所

O03-5 HIV-1 サブタイプ AE ウイルスの増殖抑制に関与する HIV- 特異的 T 細胞

久世 望[1,2)]、Yu Zhang[2,3)]、Hung Nguyen The[2)]、Giang Tran Van[4)]、岡 慎一[3)]、滝口雅文[2,5)]

1) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所潜在感染研究部
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
3) 国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療研究開発センター
4) National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam
5) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター

O03-6 cART 下における HIV リザーバーと免疫学的指標の関連解析

立川（川名）愛[1,2,3)]、鮎川洋子[1)]、古賀道子[4,5)]、菅野芳明[5)]、安達英輔[5)]、四柳 宏[5,6)]、鈴木一雄[7)]、石田尚臣[8)]、山本浩之[1,2)]

1) 国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター
2) 熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
3) 東京大学医科学研究所附属病院エイズワクチン開発担当
4) 東京大学新世代感染症センター感染症研究分野
5) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
6) 国立健康危機管理研究機構
7) St. Vincent's Hospital, Sydney
8) デンカ株式会社

■日時：11 月 20 日（金） 14:50 ～ 15:40
■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F 405 会議室）

口演 4（社会・S）
検査・相談体制

座長 長島真美
（東京都健康安全研究センター）

座長 草川 茂
（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所）

O04-1 地方自治体におけるエイズ施策の横断的モニタリングと施策推進の取り組みについて

平賀紀行[1,2]、四本美保子[3]、南 留美[4]、今村淳治[5]、荒川創一[6]、岩橋恒太[7]、西浦 博[8]、小林鉄郎[8]、白阪琢磨[9]

1）野木病院 麻酔科・泌尿器科
2）九州大学大学院 医学研究院 泌尿器科学分野
3）東京医科大学 臨床検査医学分野
4）九州医療センター 免疫感染症内科
5）仙台医療センター 感染症内科
6）井口腎泌尿器科 亀有
7）特定非営利法人 akta
8）京都大学大学院 医学研究科 環境衛生医学分野
9）大阪医療センター HIV・AIDS 先端医療開発センター

O04-2 COVID-19 流行前後における保健所 HIV 検査実施率と HIV 感染症診断時 AIDS 発症率の関連

吉野友祐[1]、木村佳貴[1,2]、矢崎有希[1]、福本 敦[1,2]、若林義賢[3]、北沢貴利[3]

1）帝京大学医学部微生物学講座
2）帝京大学アジア国際感染症制御研究所
3）帝京大学医学部内科学講座

O04-3 HIV 郵送検査に関する実態調査（2025）

須藤弘二[1]、佐野貴子[2]、近藤真規子[1]、今井光信[3]、岩橋恒太[4]、加藤眞吾[1]、貞升健志[5]、四本美保子[6]

1）株式会社ハナ・メディテック
2）神奈川県衛生研究所 微生物部
3）田園調布学園大学
4）特定非営利活動法人 akta
5）関東学院大学 栄養学部
6）東京医科大学病院 臨床検査医学科

O04-4 在留外国人を対象とした多言語対応郵送 HIV・梅毒検査の社会実装に向けた研究

北島 勉[1]、沢田貴志[2]、宮首弘子[3]、Tran Thi Hue[4]、岡本博照[5]、仲村秀太[6]、Supriya Shakya[7]

1）杏林大学総合政策学部
2）港町診療所
3）杏林大学外国語学部
4）神戸女子大学文学部
5）杏林大学保健学部
6）琉球大学大学院医学系研究科
7）無所属

O04-5 在留外国人を対象としたオンライン結果確認および医療連携機能を備えた多言語対応 HIV 自己検査の実施可能性に関する研究

北島 勉[1]、沢田貴志[2]、宮首弘子[3]、Tran Thi Hue[4]、Supriya Shakya[5]、仲村秀太[6]

1）杏林大学総合政策学部
2）港町診療所
3）杏林大学外国語学部
4）神戸女子大学文学部
5）無所属
6）琉球大学大学院医学系研究科

■日時：11 月 20 日（金） 15:40 ～ 16:30
■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F 405 会議室）

口演 5（臨床・C）
抗 HIV 療法（臨床試験 2・RWD）

座長 渡邊 大
（独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター）

安達英輔
（東京大学医科学研究所病院）

O05-1 治療経験 HIV 陽性者におけるウイルス血症下での bictegravir/emtricitabine/tenofovir alafenamide (B/F/TAF) 切替後転帰 -BICSTaR 試験 24 か月成績 -

Berend Van Welzen[1)]、Sam McConkey[2)]、Marta Boffito[3)]、Alexander Wong[4)]、Giulia Marchetti[5)]、Alexy Inciarte[6)]、Daniel Elbirt[7)]、Christoph Stephan[8)]、Yesim Tasova[9)]、Tsai Hung-Chin[10)]、Yong Jun[11)]、Claudine Duvivier[12)]、Choy Chiaw Yee[13)]、David Thorpe[14)]、Andrea Marongiu[14)]、Tali Cassidy[14)]、照屋勝治[15)]

1) University Medical Centre Utrecht, Utrecht, The Netherlands
2) Beaumont Hospital, Dublin, Ireland
3) Chelsea and Westminster Hospital, London, UK
4) Regina General Hospital, Regina, SK, Canada
5) University of Milan, ASST Santi Paolo e Carlo, Milan, Italy
6) Hospital Clinic de Barcelona, Barcelona, Spain
7) Kaplan Medical Center, Rehovot, Israel
8) Universitatsklinikum Frankfurt, Frankfurt, Germany
9) Cukurova University Hospital, Adana, Turkiye
10) Kaohsiung Veterans General Hospital, Kaohsiung, Taiwan
11) Yonsei University Severance Hospital, Seoul, Republic of Korea
12) AP-HP, Hopital Necker-Enfants Malades, Necker-Pasteur Infectiology Center, Paris, France
13) National Centre for Infectious Diseases, Singapore, Singapore
14) Gilead Sciences Ltd, Uxbridge, UK
15) エイズ治療・開発研究センター 国立国際医療センター , 東京 , 日本

O05-2 HIV 未治療成人において、DTG/3TC 2 剤療法は BIC/FTC/TAF 3 剤療法に対して非劣性である（VOGUE 試験）－日本人サブグループ解析も含めて－

渡邊 大[1)]、Jade Ghosn[2,3)]、Federico Pulido[4)]、Gustavo D Lopardo[5)]、Anita Olczak[6)]、Diego Ripamonti[7)]、Charlotte Martin[8)]、Orlando Paredes Ceballos[9)]、Hartmut Stocker[10,11)]、Maria Josefina Mendez Vasquez[12)]、潟永博之[13)]、Simeon Metallidis[14)]、Daniel Elbirt[15)]

1) 国立病院機構大阪医療センター エイズ先端医療研究部・感染症内科
2) Universite Paris Cite INSERM, IAME, Paris, France
3) Service des Maladies Infectieuses, Assistance Publique - Hopitaux de Paris Nord, Hopital Bichat-Claude Bernard, Paris, France
4) Hospital Universitario 12 de Octubre, imas12, UCM, Madrid, Spain
5) Fundacion Centro de Estudios Infectologicos, Buenos Aires, Argentina
6) Nicolaus Copernicus University Ludwik Rydygier Collegium, Bydgoszcz, Poland
7) 7Infectious Diseases Unit, ASST Papa Giovanni XXIII, Bergamo, Italy
8) Centre Hospitalier Universitaire Saint-Pierre, Brussels, Belgium
9) Unidad de Atencion Medica e Investigacion en Salud, Merida, Yucatan, Mexico
10) epartment of Infectious Diseases, St Joseph Hospital, Berlin-Tempelhof, Berlin, Germany
11) EPIMED GmbH, Berlin, Germany
12) Porto University Hospital Centre, Lisboa, Portugal
13) 国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
14) AHEPA Hospital, Aristotle University of Thessaloniki, Thessaloniki, Greece
15) Allergy, Immunology and HIV Unit, Kaplan Medical Center, Rehovot, Israel

O05-3 ドルテグラビル / ラミブジン（ドウベイト配合錠）投与における日本人 HIV 感染症患者に対する安全性及び有効性の解析：製造販売後調査 6 年間の最終報告

吉川洋一郎[1)]、長生多佳子[2)]、松川朋子[1)]、瀬端阿希美[1)]、福田明子[3)]、村山弘樹[2)]、王 棟[2)]

1) ヴィーブヘルスケア株式会社 安全性管理部
2) ヴィーブヘルスケア株式会社 メディカル・アフェアーズ部門
3) ヴィーブヘルスケア株式会社

O05-4 DORAVIRINE/ISLATRAVIR (100/0.25 mg) VS. BIC/FTC/TAF FOR INITIAL HIV-1 THERAPY: Week 48 Results From Phase 3 Study in Japanese Adults Living With HIV-1

潟永博之[1)]、横幕能行[2)]、白阪琢磨[3)]、木内　英[4)]、Jurgen K. Rockstroh[5)]、高瀬明子[6)]、山田桃香[6)]、Stephanie O. Klopfer[7)]、Yayun Xu[7)]、Tracy L. Diamond[7)]、Mary Vesnesky[7)]、Luisa M. Stamm[7)]、Mary L. Pisculli[7)]、Michelle C. Fox[7)]、初澤由香理[6)]

1) 国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
2) 独立行政法人国立病院機構　名古屋医療センター
3) 独立行政法人国立病院 機構　大阪医療センター
4) 東京医科大学病院
5) Department of Medicine I, University Hospital Bonn
6) MSD KK
7) Merck & Co., Inc.

O05-5 抗レトロウイルス療法切り替えにおける患者報告アウトカム：HIV 陽性者のリアルワールド経験からの知見

仲村秀太[1)]、岩橋恒太[2)]、Nneka Nwokolo[3)]、Brent Allan[4)]、Garry Brough[5)]、Mario Cascio[6)]、Erika Castellanos[7)]、Antonella Cingolani[8)]、Vuyiseka Dubula[9)]、W. David Hardy[10)]、Sindy Mbundwini[11)]、Marta McBritton[12)]、Mary Ndung'u[13)]、Bruce Richman[14)]、Mercy Shibemba[15)]、Ama Appiah[3)]、Mariel Mayer[3)]、Shaun Mellors[3)]、Rickesh Patel[3)]

1) 琉球大学大学院医学研究科　感染症・呼吸器・消化器内科学講座（第一内科）
2) 特定非営利活動法人 akta
3) ViiV Healthcare, London, UK
4) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
5) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
6) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
7) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
8) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
9) The Global Fund, Geneva, Switzerland
10) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
11) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
12) Barong, Sao Paulo, Brazil
13) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
14) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA
15) Independent Consultant, Manchester, UK

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 9:20

■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 6（社会・S）
薬害

座長　柿沼章子
（(社福）はばたき福祉事業団）

澤田暁宏
（兵庫医科大学病院　呼吸器・血液内科）

O06-1 HIV 感染血友病患者の齲蝕治療歴と口腔衛生指導の課題と検討

宮本里香[1)]、高鍋雄亮[2)]、丸岡　豊[2)]

1) 国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
2) 国立健康危機管理研究機構　国際医療センター歯科口腔外科

O06-2 薬害 HIV 感染被害者の長期療養における心理士の役割

緒方　釈[1)]、高木雅敏[2)]、田上直美[3)]、高林　学[3)]、中村朋文[4)]、中田浩智[1,4)]、安永純一朗[1,4,5)]、松下修三[6)]

1) 熊本大学病院感染免疫診療部
2) 熊本大学病院看護部
3) 熊本大学病院薬剤部
4) 熊本大学病院血液・膠原病・感染症内科
5) 熊本大学大学院生命科学研究部
6) 熊本大学ヒトレトロウィルス学共同センター

O06-3 薬害 HIV 感染血友病患者における身体・生活機能の実態 ―全国多施設リハビリ検診 2025 年度報告―

西原将太[1)]、宮本高明[1)]、木下雄介[1)]、岡田貴裕[1)]、松崎春希[1)]、山本克彦[1)]、大金美和[2)]、柿沼章子[3)]、藤谷順子[1)]

1) 国立研究危機管理研究機構 国立国際医療センター リハビリテーション科
2) 国立研究危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
3) 社会福祉法人 はばたき福祉事業団

O06-4 薬害HIV感染被害者の障害年金請求支援における課題～抗HIV薬と透析の因果関係が見落とされた一事例から得られた教訓～

岩野友里[1)]、久地井寿哉[2)]、柿沼章子[1)]

1) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団 (エイズ予防財団リサーチレジデント)

O06-5　薬害 HIV 感染被害者の安心安全な長期療養のソーシャルサポート構築～緊急時や入院時等の保証人の確保した一事例～

柿沼章子 [1)]、久地井寿哉 [2)]、岩野友里 [1)]

1）社会福祉法人はばたき福祉事業団
2）社会福祉法人はばたき福祉事業団 (エイズ予防財団リサーチレジデント)

■日時：11 月 21 日（土） 8:30 ～ 9:50

■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 7（臨床・C）
PrEP と HBV

座長　谷口俊文
（千葉大学医学部附属病院　感染制御部・感染症内）
村松　崇
（東京医科大学 臨床検査医学科）

O07-1　PrEP 診療を契機とした B 型肝炎 combination prevention の実装

石内崇勝 [1,2)]、川邊卓馬 [1)]、岡田礼奈 [1)]、三上　蓮 [1)]、吉田菜乃 [1)]、坂元奈桜 [1)]、清水健伍 [1)]、吉田昂汰 [1,2)]

1）一般社団法人天照会　いだてんクリニック
2）熊本大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター

O07-2　PrEP 時代の東京における MSM の急性 HBV 感染のリスクと予後

水島大輔、新谷由衣、高野　操、安藤尚克、青木孝弘、上村　悠、岡　慎一、潟永博之

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

O07-3　HIV PrEP 時代における東京の MSM の HBV 疫学

新谷由衣、水島大輔、高野　操、上村　悠、安藤尚克、青木孝弘、潟永博之

国際医療センターエイズ治療研究開発センター

O07-4　ハイリスク集団における BBV(HIV、HBV、HCV) 感染の実態調査

上村　悠 [1)]、水島大輔 [1,4)]、塩尻大輔 [2)]、石内崇勝 [3,4)]、池袋　真 [2,4)]、坂元奈桜 [3,5)]、清水健伍 [3,5)]、吉田昂汰 [3,4)]、金城里奈 [1)]、新谷由衣 [1)]、桑田　亮 [1)]、川島　亮 [1,4)]、井上恵理 [1)]、安藤尚克 [1)]、中本貴人 [1)]、青木孝弘 [1)]、照屋勝治 [1)]、潟永博之 [1,4)]

1）日本健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
2）パーソナルヘルスクリニック
3）一般社団法人天照会　いだてんクリニック
4）熊本大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター
5）滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻

O07-5　トランスジェンダー男性における膣内細菌叢と局所炎症所見の検討 —HIV 予防支援への示唆—

河瀬里美、池袋　真、久我伊万里、佐藤郁実、塩尻大輔

医療法人社団マキマ会　パーソナルヘルスクリニック

O07-6　Once-weekly oral islatravir/lenacapavir (ISL/LEN) vs daily BIC/FTC/TAF in virologically suppressed adults with HIV-1: Week 48 results of ISLEND-1 Phase 3 trial

木内　英 [1)]、Jurgen K. Rockstroh[2)]、Moti N. Ramgopal[3)]、Adrian C. Fabregas[4)]、Malcolm Hedgcock[5)]、Kimberly A. Workowski[6)]、Sylvie Ronot-Bregigeon[7)]、Isabel Cassetti[8)]、Cynthia Brinson[9)]、Samir K. Gupta[10)]、Chien-Ching Hung[11)]、Mark O'Reilly[12)]、Jihad Slim[13)]、潟永博之 [14)]、Peter Shalit[15)]、Stephanie O. Klopfer[16)]、Shan-Yu Liu[17)]、Nidhi Patel[16)]、Fadi Shihadeh[17)]、Renee-Claude Mercier[17)]、Melissa Shaughnessy[16)]、Hadas Dvory-Sobol[17)]、Devi SenGupta[17)]、Cyril Llamoso[16)]、Martin S. Rhee[17)]、Chloe Orkin[18)]

1）東京医科大学病院
2）Department of Medicine I, University Hospital Bonn
3）Midway Immunology and Research Center, Fort Pierce
4）Department of Infectious Diseases, Vall d'Hebron University Hospital
5）Spectrum Health
6）Department of Medicine, Emory University, Atlanta
7）APHM, Hopital Sainte-Marguerite, Aix-Marseille Université
8）Helios Salud
9）Central Texas Clinical Research
10）Indiana University School of Medicine
11）Department of Internal Medicine, National Taiwan University Hospital Yunlin Branch
12）East Sydney Doctors; Taylor Square Private Clinic
13）New York Medical College
14）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
15）Tribalmed LLC
16）Merck & Co., Inc.
17）Gilead Sciences, Inc.
18）SHARE Collaborative, Blizard Institute, Faculty of Medicine and Dentistry, Queen Mary University of London

O07-7 Once-weekly oral islatravir/lenacapavir (ISL/LEN) vs standard-of-care in virologically suppressed adults with HIV-1: Week 48 results of ISLEND-2 Phase 3 trial

渡邊　大[1)]、Amy E. Colson[2)]、Princy N. Kumar[3)]、Peter J. Ruane[4)]、Ploenchan Chetchotisakd[5)]、Winai Ratanasuwan[6)]、Afaaf Liberty[7)]、Ronald G. Nahass[8)]、Alejandro Arenas-Pinto[9)]、Frank A. Post[10)]、David A. Baker[11)]、Pedro Cahn[12)]、Eveline Hofmann[13)]、Po-Liang Lu[14)]、Anna H.E. Roukens[15)]、Miłosz Parczewski[16)]、Hongyuan Wang[17)]、Ke Chen[18)]、Fadi Shihadeh[17)]、Melissa Shaughnessy[18)]、Hadas Dvory-Sobol[17)]、Devi SenGupta[17)]、Cyril Llamoso[18)]、Martin S. Rhee[17)]、Onyema Onyema[19)]

1) 独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター
2) Community Resource Initiative, Boston
3) Georgetown University Hospital
4) Ruane Clinical Research Group, Inc.
5) Srinagarind Hospital, Khon Kaen University
6) Faculty of Medicine, Siriraj Hospital, Mahidol University
7) Perinatal HIV Research Unit-Soweto, University of the Witwatersrand
8) ID Care, Hillsborough
9) Institute for Global Health, University College London
10) King's College Hospital NHS Foundation Trust
11) East Sydney Doctors, Darlinghurst
12) Fundación Huésped, Buenos Aires
13) Department of Infectious Diseases, Inselspital, Bern University Hospital
14) Kaohsiung Medical University Hospital
15) Leiden University Center for Infectious Diseases, Leiden University Medical Center
16) Department of Infectious, Tropical Diseases and Acquired Immune Deficiency, Pomeranian Medical University
17) Gilead Sciences, Inc.
18) Merck & Co., Inc.
19) Yale School of Medicine, Yale University

O07-8 Once-Weekly Oral Islatravir/Lenacapavir (ISL/LEN) in Virologically Suppressed Adults with HIV-1: Week 48 Results in Japanese Subgroup from ISLEND-1 and ISLEND-2

谷口俊文[1)]、潟永博之[2)]、横幕能行[3)]、木内　英[4)]、猪狩英俊[1)]、白野倫徳[5)]、仲村秀太[6)]、初澤由香理[7)]、山田桃香[7)]、近藤　陽[8)]、Furong Wang[9)]、Hadas Dvory-Sobol[9)]、渡邊　大[10)]

1) 千葉大学医学部付属病院
2) 国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
3) 独立行政法人国立病院機構　名古屋医療センター
4) 東京医科大学病院
5) 大阪市立総合医療センター
6) 琉球大学病院
7) MSD 株式会社
8) ギリアド・サイエンシズ株式会社
9) Gilead Sciences, Inc.
10) 独立行政法人国立病院機構　大阪医療センター

■日時：11 月 21 日（土）　9:20 ～ 10:10

■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 8（社会・S）
陽性者支援

座長　大島　岳
（明治大学情報コミュニケーション学部）

高久陽介
（特定非営利活動法人日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス）

O08-1 HIV 陽性者「全国ピアサポート円卓会議」の継続的展開 ―歴史・地域・世代をつなぐネットワークへ―

大島　岳[1,2)]、加藤力也[2)]、牧原信也[2)]、生島　嗣[2)]

1) 明治大学情報コミュニケーション学部
2) 認定 NPO 法人ぷれいす東京

O08-2 「YOUTH ミーティング」実施報告

宮城淳史[1)]、丹羽賢克[1)]、瀬戸伸彦[1)]、加藤力也[1)]、大島　岳[1,2)]、牧原信也[1)]、生島　嗣[1)]

1) 特定非営利活動法人ぷれいす東京
2) 明治大学

O08-3 HIV 陽性者における自殺念慮・計画・企図とその理由の実態の検討―HIV Futures Japan 第 4 回調査より

戸ヶ里泰典[1)]、井上洋士[2)]、高久陽介[3)]、大島　岳[4)]、阿部桜子[5)]、細川陸也[6)]、山内麻江[7)]、米倉佑貴[8)]、関由起子[9)]、塩野徳史[10)]、井上智史[11)]、伊藤佳七子[1)]、若林チヒロ[12)]

1) 放送大学
2) アクセライト
3) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
4) 明治大学
5) TIS
6) 京都府立医科大学
7) 順天堂大学
8) 聖路加国際大学
9) 埼玉大学
10) 大阪青山大学
11) 九州大学
12) 埼玉県立大学

O08-4 外国人 HIV 感染者・AIDS 患者に対する多職種連携による診療支援の現状と課題

塚田真弓、富田　学、大谷真理子、松本幸則、宮崎泰斗、吉澤定子、舘田一博

東邦大学医療センター大森病院

■日時：11 月 21 日（土） 14:40 ～ 15:40
■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F 405 会議室）

口演 9（社会・S）
ソーシャルワーク

座長 塚田訓久
（埼玉医科大学総合医療センター感染症科・感染制御科）
重信英子
（広島大学病院）

O9-1 早期 ART 開始を妨げうる自立支援医療認定の運用状況に関する考察

塚田訓久
埼玉医科大学総合医療センター

O9-2 HIV 感染血友病等患者の地域での安心・安全な長期療養のための支援課題に関する中間解析～二重の孤立

久地井寿哉[1)]、岩野友里[2)]、柿沼章子[2)]
1）社会福祉法人はばたき福祉事業団（エイズ予防財団リサーチレジデント）
2）社会福祉法人はばたき福祉事業団

O9-3 「感染しない」と知っていても怖い―HIV 感染症患者の維持透析受け入れで見えた医療従事者の本音―

竹石康広[1)]、菅沼信也[2)]、西澤喬光[1)]、斎藤裕太[1)]
1）菅沼会 腎内科クリニック世田谷 臨床工学部
2）菅沼会 腎内科クリニック世田谷 人工透析内科

O9-4 非拠点病院における受け入れ体制構築のためのブロック拠点病院等ソーシャルワーカーの試み

高橋昌也[1)]、山口みなみ[2)]、北村未季[2)]、工藤晃聖[3)]、三鍋佑馬[4)]、四戸 良[4)]、佐藤華絵[5)]、青野加奈子[6)]、中村翔太[6)]、横尾ゆかり[7)]、今村純子[8)]、岡本 学[9)]、重信英子[10)]、田中 透[11)]、中津千恵子[12)]、首藤美奈子[13)]、大里文誉[13)]、田村賢二[13)]、三嶋一輝[14)]
1）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター
2）北海道大学病院
3）札幌医科大学附属病院
4）旭川医科大学病院
5）仙台医療センター
6）石川県立中央病院
7）新潟大学医歯学総合病院
8）名古屋医療センター
9）大阪医療センター
10）広島大学病院
11）県立広島病院
12）広島市立広島市民病院
13）九州医療センター
14）福井大学医学部附属病院

O9-5 HIV 陽性者の地域医療機関受入れ困難の現状を地域で解決する体制構築の実践

重信英子[1)]、木梨貴博[2)]、中津千恵子[3)]、折本陽一[4)]、田中 透[5)]、尾崎陽子[3)]、梶原浩子[5)]、藤井輝久[1)]
1）広島大学病院
2）国立病院機構福山医療センター
3）広島市立病院機構広島市立広島市民病院
4）国立病院機構呉医療センター
5）広島県立病院機構県立広島病院

O9-6 商業文化空間における映像上映を通じた HIV・薬物のヘルスプロモーション―世界エイズデーの上映会・トークから考える「語れなさ」と対話の可能性―

大島 岳[1,2)]、生島 嗣[2)]
1）明治大学情報コミュニケーション学部
2）認定 NPO 法人ぷれいす東京

■日時：11 月 21 日（土） 14:40 ～ 15:30
■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 10（臨床・C）
看護・長期療養・チーム医療（1）

座長 渡部恵子
（北海道大学病院）
鈴木ひとみ
（国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター）

O10-1 HIV 患者が家族へ病名告知を再考した心境の変化と意思決定支援

松崎麻美子[1)]、松枝 佑[2)]、中鉢香奈恵[1)]、加藤 笑[1)]、鎌田浩稔[4)]、和田達彦[2)]、高山陽子[3)]、山岡邦宏[2)]
1）北里大学病院看護部
2）北里大学病院リウマチ膠原病・感染内科
3）北里大学病院感染管理室
4）北里大学病院血液内科

O10-2 HIV 患者の転院調整の難しさと当院での取り組みについて

石井 恵、西村瑞穂
川崎医科大学附属病院

O10-3 自閉スペクトラム症疑いのある薬害 HIV 感染者に在宅療養支援を導入した一症例

鈴木ひとみ、青木孝弘、木村聡太、野崎宏枝、大金美和、宮本里香、大杉福子、中本貴人、上村 悠、照屋勝治、潟永博之
国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

O10-4 自殺念慮を契機に多職種が関わり生活保護から経済的自立に至った症例―MSW―

池田　聖[1)]、中尾　綾[2)]、山之内純[2)]、若宮明子[3)]、宮崎雅美[3)]、乗松真大[4)]、廣岡昌史[1)]

1）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
2）愛媛大学医学部附属病院　第一内科
3）愛媛大学医学部附属病院　看護部
4）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部

O10-5 当センターにおける HIV 患者の予約外受診の実態調査～性感染症に注目した報告

向井博子[1,2)]、杉野祐子[1)]、鈴木ひとみ[1)]、池田和子[1)]、谷口　紅[1)]、大杉福子[1)]、野崎宏枝[1)]、佐々木愛美[1)]、大金美和[1)]、高橋昌也[1)]、木村聡太[1)]、大友　健[1)]、宮本里香[1)]、照屋勝治[1)]、潟永博之[1)]

1）国立健康危機管理研究機構国際医療センター
2）公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント

■日時：11 月 21 日（土）　15:40 ～ 16:30

■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 11（臨床・C）
抗 HIV 療法（switch・非製薬）

座長　**安達英輔**
（東京大学医科学研究所病院）

吉野友祐
（帝京大学医学部微生物学講座 帝京大学アジア国際感染症制御研究所）

O11-1 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査ー抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査（2026 年）

関根祐介[1)]、澤田暁宏[2)]、増田純一[3)]、小島賢一[4)]

1）東京医科大学病院　薬剤部
2）兵庫医科大学 呼吸器・血液内科
3）国立国際医療センター　薬剤部
4）荻窪病院 血液凝固科

O11-2 BIC/FTC/TAF と DTG/3TC へのスイッチ後 240 週ウイルス学的アウトカム：どちらを選んでも長期成績は同程度

小西啓司[1,2)]、上平朝子[1)]、廣田和之[1)]、上地隆史[1)]、中嶋恵理子[1)]、西田恭治[1)]、白阪琢磨[1)]、渡邊　大[3)]

1）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 感染症内科
2）大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学
3）大阪大学大学院医学系研究科連携大学院 エイズ先端医療学

O11-3 抗 HBV 活性を有さない ART への切り替え後における HBV 感染・再活性化の臨床的リスク：20 年間コホート研究

安達英輔、岡崎逢子、菅野芳明、古賀道子、四柳　宏

東京大学医科学研究所　附属病院感染免疫内科

O11-4 HBc 抗体陽性 HIV 感染者における DTG/3TC 療法の HBV 再活性化リスクの検討

大谷真理子[1,2)]、吉澤定子[3)]、横尾卓也[1)]、塚田真弓[2)]、前田　正[4)]、宮崎泰斗[2,4)]、舘田一博[2)]、松本高広[1)]

1）東邦大学医療センター大森病院薬剤部
2）東邦大学医療センター大森病院感染管理部
3）東邦大学医療センター大森病院臨床検査部
4）東邦大学医療センター大森病院総合診療・急病センター

O11-5 BIC/FTC/TAF または DTG + FTC/TAF から DTG/3TC への治療変更が体重および代謝プロファイルに与える影響：無作為化オープンラベル試験 (96 週解析)

南　建輔[1)]、笹原鉄平[1)]、伊東　剛[2)]、岡本　耕[3,4)]、阪下健太郎[5)]、布野聖太[1)]、三重野牧子[6)]、畠山修司[1,3)]

1）自治医科大学　感染・免疫学講座　感染症学部門
2）済生会宇都宮病院　総合内科
3）東京都立大久保病院　感染症内科
4）東京科学大学大学院　医歯学総合研究科　統合臨床感染症学分野
5）高山赤十字病院　呼吸器内科
6）自治医科大学　情報センター

■日時：11 月 21 日（土） 15:30 ～ 16:20
■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 12（臨床・C）
看護・長期療養・チーム医療（2）

座長 前田サオリ
（琉球大学病院）
高木雅敏
（熊本大学医学部附属病院）

O12-1 進行性多巣性白質脳症を併発した HIV 関連 DLBCL 患者の施設看取り支援（第 1 報）－がん看護専門看護師と連携し自宅退院までの代理意思決定支援－

中村美保[1,3]、弘末美佐[2,3]、荒川　悠[1,4]、西田拓洋[1]、竹村美香[3]、土居安世[1,3]、江田仁海[5]、勝賀瀬智大[6]、松本　務[7]、盛實篤史[1,8]

1）高知大学医学部附属病院　エイズケアチーム
2）高知大学医学部附属病院　がん治療センター
3）高知大学医学部附属病院　看護部
4）高知大学医学部附属病院　感染症科
5）高知大学医学部附属病院　血液内科
6）高知大学医学部附属病院　脳神経内科
7）医療法人そらのいろ　あおぞら診療所高知潮江
8）高知大学医学部附属病院　総合診療部

O12-2 進行性多巣性白質脳症を併発した HIV 関連 DLBCL 患者の施設看取り支援（第 2 報）―地域療養における多職種連携と代理意思決定支援―

弘末美佐[1,3]、中村美保[2,3]、荒川　悠[2,4]、西田拓洋[2]、竹村美香[3]、土居安世[2,3]、江田仁海[5]、勝賀瀬智大[6]、松本　務[7]、盛實篤史[2,8]

1）高知大学医学部附属病院　がん治療センター
2）高知大学医学部附属病院　エイズケアチーム
3）高知大学医学部附属病院　看護部
4）高知大学医学部附属病院　感染症科
5）高知大学医学部附属病院　血液内科
6）高知大学医学部附属病院　脳神経内科
7）医療法人そらのいろ　あおぞら診療所高知潮江
8）高知大学医学部附属病院　総合診療部

O12-3 進行性多巣性白質脳症を併発した HIV 関連 DLBCL 患者の施設看取り支援（第 3 報）―在宅緩和ケア、施設看取りを支える多職種連携―

松本　務[1]、弘末美佐[2,4]、中村美保[3,4]、荒川　悠[3,5]、西田拓洋[3]、竹村美香[4]、土居安世[3,4]、江田仁海[6]、勝賀瀬智大[7]、盛實篤史[3,8]

1）医療法人そらのいろ　あおぞら診療所高知潮江
2）高知大学医学部附属病院　がん治療センター
3）高知大学医学部附属病院　エイズケアチーム
4）高知大学医学部附属病院　看護部
5）高知大学医学部附属病院　感染症科
6）高知大学医学部附属病院　血液内科
7）高知大学医学部附属病院　脳神経内科
8）高知大学医学部附属病院　総合診療部

O12-4 ALS 進行を契機に夫の HIV 感染を知った妻へ心理的支援の実践

正木るり子、堀知津江、井田真由美

地方独立行政法人　堺市立病院機構　堺市立総合医療センター　看護局

O12-5 HIV 感染症診療開始から HIV 看護模索・定着までの軌跡ー 1994 年からの約 30 年間を振り返るー

宮林優子

藍プラン

■日時：11 月 21 日（土） 16:20 ～ 17:10
■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 13（臨床・C）
抗 HIV 療法（動向・取り組み）

座長 白野倫徳
（大阪市立総合医療センター感染症内科）
小西啓司
（国立病院機構 大阪医療センター）

O13-1 日本における複雑なレジメン下でウイルス学的抑制を達成している HIV 陽性者の臨床的特徴と治療パターン：電子カルテを用いたリアルワールドデータベース研究

Soodi Navadeh[1]、田口　直[2]、Jesse Najarro Cermeno[3]、Yamaura Reiko[4]、Siming Chen[4]、Mellissa Williamson[1]、Peter Sklar[1]、渡邊　大[5]

1）Gilead Sciences, Inc, Foster City, CA, USA.
2）Gilead Sciences K.K, Tokyo, Japan
3）Gilead Sciences, Inc, Parsippany, NJ, USA
4）IQVIA Solutions Japan
5）国立病院機構 大阪医療センター , 大阪 , 日本

O13-2 **抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査－治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査（2026 年）**

澤田暁宏[1)]、関根祐介[2)]、増田純一[3)]、小島賢一[4)]

1）兵庫医科大学　血液内科
2）東京医科大学病院　薬剤部
3）国立国際医療センター　薬剤部
4）荻窪病院　血液凝固科

O13-3 **当センターにおける抗 HIV 療法レジメンの現状**

青木孝弘、桑田　亮、川島　亮、井上恵理、中本貴人、安藤尚克、上村　悠、水島大輔、源河いくみ、矢崎博久、照屋勝治、菊池　嘉、潟永博之

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

O13-4 **当センターにおける長時間作用型筋肉注射製剤の導入状況**

青木孝弘、桑田　亮、川島　亮、井上恵理、中本貴人、安藤尚克、上村　悠、水島大輔、源河いくみ、矢崎博久、照屋勝治、菊池　嘉、潟永博之

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

O13-5 **民間クリニックにおける HIV 陽性者治療継続受入れ：予防から治療までの実践報告**

清水健伍[1,2)]、石内崇勝[1,3)]、川邊卓馬[1)]、岡田礼奈[1)]、三上　蓮[1)]、吉田菜乃[1)]、坂元奈桜[1,2)]、吉田昂汰[1,3)]

1）一般社団法人天照会　いだてんクリニック
2）滋賀医科大学大学院医学系研究科看護学専攻
3）熊本大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター

■日時：11 月 21 日（土）　16:50 ～ 17:40

■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 14（臨床・C）
日和見感染・悪性腫瘍・肝炎（1）

座長　四本美保子
（東京医科大学病院臨床検査医学科）

照屋勝治
（国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

O14-1 **血友病合併 HIV/HCV 重複感染性肝硬変に対するホスセンビビントの第 II 相試験：投与終了後 52 週後観察結果**

木村公則[1)]、生駒明美[2)]、岡本典代[1)]、遠藤知之[3)]、阪森亮太郎[4)]、四本美保子[5)]、四柳　宏[6)]、潟永博之[7)]

1）東京都立駒込病院肝臓内科
2）東京都立駒込病院臨床研究・治験センター
3）北海道大学病院感染制御部
4）国立病院機構大阪医療センター 消化器内科
5）東京医科大学病院臨床検査医学科
6）国立健康危機管理研究機構
7）国立健康危機管理研究機構国立国際医療センターエイズ治療・研究開発センター

O14-2 **日本の HIV 陽性者 (PWH) における B 型肝炎ウイルス (HBV) 新規感染および再活性化の発生率と患者特性：後ろ向きデータベース研究**

木内　英[1)]、田口　直[2)]、Neia Prata Menezes[3)]、Tali Cassidy[3)]、Leland Yee[3)]、原田 圭輔[2)]、KuanYeh Lee[2)]、堤　武也[4)]

1）東京医科大学　臨床検査医学分野
2）ギリアド・サイエンシズ株式会社
3）Gilead Sciences Inc.
4）東京大学大学院医学系研究科　感染制御学

O14-3 **当院における HIV 陽性悪性腫瘍患者に対する免疫チェックポイント阻害薬投与 14 例の臨床経過**

関谷綾子[1,2)]、鄭　瑞雄[1)]、相澤陽太[1)]、福島一彰[1)]、田中　勝[1)]、小林泰一郎[1)]、味澤　篤[1)]、今村顕史[1)]

1）がん感染症センター都立駒込病院
2）東京医科大学臨床検査医学分野

O14-4 HIV/HCV 合併血友病患者に対する長期肝検診の意義：HCV 治療後の肝予備能推移を中心に

右田一成、原　貴信、藤好真人、松島　肇、濱田隆志、布下裕基、中村　瞬、亀浜郁佳、笠伸大朗、今村一歩、木下綾華、足立智彦、江口　晋

長崎大学大学院外科学講座　腹部・移植再生外科学分野

O14-5 ART 施行中の HIV 感染女性において頸管内進展を認めた HPV52 型関連 HSIL の一例

佐藤　健[1)]、後藤亜香利[1)]、川村志野[2)]、西堀考亮[1)]、幸高響子[1)]、南　元遥[1)]、赤坂俊輔[1)]、白土翔太郎[1)]、吉田正宏[1)]、堀口拓人[1)]、井山　諭[1)]、近江谷佳奈[2)]、稗田広美[2)]、平賀多絵子[2)]、又村了輔[3)]、國本雄介[3)]、宮越郁子[2)]、小船雅義[1)]

1）札幌医科大学附属病院　血液内科
2）札幌医科大学附属病院　看護部
3）札幌医科大学附属病院　薬剤部

■日時：11 月 21 日（土）　17:30 ～ 18:20

■会場：第 3 会場（岡山コンベンションセンター 2F レセプションホール）

口演 15（社会・S）
薬物使用・疫学

座長　新田慎一郎
（国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部）

戸ヶ里泰典
（放送大学）

O15-1 薬物使用・HIV 支援における当事者参画型ワークショップの開催

新田慎一郎[1,2,3)]、村崎美和[4)]、山口正純[5)]、曽根隆純[2)]、福正大輔[2)]、大島　岳[6)]、岡本　学[7)]、西川篤郎[2)]、生島　嗣[2)]

1）国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
2）特定非営利活動法人 ぷれいす東京
3）医療法人社団ゆうりん ゆうりんクリニック
4）学校法人北里研究所北里大学北里研究所病院
5）一般財団法人博慈会 長寿リハビリセンター病院
6）明治大学
7）大阪医療センター

O15-2 薬物使用経験者が地域に求めるハームリダクション的支援サービス～当事者参加型ブレーンストーミングによる質的分析

山口正純[1)]、新田慎一郎[2,3,4)]、村崎美和[5)]、曽根隆純[3)]、生島　嗣[3)]

1）一般財団法人博慈会 長寿リハビリセンター病院 内科
2）国立精神・神経医療研究センター
3）特定非営利活動法人ぷれいす東京
4）ゆうりんクリニック
5）学校法人北里研究所北里大学北里研究所病院

O15-3 薬物を使用することがある当事者と協働して編み上げる脱スティグマ化の言葉―エイズ予防指針改正にみるハームリダクションの実践

ことうごろう[1,2)]

1）日本薬物政策アドボカシーネットワーク
2）ハームリダクション東京

O15-4 HIV 免疫機能障害認定における CD4 値の単回測定の妥当性―11 施設 1,306 例の多施設後向きコホート解析

谷口俊文[1)]、村松　崇[2)]、南　留美[3)]、仲村秀太[4)]、安達英輔[5)]、関谷綾子[6)]、福島一彰[6)]、今村淳治[7)]、白野倫徳[8)]、吉野友祐[9)]、平井由児[10)]、今橋真弓[11)]

1）千葉大学医学部附属病院
2）東京医科大学病院
3）国立病院機構九州医療センター
4）琉球大学
5）東京大学医科学研究所附属病院
6）がん・感染症センター都立駒込病院
7）国立病院機構仙台医療センター
8）大阪市立総合医療センター
9）帝京大学
10）東京医科大学八王子医療センター
11）国立病院機構名古屋医療センター

■日時：11 月 21 日（土）　17:30 ～ 18:30

■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 16（臨床・C）
PrEP とジェンダー＋α

座長　水島大輔
（国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター）

池袋　真
（パーソナルヘルスクリニック横浜院）

O16-1 SH 外来通院者における PrEP を使用しない理由

高野　操、水島大輔、田中和子、新谷由衣、金城理奈、山中宏江、市河有由希、青木孝弘、安藤尚克、照屋勝治、潟永博之、岡　慎一

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター

O16-2 トランスジェンダーの人々における性感染症の実態と性行動・予防行動との関連

石内崇勝[1)]、川邊卓馬[1)]、岡田礼奈[1)]、三上　蓮[1)]、吉田菜乃[1)]、坂元奈桜[1)]、清水健伍[1)]、吉田昂汰[1,2)]

1）一般社団法人天照会　いだてんクリニック
2）熊本大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター

O16-3 HIV-PrEP 使用中のシスジェンダー女性における Doxy-PrEP 使用と性感染症罹患率の検討

吉田昂汰[1,2)]、川邊卓馬[1)]、岡田礼奈[1)]、三上　蓮[1)]、吉田菜乃[1)]、坂元奈桜[1)]、清水健伍[1)]、石内崇勝[1,2)]

1）一般社団法人天照会　いだてんクリニック
2）熊本大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター

O16-4 東京の MSM コホートにおける PrEP および DoxyPEP の利用者増加による性感染症疫学の変遷

水島大輔、新谷由衣、高野　操、安藤尚克、青木孝弘、岡　慎一、潟永博之

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

O16-5 婦人科での PrEP 診療の実践：女性ユーザーの動向と課題

池田詩子[1)]、池田　博[2)]、市原浩司[3)]、砂押研一[4)]、生島　嗣[5)]、三輪岳史[5)]、高野　操[6)]、水島大輔[6)]

1）宮の森レディースクリニック
2）池田内科
3）札幌中央病院　泌尿器科
4）ていね駅前泌尿器科
5）特定非営利活動法人ぷれいす東京
6）国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

O16-6 抗レトロウイルス療法関連 CKD に対しダパグリフロジン投与後に長期的な eGFR 改善を認めた一例

新江裕貴[1,2)]、星野慎一[3)]、諸見奈緒[4)]、徳嶺光市[5)]、古波蔵健太郎[6)]

1）琉球ヘルスパートナーズ合同会社
2）株式会社沖縄ファーマシー
3）沖縄県立北部病院　内科
4）沖縄県立北部病院　薬局
5）沖縄県立中部病院　薬局
6）琉球大学病院　血液浄化療法部

■日時：11 月 21 日（土）　17:40 ～ 18:30
■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 17（臨床・C）
日和見感染・悪性腫瘍・肝炎（2）

座長　今村淳治
（国立病院機構仙台医療センター）

座長　高濱宗一郎
（九州医療センター　免疫感染症内科）

O17-1 薬害 HIV 感染被害者を対象とした多機関がんスクリーニング研究

古賀道子[1)]、福田あかり[1)]、柿沼章子[2)]、後藤智巳[2)]、花井十伍[3)]、森戸克則[3)]、橋本則久[3)]、南　留美[4)]、渡邊　大[5)]、藤井輝久[6)]、石坂　彩[1)]、伊藤俊広[7)]、今橋真弓[8)]、江口　晋[9)]、遠藤知之[10)]、木内　英[11)]、阪森亮太郎[5)]、高橋俊二[12)]、田中貴大[1)]、照屋勝治[13)]、丹生健一[14)]、藤谷順子[13)]、保坂　隆[1)]、茂呂　寛[15)]、横幕能行[8)]、渡邉珠代[16)]、四柳　宏[1,13)]

1）東京大学医科学研究所
2）はばたき福祉事業団
3）ネットワーク医療と人権
4）九州医療センター
5）大阪医療センター
6）広島大学病院
7）仙台医療センター
8）名古屋医療センター
9）長崎大学
10）北海道大学病院
11）東京医科大学
12）がん研究会
13）国立健康危機管理研究機構
14）神戸大学
15）新潟大学医歯学総合病院
16）石川県立中央病院

O17-2 薬害 HIV 感染血友病患者の癌スクリーニング研究の報告

上村　悠、小形幹子、桑田　亮、川島　亮、井上恵理、安藤尚克、中本貴人、水島大輔、青木孝弘、照屋勝治、潟永博之

日本健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

O17-3 HIV・HBV・HCV 感染者における悪性腫瘍合併例の予後比較：単施設後方視的調査

畠山成寛[1)]、神　　葵[1)]、西山由真[1)]、安島秀友[1)]、坂本靖宜[1)]、井出和男[1)]、寒川　整[2)]、小池博文[1)]

1）横浜市立大学附属病院薬剤部
2）横浜市立大学医学部　血液・免疫・感染症内科

O17-4 CAB/RPV 導入後に B 型急性肝炎を発症し、HBs セロコンバージョン後に再導入した PLWH の 1 例

一木昭人、大崎俊樹、原田侑子、金子　竣、宮下竜伊、近澤悠志、備後真登、村松　崇、四本美保子、天野景裕、木内　英

東京医科大学病院臨床検査医学科

O17-5 HIV 診断後急性期以降における非結核性抗酸菌症発症リスク：JMDC 医療機関データベースを用いた後ろ向きコホート研究

加藤貴史[1)]、西村　拓[2)]、鈴木祐平[2)]、森本康弘[1)]、武田啓太[1)]、佐々木結花[1)]、永井英明[1)]

1）NHO 東京病院呼吸器内科
2）NHO 東京病院臨床研究部

■日時：11 月 22 日（日）　8:30 ～ 9:20

■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 18（臨床・C）
生活習慣病合併症（1）

座長　宇野健司
（南奈良総合医療センター　感染症内科）

関谷綾子
（がん感染症センター都立駒込病院）

O18-1 日本の男性 HIV 感染者と非感染者における生活習慣病および関連指標の比較検討：JMDC レセプトデータベースを用いた健康診断結果の実測値に基づく横断研究

山下耕平[1)]、池内和彦[1)]、関谷綾子[2)]、有里勇輝[1,2)]、松本慎也[3)]、岸田季之[1)]、四柳　宏[4)]、堤　武也[1,3)]

1）東京大学医学部附属病院　感染症内科
2）がん・感染症センター　都立駒込病院
3）東京大学医学部附属病院　感染制御部
4）国立健康危機管理研究機構

O18-2 HIV 陽性・陰性血友病患者における冠動脈狭窄の比較検討

遠藤知之[1,2,3)]松川敏大[2,3)]、荒　隆英[3)]、長谷川祐太[2,3)]、森木朝子[3,4)]、高橋知希[3,4)]、相庭昌之[3,4)]、後藤秀樹[2,3)]、中川雅夫[3)]、加畑　馨[3,5)]、豊嶋崇徳[3)]

1）北海道大学病院　感染制御部
2）北海道大学病院　HIV 診療支援センター
3）北海道大学病院　血液内科
4）エイズ予防財団
5）北海道大学病院　医療・ヘルスサイエンス研究開発機構

O18-3 People Living with HIV(PLWH) における動脈硬化リスクと運動習慣：習慣の維持・中断が経時的変化に及ぼす影響

南　留美[1)]、高濱宗一郎[1)]、小松真梨子[1)]、犬丸真司[2)]、中川ともみ[2)]、長与由紀子[2)]

1）国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
2）国立病院機構九州医療センター看護部

O18-4 HIV 患者における C 型肝炎治癒後の肝線維化および脂肪化の評価

石川和宏[1)]、村松　崇[2)]、金子　竣[2)]、原田侑子[2)]、一木昭人[2)]、宮下竜伊[2)]、近澤悠志[2)]、備後真登[2)]、四本美保子[2)]、萩原　剛[2)]、天野景裕[2)]、木内　英[2)]

1）江戸川病院感染制御部
2）東京医科大学病院臨床検査医学科

O18-5 HIV 陽性者の腎機能と、日常診療における評価方法についての検討

渡邉珠代[1)]、小谷岳春[2)]、車　陽子[3)]、石井智美[3)]、浅田裕子[3)]

1）石川県立中央病院免疫感染症科
2）石川県立中央病院血液内科
3）石川県立中央病院看護部

■日時：11 月 22 日（日）　8:30 ～ 9:20

■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 19（臨床・C）
U=U・挙児希望・母子感染・歯科

座長　白野倫徳
（大阪市立総合医療センター感染症内科）

羽柴知恵子
（国立病院機構　名古屋医療センター）

O19-1 感染判明年齢から見た HIV 感染妊娠の特徴に関する検討

杉浦　敦[1)]、岡本　峻[1,2)]、湊　怜子[1,2)]、山本皇之祐[2)]、山中彰一郎[2)]、竹田善則[2)]、市田宏司[2)]、小林裕幸[2)]、中西美紗緒[2)]、箕浦茂樹[2)]、高野政志[2)]、桃原祥人[2)]、田中瑞恵[2)]、出口雅士[2)]、喜多恒和[2)]、吉野直人[2)]

1）武蔵野赤十字病院　産婦人科
2）HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究班

O19-2　HIV 感染児の長期予後と成人期移行の現状 ― 小児科二次調査登録症例の追跡調査 ―

田中瑞恵 [1)]、外川正生 [2)]、兼重昌夫 [1,2)]、前田尚子 [2)]、青天目信 [2)]、奥野英雄 [2)]、北島浩二 [1,2)]、佐々木泰治 [1,2)]、杉浦　敦 [2)]、喜多恒和 [2)]、吉野直人 [2)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
2）エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班（母子感染研究班）

O19-3　HIV 母子感染撲滅のために性感染症予防をいかに啓発していくか～ SNS を用いた情報発信の動向～

高野政志 [1,2)]、喜多恒介 [1,3)]、川島史奈 [1,3)]、鈴木ひとみ [1)]、羽柴知恵子 [1)]、三上由美子 [1)]、出口雅士 [1)]、杉浦　敦 [1)]、田中瑞恵 [1)]、高橋尚子 [1)]、喜多恒和 [1)]、吉野直人 [1)]

1）厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の 開発および 診療体制の整備と均てん化のための研究（HIV 母子感染研究班）」班
2）防衛医科大学校　産科婦人科学講座
3）株式会社キタイエ

O19-4　急性 HIV 感染者の臨床的特徴および確定診断到達期間の検討

松川敏大 [1,2)]、高橋知希 [1,3)]、森木朝子 [1,3)]、長谷川祐太 [1,2)]、遠藤知之 [1,2,4)]

1）北海道大学病院血液内科
2）北海道大学病院 HIV 診療支援センター
3）エイズ予防財団
4）北海道大学病院感染制御部

O19-5　歯科衛生士国家試験における HIV 感染症に関する出題状況の検討

宇佐美雄司 [1)]、中川裕美子 [2)]、上嶋伸知 [1)]、小田知生 [1)]

1）名古屋医療センター歯科口腔外科
2）大手前短期大学歯科衛生学

■日時：11 月 22 日（日）　9:20 ～ 10:10

■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 20（臨床・C）
看護・長期療養・チーム医療／メンタルヘルス

座長　田中美佐子
（産業医科大学病院）

東　政美
（国立病院機構 大阪医療センター）

O20-1　HIV 感染症患者の転院支援に向けた薬剤管理サマリー作成に関するアンケート調査

濱砂恵理香 [1)]、野村直幸 [1)]、森木智子 [1)]、濱岡照隆 [2)]

1）国立病院機構　関門医療センター　薬剤部
2）国立病院機構　福山医療センター　薬剤部

O20-2　自殺念慮を契機に多職種が関わり生活保護から経済的自立に至った症例ー心理士ー

中尾　綾 [1)]、池田　聖 [2)]、山之内純 [1)]、若宮明子 [3)]、本園　薫 [3)]、宮崎雅美 [3)]、乗松真大 [4)]、竹中克斗 [1)]

1）愛媛大学医学部附属病院　第一内科
2）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
3）愛媛大学医学部附属病院　看護部
4）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部

O20-3　精神科単科病院における HIV 検査の実態

西村康平

神奈川県立精神医療センター

O20-4　トランスジェンダー女性の造腟術後腟における局所環境と HIV 予防支援 ―帯下異常を呈した 4 症例の検討―

河瀬里美 [1)]、池袋　真 [1)]、久我伊万里 [1)]、佐藤郁実 [1)]、新井由紀 [2)]、塩尻大輔 [1)]

1）医療法人社団マキマ会　パーソナルヘルスクリニック
2）New York Electrolysis Office

■日時：11 月 22 日（日） 9:20 ～ 10:10
■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 21（臨床・C）
薬害・体重増加・副作用／臨床疫学・IPDA

座長　照屋勝治
（国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター）

三木浩和
（徳島大学病院　輸血・細胞治療部）

O21-1　ART 開始後の体重増加と糖尿病新規発症との関連

村松　崇、大崎俊樹、金子　竣、原田侑子、宮下竜伊、加藤千博、上久保淑子、山口知子、一木昭人、近澤悠志、備後真登、関谷綾子、四本美保子、萩原　剛、天野景裕、木内　英
東京医科大学病院　臨床検査医学科

O21-2　HIV 感染者におけるクレアチニンおよびシスタチン C に基づく推算糸球体濾過量の相違

吉村幸浩[1)]、西場大喜[1)]、宗　佑奈[1)]、伊東裕史[2)]、長谷川直樹[1)]
1）横浜市立市民病院感染症内科
2）横浜市立市民病院救急診療科

O21-3　薬害エイズ患者におけるリポジストロフィーの検討

中村信元[1)]、冨永誠記[2)]、秋月佐代[2)]、岡本秀樹[2)]、後藤由香[2)]、泉　侑希[3)]、片岡　梢[3)]、矢野由美子[3)]、後藤さおり[3)]、河野美咲[4)]、三木浩和[5)]
1）徳島大学大学院医歯薬学研究部実践地域診療・医科学分野
2）徳島大学病院　患者支援センター
3）徳島大学病院　感染制御部
4）徳島大学病院　看護部
5）徳島大学病院　輸血・細胞治療部

O21-4　抗 HIV 療法における Intact Proviral DNA Assay（IPDA）法を用いた評価についての検討

宮田美保[1)]、土屋亮人[1)]、川島　亮[1,2)]、松田幸樹[3)]、前田賢次[3)]、佐藤賢文[4)]、潟永博之[1,2)]
1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
2）熊本大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター
3）鹿児島大学　ヒトレトロウイルス学共同研究センター
4）北海道大学　病原微生物学講座

O21-5　ウイルス抑制下で CD4 陽性リンパ球数低値が遷延する HIV 感染者における感染症の時間的推移の検討

宗　佑奈[1)]、西場大喜[1)]、伊東裕史[2)]、宮田順之[1)]、吉村幸浩[1)]、長谷川直樹[1)]
1）横浜市立市民病院　感染症内科
2）横浜市立市民病院　救急診療科

■日時：11 月 22 日（日） 10:40 ～ 11:30
■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 22（臨床・C）
薬剤師・服薬アドヒアランス／薬剤耐性

座長　松木克仁
（名古屋医療センター　薬剤部　試験検査主任）

上原　仁
（琉球大学病院薬剤部）

O22-1　HIV 感染症治療におけるトレーシングレポートを活用した薬薬連携の有用性

中内崇夫[1)]、矢倉裕輝[1,2)]、岸田啓太郎[1)]、祝洸太朗[1)]、上平朝子[3)]、渡邊　大[2,3)]
1）国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部
2）国立病院機構 大阪医療センター 臨床研究センター エイズ先端医療研究部
3）国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

O22-2　HIV 感染症患者に対する WEB 薬薬連携システム運用の実践と有用性評価

日笠真一、島袋翔多、秀田恭子、仲井俊行、石原香子、中村豪志、田中邦佳
兵庫医科大学病院　薬剤部

O22-3　2025 年度 HIV-1 薬剤耐性検査外部精度評価の報告

吉田　繁[1)]、松田昌和[2)]、今橋真弓[2)]、岡田清美[3)]、奥出美穂[4)]、林田庸総[8)]、佐藤かおり[5)]、岩崎澄央[5)]、遠藤知之[6)]、西澤雅子[7)]、椎野禎一郎[8)]、潟永博之[8)]、豊嶋崇徳[6)]、杉浦　亙[8)]、吉村和久[9)]、菊地　正[7)]
1）北海道医療大学
2）NHO 名古屋医療センター
3）北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
4）株式会社 LSI メディエンス
5）北海道大学病院検査・輸血部
6）北海道大学病院血液内科
7）国立感染症研究所
8）国立健康危機管理研究機構
9）東京都健康安全研究センター

O22-4 過去に検出された HIV 薬剤耐性変異の累積に基づく治療後薬剤耐性保有率

菅野芳明[1)]、菊地　正[1,2)]、久保田めぐみ[1)]、千光寺智恵[1)]、岡崎逢子[1,3)]、古賀道子[1,3)]、安達英輔[1)]、四柳　宏[1,4)]

1）東京大学医科学研究所附属病院　感染免疫内科
2）国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　エイズ研究センター
3）東京大学　国際高等研究所 新世代感染症センター　感染症研究分野
4）国立健康危機管理研究機構

■日時：11 月 22 日（日）　10:40 ～ 11:30

■会場：第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

口演 23（臨床・C）
症例報告（1）

座長　今村淳治
（国立病院機構仙台医療センター）

今橋真弓
（名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部）

O23-1 体外式膜型人工肺（ECMO）と経腸栄養投与下において簡易懸濁法で投与したビクテグラビルの血中濃度をモニタリングした1例

新井崇之[1,2)]、田澤佑基[1,2)]、長谷川祐太[2,3)]、遠藤知之[2,4)]、武隈　洋[1)]、菅原　満[1,5)]

1）北海道大学病院薬剤部
2）北海道大学病院 HIV 診療支援センター
3）北海道大学病院血液内科
4）北海道大学病院感染制御部
5）北海道大学大学院薬学研究院

O23-2 NRTI 非含有レジメン変更後に HBV 再活性化をきたした isolated anti-HBc 陽性 HIV 感染者の 1 例

中川翔太、馬場有夢、菊地真歩、宮本智美、中拂一彦、保科斉生、堀野哲也

東京慈恵会医科大学内科学講座感染症内科

O23-3 悪性リンパ腫と進行性多巣性白質脳症を合併した後天性免疫不全症候群の一例

荒川　悠[1,2)]、山岸由佳[1,2)]

1）高知大学医学部臨床感染症学講座
2）高知大学医学部附属病院感染管理部

O23-4 身元不明の進行 AIDS 患者における集中治療と社会的・倫理的課題の検討

成田　雅[1)]、宮城　有[1)]、喜舎場利恵[1)]、渡慶次真由美[1)]、向井三穂子[1)]、張　慶哲[1)]、新里盛朗[1)]、星野耕大[1)]、外間　亮[1)]、高江洲怜[1)]、川田　聡[1)]、金城隆展[2)]

1）沖縄県立南部医療センター・こども医療センター
2）琉球大学病院　地域・国際医療部　特命助教

■日時：11 月 22 日（日）　11:30 ～ 12:20

■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 24（臨床・C）
生活習慣病合併症・高齢化

座長　来住知美
（日本パプテスト病院 総合内科）

今北菜津子
（奈良県立医科大学 感染症内科学講座）

O24-1 当院における HIV 陽性患者維持血液透析 19 例の後方視的検討

中嶋恵理子[1)]、上平朝子[1)]、小西啓司[1)]、廣田和之[1)]、上地隆史[1)]、西田恭治[1)]、白阪琢磨[1)]、楠　康生[2)]、渡邊　大[1)]

1）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター感染症内科
2）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター腎臓内科

O24-2 女性 HIV 感染者の健康診断結果の解析：JMDC データを用いた横断研究

池内和彦[1)]、松下清香[1)]、山下耕平[1)]、有里勇輝[1,2)]、松本慎也[1)]、岸田季之[1)]、関谷綾子[2)]、四柳　宏[3)]、堤　武也[1)]

1）東京大学医学部附属病院感染症内科
2）がん・感染症センター都立駒込病院
3）国立健康危機管理研究機構

O24-3 PLWH の皮膚疾患～ざ瘡・アトピー性皮膚炎・乾癬を中心に～

谷口　恭

谷口医院

O24-4 ART 施行中の HIV 感染症患者における肥満関連合併症への包括的アプローチ

阿部公俊[1)]、今井三枝子[2)]、叶内　至[3)]、高嶋英樹[4)]、中尾安秀[4)]

1）新松戸中央総合病院糖尿病・内分泌代謝内科
2）新松戸中央総合病院看護部
3）新松戸中央総合病院薬剤部
4）新松戸中央総合病院総合診療科・感染症内科

O24-5　HIV 陽性者のオーラルフレイル・口腔機能低下症の評価

鈴木信治[1)]、吉村幸浩[2)]、池野　良[1)]、加藤尊巳[1)]、鈴木　彰[1)]、朱　薫子[3)]、田村　彩[4)]、千葉容太[1)]、中澤よう子[5)]、本間隆之[6)]、宮田順之[2)]、川井直樹[1)]

1）神奈川県歯科医師会
2）横浜市立市民病院感染症内科
3）フリーランス
4）神奈川県健康増進課
5）神奈川県予防医学協会
6）株式会社マイ . ビジネスサービス

■日時：11 月 22 日（日）　11:30 ～ 12:20

■会場：第 5 会場（岡山県医師会館 3F 三木記念ホール）

口演 25（臨床・C）
症例報告・その他

座長　福島一彰
（がん・感染症センター都立駒込病院　感染症科 / 感染制御科）

岡田健作
（鳥取大学医学部附属病院）

O25-1　PCP 治療後 ART 未導入中にクリプトコッカス髄膜炎を発症し、ART 導入時期の判断に苦慮した一例

藤崎知園子[1,3)]、武　義人[2)]、平松　有[2)]、竹之内和則[3,4)]、大山陽子[3)]、東　貞行[4)]、田原明人[3)]、川村英樹[5)]、山口宗一[1,3,4)]、高嶋　博[2)]、橋口照人[3,4)]

1）鹿児島大学先端科学研究推進センター研究支援ユニット バイオバンク部門
2）鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　脳神経内科・老年病学分野
3）鹿児島大学病院　検査部
4）鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　血管代謝病態解析学分野
5）鹿児島大学大学院医歯学総合研究科　感染症専門医養成講座

O25-2　抗 HBV 作用を有する核酸系逆転写酵素阻害薬の投与下に服薬アドヒアランス不良を背景として HBV の初感染をきたした一例

菊地真歩、馬場有夢、中川翔太、宮本智美、中拂一彦、保科斉生、堀野哲也

東京慈恵会医科大学　感染症内科

O25-3　脳炎を発症し髄液からサイトメガロウイルスと水痘・帯状疱疹ウイルスが検出された AIDS 患者の一例

高嶋英樹[1)]、今井三枝子[2)]、叶内　至[3)]、阿部公俊[4)]、中尾安秀[1)]

1）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院総合診療科・感染症内科
2）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院看護部
3）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院薬剤部
4）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院糖尿病・内分泌代謝内科

O25-4　HIV 陽性者における末梢性制御性 T 細胞 (Treg) 測定の意義ーリアルワールドデータよりー

藤井輝久[1)]、中十奈苗[2)]、土石川佳世[2)]、山崎尚也[2)]

1）広島大学病院エイズ医療対策室
2）広島大学病院輸血部

O25-5　HIV 陽性血友病患者における筋質変化の部位特異性　CT 指標を用いた縦断比較研究

藤内宏典[1)]、原田裕子[1)]、遠藤知之[2,3)]、堀　弘明[1)]

1）北海道大学病院リハビリテーション部
2）北海道大学病院感染制御部
3）北海道大学病院 HIV 診療支援センター

■日時：11 月 22 日（日）　13:40 ～ 14:30

■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F　405 会議室）

口演 26（基礎・B）
病原性・病態

座長　鈴木陽一
（大阪医科薬科大学医学部 生物安全実験研究室）

武内寛明
（東京科学大学大学院医歯学総合研究科）

O26-1　HIV 感染者における細胞外小胞由来 miRNA と炎症関連因子との関連

豊田真子、Bago Mussa、Ndaki Kinuma、Jalloh Alhaji、上野貴将

熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター

O26-2 Uncovering *Prevotella* Associated Temperate Phages in the Gut Virome of People With Controlled HIV

Lucky Ronald Runtuwene[1)]、木口悠也[2)]、石坂　彩[1,3)]、古賀道子[3,4)]、四柳　宏[3,5)]、山本浩之[1)]、水谷壮利[1)]

1）国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター
2）Department of Medicine, Stanford University, CA, USA
3）東京大学医科学研究所附属病院
4）東京大学新世代感染症センター
5）国立健康危機管理研究機構

O26-3 HIV-1 gp140 による腸管上皮バリア障害に対するビタミン D-VDR シグナルの保護的役割の検討

矢崎有希[1)]、福本　敦[1,2)]、木村佳貴[1,2)]、吉野友祐[1,2)]

1）帝京大学医学部微生物学講座
2）帝京大学アジア国際感染症制御研究所

O26-4 Insight into the molecular determinants of monkey BST-2 underlying susceptibility to SIV antagonism

Thi Ngoc Mai Chu[1,2)]、Yamamoto Hiroyuki[1,2)]、Yoshida Takeshi[1)]

1）AIDS Research Center, National Institute of Infectious Diseases, Japan Institute for Health Security
2）Joint Research Center for Human Retrovirus Infection, Graduate School of Medical Sciences, Kumamoto University

O26-5 HIV-1 Env のウイルス粒子への取り込みに関与する Env 細胞内領域の機能解析

宮内浩典[1,2)]

1）国立研究開発法人理化学研究所　生命医科学研究センター
2）国立健康危機管理研究機構　国立感染症研究所　エイズ研究センター

■日時：11 月 22 日（日）　13:40 ～ 14:30

■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 27（社会・S）
MSM 政策医療体制

座長　日高庸晴
（宝塚大学看護学部）
四本美保子
（東京医科大学病院臨床検査医学科）

O27-1 クリニック間での HIV 患者受け入れに関する課題点について

迫田直樹[1)]、安岡紀登[1)]、中川あゆみ[1)]、矢倉裕輝[1,2)]、古林敬一[1)]、白阪琢磨[1,2)]

1）たによんスタートクリニック
2）国立病院機構大阪医療センター

O27-2 クリニックにおける MSM 向け HIV・性感染症検査キャンペーン（2025 年度実績報告）

阪野文哉[1)]、浜みなみ[1)]、川畑拓也[1)]、陰山朋久[2)]、町登志雄[2)]、寺内紗耶[3)]

1）地方独立行政法人　大阪健康安全基盤研究所
2）MASH 大阪
3）大阪府健康医療部保健医療室医療・感染症対策課

O27-3 東海地域における MSM を対象にした HIV/STI 検査行動の啓発普及方法の評価：2023 年度から 2026 年度の結果から

高久道子[1)]、金子典代[2)]、石田敏彦[3)]、藤浦裕二[3)]、塩野徳史[4)]

1）岐阜保健大学看護学部看護学科
2）名古屋市立大学大学院看護学研究科
3）ANGEL LIFE NAGOYA
4）大阪青山大学看護学部看護学科

O27-4 深夜の繁華街に来訪する若者の HIV/STI 感染リスク行動に関する研究

日高庸晴[1)]、土屋菜歩[2)]、白阪琢磨[3,4)]

1）宝塚大学看護学部
2）東北大学東北メディカル・メガバンク機構
3）国立病院機構大阪医療センター
4）公益財団法人エイズ予防財団

O27-5 A 病院における入院時 HIV 検査、10 年間の結果

村田　舞、坂部茂俊

伊勢赤十字病院

■日時：11 月 22 日（日） 14:30 ～ 15:40
■会場：第 4 会場（岡山コンベンションセンター 4F 405 会議室）

口演 28（基礎・B）
分子疫学・抗 HIV 薬

座長 菊地 正
（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所エイズ研究センター）

原田恵嘉
（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所）

O28-1 当センターの新規 HIV-1 診断例における PrEP 使用経験歴と治療前薬剤耐性変異の関連についての分子疫学的解析

林田庸総、潟永博之

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター

O28-2 末梢血中 HIV-1 プロウイルスゲノム近全長解析法の開発

松田昌和[1)]、山村喜美[1)]、重見 麗[1)]、大出裕高[1)]、横幕能行[1)]、今橋真弓[1,2)]

1）（独）国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
2）名古屋大学大学院医学系研究科 免疫不全統御学講座

O28-3 国内 HIV-1 伝播クラスタ動向（SPHNCS 分析）年報－ 2025 年

椎野禎一郎[1)]、今橋真弓[2)]、南 留美[3)]、中村麻子[4)]、林田庸総[5)]、吉村和久[6)]、杉浦 亙[1)]、菊地 正[7)]

1）国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター
2）国立病院機構名古屋医療センター
3）国立病院機構九州医療センター
4）福岡県保健環境研究所 保健科学部
5）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
6）大田区保健所
7）国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 エイズ研究センター

O28-4 コレセプター利用性の異なる HIV-1 による混合感染の次世代シークエンスを使用した縦断解析

前田洋助[1,2)]、近田貴敬[3)]、阿部 遙[4)]、寺沢広美[2)]、澤 智裕[2)]、Giang Van Tran[3,5)]、長谷部太[4)]

1）吉備国際大学看護学部看護学科
2）熊本大学生命科学研究部微生物学講座
3）ヒトレトロウイルス学共同研究センター
4）長崎大学熱帯医学研究所
5）National Hospital of Tropical Diseases, Hanoi, Vietnam

O28-5 HIV 侵入をターゲットとした抗体薬物複合体 (ADC)

松崎陸久[1)]、辻 耕平[1)]、桑田岳夫[2)]、三浦裕太郎[1)]、小早川拓也[1)]、松本佳穂[2)]、伊東祐二[3)]、吉矢 拓[4)]、松下修三[2)]、玉村啓和[1)]

1）東京科学大学総合研究院生体材料工学研究所
2）熊本大学ヒトレトロウイルス学研究センター
3）鹿児島大学大学院理工学研究科
4）株式会社ペプチド研究所

O28-6 Capsid の polymorphisms が HIV-1 の lenacapavir 耐性獲得に与える影響

青木 学[1)]、Makene Twilumba[2)]、豊田真子[2)]、上野貴将[2)]

1）熊本保健科学大学 保健科学部 医学検査学科
2）熊本大学 ヒトレトロウイルス学共同研究センター 感染免疫学分野

O28-7 2025 年の国内新規診断未治療 HIV 感染者・AIDS 患者における薬剤耐性 HIV-1 の動向

菊地 正[1)]、西澤雅子[1)]、林田庸総[1)]、潟永博之[1)]、遠藤知之[2)]、吉田 繁[3)]、伊藤俊広[4)]、古賀道子[5)]、浅倉弘幸[6)]、長島真美[6)]、貞升健志[6)]、佐野貴子[7)]、宇野俊介[8)]、谷口俊文[9)]、猪狩英俊[9)]、寒川 整[10)]、中島秀明[10)]、吉野友祐[11)]、茂呂 寛[12)]、渡邉珠代[13)]、今橋真弓[14)]、松田昌和[14)]、重見 麗[14)]、横幕能行[14)]、渡邊 大[15)]、阪野文哉[16)]、浜みなみ[16)]、川畑拓也[16)]、藤井輝久[17)]、高田清式[18)]、末盛浩一郎[18)]、中村麻子[19)]、南 留美[20)]、松下修三[21)]、仲村秀太[22)]、小島潮子[1)]、Lucky Runtuwene[1)]、椎野禎一郎[1)]、吉村和久[23]、杉浦 亙[1)]

1）国立健康危機管理研究機構
2）北海道大学
3）北海道医療大学
4）仙台医療センター
5）東京大学
6）東京都健康安全研究センター
7）神奈川県衛生研究所
8）慶應義塾大学
9）千葉大学
10）横浜市立大学
11）帝京大学
12）新潟大学
13）石川県立中央病院
14）名古屋医療センター
15）大阪医療センター
16）大阪健康安全基盤研究所
17）広島大学
18）愛媛大学
19）福岡県保健環境研究所
20）九州医療センター
21）熊本大学
22）琉球大学
23）大田区保健所

■日時：11 月 22 日（日） 14:30 ～ 15:20
■会場：第 6 会場（岡山県医師会館 4F 401 会議室）

口演 29（社会・S）
人権・倫理・U=U

座長　生島　嗣
（認定 NPO 法人ぷれいす東京）

座長　福岡里紗
（大阪大学大学院医学系研究科感染制御学）

O29-1　HIV 陽性者及び患者関連団体双方の視点における、U=U に対する信念、スティグマ、臨床的影響におけるギャップ

岩橋恒太[1)]、仲村秀太[2)]、Nneka Nwokolo[3)]、Brent Allan[4)]、Garry Brough[5)]、Mario Cascio[6)]、Erika Castellanos[7)]、Antonella Cingolani[8)]、Vuyiseka Dubula[9)]、W. David Hardy[10)]、Sindy Mbundwini[11)]、Marta McBritton[12)]、Mary Ndung'u[13)]、Annette Piecha[14)]、Bruce Richman[15)]、Ama Appiah[3)]、Mariel Mayer[3)]、Shaun Mellors[3)]、Rickesh Patel[3)]

1) 特定非営利活動法人 akta
2) 琉球大学大学院医学研究科　感染症・呼吸器・消化器内科学講座（第一内科）
3) ViiV Healthcare, London, UK
4) The National Association of People with HIV Australia, Newtown, Australia
5) Transformation Partners in Health and Care, London, UK
6) European AIDS Treatment Group (EATG), Brussels, Belgium
7) Global Action for Trans Equality (GATE), Mijdrecht, Netherlands
8) Fondazione Policlinico Universitario Agostino Gemelli IRCCS, Catholic University of the Sacred Heart, Rome, Italy
9) The Global Fund, Geneva, Switzerland
10) USC Rand Schrader HIV Clinic, Keck School of Medicine of USC, Los Angeles, CA, USA
11) Nelson Mandela University, Port Elizabeth, South Africa
12) Barong, Sao Paulo, Brazil
13) Women's Health in Women's Hands Community Centre, Toronto, Canada
14) Kompetenznetz HIV/AIDS e.V.
15) Prevention Access Campaign, New York, NY, USA

O29-2　ＨＩＶ陽性者に対する留置処遇の憲法的統制―特異被留置者指定と菊池事件の示す構造―

中野栄二[1,2,3)]

1) 中央大学
2) 特定非営利活動法人ぷれいす東京
3) 特定非営利活動法人 ASK（ASK 認定依存症予防教育アドバイザー）

O29-3　薬物を使用する HIV 陽性者への医療提供の連続性に関する実態調査―逮捕・勾留中・出所後を通じた切れ目のない支援に着目して―

生島　嗣[1)]、赤木寛隆[2)]、大木幸子[3)]、岡本　学[4)]、片山宗紀[5)]、村崎 美和[6)]、本間隆之[7)]、西川篤郎[1)]

1) NPO 法人ぷれいす東京
2) 法務省関東地方更生保護委員会
3) 杏林大学保健学部看護学科
4) 大阪医療センター
5) 北里大学医学部精神科学教室
6) 北里大学北里研究所病院
7) 株式会社マイ．ビジネスサービス

O29-4　People Living with HIV における HIV 関連スティグマの地域差に関する研究：多施設共同研究における初期解析

福岡里紗[1)]、松尾裕央[2)]、小野塚大介[2)]、忽那賢志[1,2)]

1) 大阪大学大学院医学系研究科感染制御学
2) 大阪大学医学部附属病院感染制御部

O29-5　HIV 陽性者における終活・将来の医療意思決定に関する意識と支援ニーズ：単施設横断的アンケート調査

今北菜津子、酒井勇紀、古西　満、笠原　敬

奈良県立医科大学　感染症内科学講座

■日時：11 月 20 日（金） 14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 A
（岡山コンベンションセンター 4F 406）

ビギナーズ ポスター BP-A1（基礎・B/ 臨床・C）

座長　高濱宗一郎
（九州医療センター 免疫感染症内科）

BP-A1-1 宿主 Cyclophilin A との相互作用における HIV-1 カプシド N 末端 β ヘアピン領域の新たな役割

久島一葉[1,2]、大出裕高[3]、塩田達雄[4]、岩谷靖雅[5]、山下満左裕[6]、齊藤　暁[1,2,7,8]

1）宮崎大学フロンティア科学総合研究センター
2）宮崎大学医学獣医学総合研究科
3）独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター
4）大阪大学 微生物病研究所
5）浜松医科大学 医学部医学科
6）Aaron Diamond AIDS Research Center, Columbia University Vagelos College of Physicians and Surgeons
7）宮崎大学農学部獣医学科
8）宮崎大学産業動物防疫リサーチセンター

BP-A1-2 HIV 感染者におけるクローン性造血（CHIP）と加齢関連疾患および一過性 / 持続性低レベルウイルス血症（BLIP/LLV）との関連

清水知成、松井宏行、キャロライン ジェラガト、鈴木光太郎、池田正俊、小西義延、岡本裕介、松本忠彦、白川康太郎、高折晃史

京都大学大学院医学研究科 血液内科学

BP-A1-3 カポジ肉腫で AIDS 発症し、ART 開始後周期的に全身状態悪化を認めた 1 例

熊本友子、澤田暁宏、徳川多津子、吉原　哲、日笠　聡

兵庫医科大学

BP-A1-4 悪性リンパ腫との鑑別を要した全身性リンパ腫脹や気道狭窄を伴う HIV 関連カポジ肉腫の 1 例

山本　賢[1]、高山耕治[1]、村田昌之[1]、下野信行[2]

1）九州大学病院総合診療科
2）唐津東松浦医師会センター

■日時：11 月 20 日（金） 14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 A
（岡山コンベンションセンター 4F 406）

ビギナーズ ポスター BP-A2（臨床・C）

座長　佐久川亮
（岡山赤十字病院）

BP-A2-1 CAB+RPV を導入した日本人高 BMI の PWH の一例

叶内　至[1]、今井三枝子[2]、阿部公俊[3]、高嶋英樹[4]、中尾安秀[4]、柳田義一[1]

1）IMS〈イムス〉グループ　新松戸中央総合病院　薬剤部
2）IMS〈イムス〉グループ　新松戸中央総合病院　看護部
3）IMS〈イムス〉グループ　新松戸中央総合病院　糖尿病・内分泌代謝内科
4）IMS〈イムス〉グループ　新松戸中央総合病院　総合診療科・感染症内科

BP-A2-2 簡易懸濁法による oral lead-in を経て長時間作用型カボテグラビル・リルピビリン導入に至った 1 例

高田紗衣[1]、松木克仁[1]、平野　淳[2]、羽柴知恵子[3]、今橋真弓[4,5]、平野隆司[1]、横幕能行[4,5]

1）NHO　名古屋医療センター　薬剤部
2）NHO　東名古屋病院　薬剤部
3）NHO　名古屋医療センター　看護部
4）NHO　名古屋医療センター　臨床研究センター　感染・免疫研究部
5）NHO　名古屋医療センター　感染症内科

BP-A2-3 EFV + TAF/FTC から BIC/TAF/FTC または DOR + TAF/FTC へ変更した患者における 96 週後体重変化の比較

岸田啓太郎[1]、中内崇夫[1]、祝洸太朗[1]、矢倉裕輝[1,2]、小西啓司[3]、中嶋恵理子[3]、廣田和之[3]、上地隆史[3]、西田恭治[3]、上平朝子[3]、白阪琢磨[3]、渡邊　大[2,3]

1）国立病院機構大阪医療センター薬剤部
2）国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター　エイズ先端医療研究部
3）国立病院機構大阪医療センター感染症内科

BP-A2-4 抗 HIV 療法の継続困難により AIDS を発症した 1 例

薛ショウ、村松　崇、金子　竣、原田侑子、宮下竜伊、加藤千博、一木昭人、近澤悠志、備後真登、四本美保子、天野景裕、木内　英

東京医科大学病院

BP-A2-5　未治療 AIDS 発症妊婦に対する治療選択と周産期管理に多角的対応を要した 1 例

今　元季[1,2)]、今村淳治[1,2)]、伊藤俊広[1)]、武山陽一[3)]、千葉洋夫[4)]、渡邉浩司[4)]

1）国立病院機構　仙台医療センター　感染症内科
2）国立病院機構　仙台医療センター　総合診療科
3）国立病院機構　仙台医療センター　産婦人科
4）国立病院機構　仙台医療センター　小児科

■日時：11 月 20 日（金）　14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 A
（岡山コンベンションセンター 4F 406）

ビギナーズ ポスター BP-A3（臨床・C）

座長　関谷綾子
（がん感染症センター都立駒込病院）

BP-A3-1　HHV-8 関連多中心性 Castleman 病 3 例の臨床的検討

西場大喜、吉村幸浩、宗　佑奈、伊東裕史、宮田順之、長谷川直樹

横浜市立市民病院 感染症内科

BP-A3-2　ART 導入後に治療方針を再検討し得た AIDS 関連中枢神経系原発悪性リンパ腫の一例

有馬聖志朗、山入端一貴、上　若生、井手口周平、仲村秀太、宮城一也、山本和子

琉球大学大学院医学研究科　感染症・呼吸器・消化器内科学講座（第一内科）

BP-A3-3　潜在性結核治療後の HIV 感染症患者に脳結核腫を発症した 1 例

西山史帆[1,2)]、松本佑慈[1,3)]、山本　賢[1)]、高山耕治[1)]、村田昌之[1)]、下野信行[1)]

1）九州大学病院
2）飯塚病院
3）九州中央病院

BP-A3-4　肝生検で診断した播種性 Mycobacterium avium complex(MAC) 症を合併した HIV 感染症の 1 例

武笠美彌、吉田恭子、福島一彰、相澤陽太、鄭　瑞雄、田中　勝、小林泰一郎、関谷綾子、矢嶋敬史郎、味澤　篤、今村顕史

都立駒込病院 感染症科

BP-A3-5　抗レトロウイルス療法下の HIV 感染症患者に発症した関節リウマチ：診断と抗リウマチ薬による治療経験

上野匡庸[1,2)]、宮川一平[1,2,3)]、齋藤和義[1,2,4)]、南　貴明[1)]、清水少一[2,5)]、稲村由香[2,6)]、中山田真吾[1)]

1）産業医科大学医学部　第 1 内科学講座
2）産業医科大学病院 HIV 診療センター
3）産業医科大学医学部　分子標的治療内科学講座
4）戸畑総合病院
5）産業医科大学医学部 免疫学・寄生虫学講座
6）産業医科大学病院　薬剤部

BP-A3-6　平均血小板容積は HIV 陽性者の eGFR 低下と相関するか

皆川祐亮[1)]、山口英美[1)]、村多杏美[1)]、生駒由奈[1)]、今村淳治[2)]

1）国立病院機構仙台医療センター薬剤部
2）国立病院機構仙台医療センター感染症内科

■日時：11 月 20 日（金）　14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 B
（岡山コンベンションセンター 4F 407）

ビギナーズ ポスター BP-B1（社会・S）

座長　末盛浩一郎
（愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学）

BP-B1-1　男性 HIV 陽性者のセクシュアリティと性行動および心理的傾向―セルフコントロールに着目して―

谷　英俊[1)]、津川秀夫[2)]、和田秀穂[1,3)]、安田万里子[1)]、福田寛文[1,3)]、平　えり[1)]

1）川崎医科大学附属病院
2）吉備国際大学
3）川崎医科大学

BP-B1-2　外国籍の HIV/HCV 重複感染例に対して、多職種・病診・薬薬連携により治療導入し得た一例

白濱　航[1)]、田中　透[2)]、辻　直樹[3)]、西　勇治[4)]、岡本健志[3)]、高田　昇[3)]

1）県立広島病院薬剤科
2）県立広島病院地域連携
3）県立広島病院総合診療科・感染症科
4）県立安芸津病院薬剤科

BP-B1-3 文化的・言語的背景に配慮した外国出身 HIV 陽性者への U=U 説明と服薬継続支援

宮城真理子[1)]、仲村秀太[2)]、前田サオリ[1)]、宮良尚子[4)]、金城隆展[3)]、前原一樹[5)]、大田久美子[6)]、宮城京子[1)]、砂川綾美[1)]、眞栄城智子[7)]

1）琉球大学病院看護部
2）琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
3）琉球大学病院地域・国際医療部
4）沖縄県公認心理士協会
5）琉球大学病院医療福祉センター
6）琉球大学病院薬剤部
7）琉球大学病院看護部長

BP-B1-4 Access to Antiretroviral Therapy (ART) among Foreign Residents: A Socioecological Review

INDRI KARTIKO-SARI[1,2)]、北島　勉[2)]

1）公益財団法人エイズ予防財団
2）杏林大学総合政策学部

BP-B1-5 歯科衛生士学生における HIV/AIDS および U=U に関する知識・意識調査

川井千恵子[1,2)]、神田　拓[2)]、岡本健志[3)]、高田　昇[3)]

1）県立広島病院　医療技術部
2）県立広島病院　歯科・口腔外科
3）県立広島病院　総合診療科・感染症科

BP-B1-6 歯科医療のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ実現に向けて - 北海道 HIV/AIDS 歯科医療ネットワーク事業の展開 -

中井　悠、坂田健一郎、佐藤　淳

北海道大学歯学研究院口腔病態学分野口腔診断内科学教室

■日時：11 月 20 日（金）　14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 B
（岡山コンベンションセンター 4F 407）

ビギナーズ ポスター BP-B2（臨床・C）

座長　齊藤誠司
（国立病院機構福山医療センター 感染症内科）

BP-B2-1 ビクテグラビル / テノホビルアラフェナミド / エムトリシタビン投与中の 2 型糖尿病を合併した 3 例におけるチルゼパチド開始後 48 週の体重変化および HbA1c の変化

祝洸太朗[1)]、中内崇夫[1)]、岸田啓太郎[1)]、矢倉裕輝[1,2)]、小西啓司[3)]、中嶋恵理子[3)]、廣田和之[1)]、上地隆史[3)]、西田恭治[3)]、上平朝子[3)]、白阪琢磨[3)]、渡邊　大[2,3)]

1）国立病院機構大阪医療センター　薬剤部
2）国立病院機構大阪医療センター　臨床研究センター　エイズ先端医療研究部
3）国立病院機構大阪医療センター　感染症内科

BP-B2-2 当院 HIV 感染者におけるサプリメント使用状況および抗 HIV 薬との相互作用の検討

久志井結衣[1)]、安田明子[1)]、渡邉珠代[2)]

1）石川県立中央病院薬剤部
2）石川県立中央病院免疫感染症科

BP-B2-3 地方中核病院における HIV 陽性者の併存疾患とポリファーマシー

木村誠二、富永正樹、木下　隆、星野友昭

久留米大学医学部内科学講座呼吸器・神経・膠原病内科部門

BP-B2-4 長時間作用型 CAB/RPV 導入例における患者疼痛の解析

池田慶介、和田達彦、山岡邦宏

北里大学病院　リウマチ膠原病・感染内科

BP-B2-5 HIV 持続性注射治療への切り替え支援における保険薬局薬剤師の役割

照屋良佳[1)]、成田　雅[2)]、嘉数光一郎[2)]、渡慶次真由美[2)]、向井三穂子[2)]、屋良　愛[1)]、松田絵理奈[1)]、安次富大[1)]、坂本政文[1)]、喜屋武芳美[1)]、佐藤雅美[1)]、宮里早香[1)]、寺本奈都子[1)]、金城夏乃[1)]

1）（株）薬正堂　すこやか薬局
2）沖縄県立南部医療センター・こども医療センター

■日時：11 月 20 日（金） 14:30 ～ 16:20
■会場：ビギナーズポスター会場 B
（岡山コンベンションセンター 4F 407）

ビギナーズ ポスター BP-B3（臨床・C）

座長　今村淳治
（国立病院機構仙台医療センター）

BP-B3-1 「いきなり AIDS」妊婦への抗 HIV 治療導入から出産、産後まで服薬支援できた一例

生駒由奈[1)]、山口英美[1)]、皆川祐亮[1)]、村多杏美[1)]、鈴木佳奈子[2)]、佐々木晃子[2)]、佐藤華絵[3)]、三浦麻衣[4)]、安達大紀[4)]、今　元季[4,5)]、伊藤俊広[4)]、今村淳治[4)]

1）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター薬剤部
2）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター看護部
3）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター地域医療連携室
4）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター感染症内科
5）独立行政法人国立病院機構仙台医療センター総合診療科

BP-B3-2 居住環境の不安を抱える患者の生活支援

前原一輝[1)]、石郷岡美穂[1)]、宮良尚子[2)]、前田サオリ[3)]、宮城京子[3)]、上間道仁[4)]、井手口周平[5)]、仲村秀太[5)]、山本和子[5)]、國場和仁[1)]、平田哲生[1)]

1）琉球大学病院　患者支援センター
2）沖縄国際大学　総合文化学部人間福祉学科
3）琉球大学病院　看護部
4）琉球大学病院　内分泌代謝・血液・膠原病リウマチ内科
5）琉球大学病院　感染症・呼吸器・消化器内科

BP-B3-3 ＨＩＶ陽性者への外来・入院から有料老人ホーム入所までを通した支援

中村翔太、松本香澄、青野加奈子、鳥越彩英子、永田若菜、宮丸桃子、石井智美、車　陽子、渡邉珠代

石川県立中央病院

BP-B3-4 浜松市内における療養環境の充実・拡大を目的とした出前講座

宮崎佳子、原　幸平、馬嶋里香、山崎郁真、田島靖久

浜松医療センター

BP-B3-5 北海道における CBO 主体の HIV・梅毒郵送検査キット配布活動の実践と課題

国見亮佑

一般社団法人にじいろほっかいどう

BP-B3-6 専門外来におけるソーシャルワーク実践一考察

冨永誠記[1)]、三木浩和[2)]、中村信元[3)]、後藤さおり[4)]、矢野由美子[4)]、泉　侑希[4)]、北上早紀[1)]、岡本秀樹[1)]、秋月佐代[1)]、後藤由香[1)]、松岡賢一[5)]

1）徳島大学病院患者支援センター
2）徳島大学病院輸血細胞治療部
3）徳島大学大学院医歯薬学研究部実践地域診療・医科学分野
4）徳島大学病院感染制御部
5）徳島大学大学院医歯薬学研究部血液・内分泌代謝内科学分野

■日時：11 月 21 日（土） 8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-B（基礎・B）
HIV 基礎研究

P-B-1 東海地方におけるイスラトラビルおよびドラビリンに対する薬剤耐性関連変異の出現頻度調査

重見　麗[1)]、山村喜美[1)]、松田昌和[1)]、大出裕高[1)]、岩谷靖雅[1,2)]、横幕能行[1)]、今橋真弓[1,3)]

1）独）国立病院機構　名古屋医療センター　臨床研究センター
2）浜松医科大学
3）名古屋大学大学院医学系研究科

P-B-2 ナノポアシークエンスによる HIV-1 準種ハプロタイプ配列推定

大出裕高[1)]、松田昌和[1)]、重見　麗[1)]、山村喜美[1)]、岩谷靖雅[1,2)]、横幕能行[1)]、今橋真弓[1,3)]

1）（独）国立病院機構名古屋医療センター　臨床研究センター
2）浜松医科大学医学部
3）名古屋大学大学院医学系研究科

P-B-3 タンパク質言語モデルを用いた抗 HIV-1 抗体の in silico somatic hyper mutation の検討

郭　　悠、伊東直哉

名古屋市立大学東部医療センター

■日時：11 月 21 日（土） 8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-S01（社会・S）
政策・医療体制

P-S01-1 四国地方における HIV 診療の実態と長期療養の課題―2023 ～ 2025 年 SHARE レジストリー解析―

末盛浩一郎[1)]、木原久文[1)]、山之内純[2)]、乗松 真大[3)]、池田　聖[4)]、武内世生[5)]、中村美保[6)]、内田俊平[7)]、三木 浩和[8)]、尾崎修治[9)]、高田清式[10)]

1）愛媛大学大学院医学系研究科 血液・免疫・感染症内科学
2）愛媛大学医学部附属病院　輸血・細胞治療部
3）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部
4）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
5）高知大学医学部附属病院　総合診療部
6）高知大学医学部附属病院　看護部
7）香川大学医学部附属病院　血液内科
8）徳島大学病院　輸血・細胞治療部
9）徳島県立中央病院　血液内科
10）医療法人愛寿会　西条愛寿会病院

P-S01-2 中核拠点病院連絡調整員事業の 14 年間の取り組み

池田和子[1)]、東　政美[2)]、白阪琢磨[2,3)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
2）独立行政法人国立国際病院機構　大阪医療センター
3）公益財団法人　エイズ予防財団

P-S01-3 琉球大学病院における HIV カウンセリング体制の変遷と今後の課題

上　　薫[1,2)]、宮良尚子[1,2,3)]、井村弘子[2)]、大城市子[1,2)]、照屋美波[1,2)]、新垣有紗[1,2)]、吉村和佳乃[1,2)]、辺土名優美子[1,2,4)]、前田サオリ[1)]、宮城京子[1)]、仲村秀太[5)]、山本和子[5)]

1）国立大学法人琉球大学琉球大学病院
2）沖縄県公認心理師協会
3）沖縄国際大学
4）医療法人天仁会 天久台病院
5）国立大学法人琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座

P-S01-4 新規エイズ治療拠点病院の申請を契機とした HIV 診療体制構築の取り組み

石原正志[1,6)]、松本利恵[1)]、三輪 典古[2)]、森本剛史[3)]、鈴木実優[4)]、李　　心[5)]、藤田　慧[5)]、原　武志[5)]、鶴見　寿[5,6)]

1）松波総合病院　薬剤部
2）松波総合病院　診療局看護師
3）松波総合病院　中央検査室
4）松波総合病院　PFM センター
5）松波総合病院　血液・腫瘍内科
6）岐阜大学医学部附属病院

P-S01-5 多職種を対象としたオンライン HIV 研修の教育効果の評価

石井智美[1)]、車　陽子[1)]、浅田裕子[1)]、渡邉珠代[2)]

1）石川県立中央病院　看護部
2）石川県立中央病院　免疫感染症科

P-S01-6 HIV 陽性者の歯科・透析医療および介護サービスアクセス向上のための地域連携体制構築に関する研究（第 1 報）

福地貴彦

自治医科大学附属さいたま医療センター 総合診療科

P-S01-7 北陸ブロック拠点病院における HIV 陽性者の実態調査

山田栞里[1,4)]、車　陽子[2)]、石井智美[2)]、渡邉珠代[3)]

1）石川県立中央病院 HIV 事務室
2）石川県立中央病院看護部
3）石川県立中央病院免疫感染症科
4）エイズ予防財団リサーチ・レジデント

P-S01-8 エイズ診療中核拠点病院における薬害 HIV 感染被害者支援の課題

高木雅敏[1)]、宮本祐輔[1)]、上村裕子[2)]、原田　薫[2)]、川田紀子[1)]、中村朋文[6)]、中田浩智[3)]、安永純一郎[5)]、松下修三[4)]

1）熊本大学病院看護部
2）熊本大学病院地域医療連携センター
3）熊本大学病院感染免疫診療部
4）熊本大学ヒトレトロウイルス学共同研究センター
5）熊本大学病院血液・膠原病・感染症内科
6）熊本大学病院中央検査部

■日時：11 月 21 日（土） 8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-S02（社会・S）
検査・相談体制

P-S02-1 日本と台湾における HIV 検査・相談体制に関する課題：スコーピングレビュー

井坂ゆかり[1,2)]、中澤眞生[1,3)]、堀　　愛[1,2)]、鈴木広道[1,2)]、橋本英樹[1,4)]、柯　乃熒[5)]

1）筑波大学
2）筑波大学トランスボーダー医学研究センター
3）筑波大学大学院人間総合科学研究科
4）筑波大学附属病院
5）国立台湾成功大学

P-S02-2 HIV 迅速検査キット供給制限・供給停止が保健所等の HIV 検査提供体制に及ぼした影響－全国質問票調査－

本間隆之 [1)]、今村顕史 [2)]

1）株式会社マイ . ビジネスサービス
2）都立駒込病院感染症科

P-S02-3 Microsoft Forms を利用した新宿東口検査・相談室における HIV アンケート調査（第二報）

貞升健志 [1)]、長島真美 [2)]、岩橋恒太 [3)]、岩崎直哉 [2)]、本間隆之 [4)]、三宅啓文 [2)]、千葉隆司 [2)]、潟永博之 [5)]、西塚　至 [2,6)]、吉村和久 [7)]、白阪琢磨 [8)]、四本美保子 [9)]

1）関東学院大学栄養学部
2）東京都健康安全研究センター
3）特定非営利活動法人 akta
4）株式会社マイ . ビジネスサービス
5）JIHS 国立国際医療センター
6）東京都保健医療局
7）大田区保健所
8）エイズ予防財団
9）東京医科大学病院

P-S02-4 保健所を対象とした HIV 検査に関するアンケート調査

貞升健志 [1)]、今橋真弓 [2)]、長島真美 [3)]、吉村和久 [4)]、横幕能行 [2)]

1）関東学院大学栄養学部
2）NHO 名古屋医療センター
3）東京都健康安全研究センター
4）大田区保健所

P-S02-5 HIV 検査試薬の供給停止が国内 HIV 検査体制に与えた影響

佐野貴子 [1)]、草川　茂 [2)]、菊地　正 [2)]、松岡佐織 [2)]、須藤弘二 [3)]、近藤真規子 [3)]、今井光信 [4)]、加藤眞吾 [3)]、今村顕史 [5)]、山岸拓也 [6)]

1）神奈川県衛生研究所微生物部
2）国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所エイズ研究センター
3）株式会社ハナ・メディテック
4）田園調布学園大学
5）東京都立駒込病院感染症科
6）国立健康危機管理研究機構国立感染症研究所薬剤耐性研究センター

P-S02-6 常設夜間休日 HIV 検査場における外国籍検査者の動向と支援体制の強化について

毛受矩子、上林孝子、宮本伸枝、大角順子、折井由美子、徳永羊子、鎌田美恵子、沢田恵美子、藤本佳子、高田由紀子

NPO 法人スマートらいふネット

P-S02-7 HIV/AIDS 看護の人材育成における課題とその要因 ―エイズワーキンググループ活動に参加する看護師の視点から―

坂本涼子 [1)]、藤井輝久 [2)]

1）広島大学病院　看護部・エイズ医療対策室
2）広島大学病院　輸血部・エイズ医療対策室

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 10:00

■会場：展示ホール

ポスター P-S03（社会・S）
行動科学・意識調査 / 陽性者支援

P-S03-1 HIV 感染症患者の受け入れ意向と実績に関連する因子の検討―出張研修前後の比較解析―

木原久文 [1)]、末盛浩一郎 [1)]、宮崎雅美 [2)]、若松　綾 [2)]、池田　聖 [3)]、中尾　綾 [4)]、乗松真大 [5)]、竹中克斗 [1)]

1）愛媛大学大学院医学系研究科　血液・免疫・感染症内科学
2）愛媛大学医学部附属病院　看護部
3）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
4）愛媛大学大学院医学系研究科　感染制御学
5）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部

P-S03-2 HIV 感染症患者の受け入れ不安に関連する因子の検討―出張研修前後の比較解析―

木原久文 [1)]、末盛浩一郎 [1)]、宮崎雅美 [2)]、若松　綾 [2)]、池田　聖 [3)]、中尾　綾 [4)]、乗松真大 [5)]、竹中克斗 [1)]

1）愛媛大学大学院医学系研究科　血液・免疫・感染症内科学
2）愛媛大学医学部附属病院　看護部
3）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
4）愛媛大学大学院医学系研究科　感染制御学
5）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部

P-S03-3 HIV とともに生きる人々における AIDS 発症リスクに関する低リスク認知と孤独感との関連

林　　鵬 [1,2,4)]、上條槙子 [3)]、谷内　通 [4)]、久保かおり [2)]、渡邊珠代 [2)]

1）公益財団法人エイズ予防財団
2）石川県立中央病院
3）帝京大学
4）金沢大学

P-S03-4 HIV 陽性者における HIV 関連スティグマの時間的変化―陽性判明後から 1 年前までとこの 1 年間の比較―

阿部桜子[1)]、井上洋士[2)]、高久陽介[3)]、
戸ヶ里泰典[4)]、大島　岳[5)]、細川陸也[6)]、
山内麻江[7)]、米倉佑貴[8)]、関由起子[9)]、塩野徳史[10)]、
井上智史[11)]、伊藤佳七子[3)]、若林チヒロ[12)]

1）TIS 株式会社
2）アクセライト
3）日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
4）放送大学
5）明治大学
6）京都府立医科大学
7）順天堂大学
8）聖路加国際大学
9）埼玉大学
10）大阪青山大学
11）九州大学
12）埼玉県立大学

P-S03-5 HIV 陽性者における市販薬不適切使用の実態と理由―HIV Futures Japan 第 4 回調査より

戸ヶ里泰典[1)]、井上洋士[2)]、高久陽介[3)]、
大島　岳[4)]、阿部桜子[5)]、細川陸也[6)]、
山内麻江[7)]、米倉佑貴[8)]、関由起子[9)]、
塩野徳史[10)]、井上智史[11)]、伊藤佳七子[1)]、
若林チヒロ[12)]

1）放送大学
2）アクセライト
3）日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
4）明治大学
5）TIS
6）京都府立医科大学
7）順天堂大学
8）聖路加国際大学
9）埼玉大学
10）大阪青山大学
11）九州大学
12）埼玉県立大学

P-S03-6 長時間作用型注射剤への治療変更を経験した PLWH の治療受容と日常生活への影響

久保田早苗[1)]、青嶋瑞樹[1)]、鈴木麻衣[2)]、
池田麻穂子[2)]、福井由希子[2)]、内藤俊夫[2)]

1）順天堂大学医学部附属順天堂医院薬剤部
2）順天堂大学医学部総合診療科学講座

P-S03-7 当科通院 HIV 患者の性格検査に関する実態調査

大友　健[1)]、木村聡太[1)]、大金美和[1)]、
杉野祐子[1)]、鈴木ひとみ[1)]、池田和子[1)]、
谷口　紅[1)]、大杉福子[1)]、野崎宏枝[1)]、
向井博子[1,2)]、知久熙眞[1)]、高橋昌也[1)]、
宮本里香[1)]、加藤　温[3)]、照屋勝治[1)]、
潟永博之[1)]

1）国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
2）公益財団法人エイズ予防財団
3）国立国際医療センター　精神科

P-S03-8 近接性が HIV 陽性者に対する態度に及ぼす影響

上條槙子[1,2)]、谷内　通[2)]

1）帝京大学
2）金沢大学

P-S03-9 薬害 HIV 感染被害者における高ミトコンドリア毒性抗 HIV 薬累積曝露量と握力との関連

原田裕子[1)]、藤内宏典[1)]、堀　弘明[1)]、
新井崇之[3,4)]、田澤佑基[3,4)]、遠藤知之[2,3)]

1）北海道大学病院リハビリテーション部
2）北海道大学病院感染制御部
3）北海道大学病院 HIV 診療支援センター
4）北海道大学病院薬剤部

■日時：11 月 22 日（日）　10:30 ～ 12:00

■会場：展示ホール

ポスター P-S04（社会・S）
ソーシャルワーク / 薬害

P-S04-1 米国ハームリダクション実践にみる支援の哲学

新田慎一郎[1,2,3)]、高野　歩[1)]、
ATICI Selim Gokce[4,5)]

1）国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 薬物依存研究部
2）特定非営利活動法人 ぷれいす東京
3）医療法人社団ゆうりん ゆうりんクリニック
4）プリンストン大学
5）東京大学 東京カレッジ

P-S04-2 学校教育と連携する思春期の HIV/AIDS の予防啓発活動～高校 2 年生に対する HIV/AIDS の意識調査～

海老名徹[1)]、立田卓登[1)]、赤木智昭[1)]、後藤高志[2)]、小林克徳[3)]、青木一朗[4)]、高林良子[5)]、三浦　真[6)]、里村智彦[7)]、三橋信子[8)]、佐藤忠全[9)]、高井和紀[10)]、葛西広和[11)]、沼田　徹[12)]、船橋亜矢[1)]、定　　孝[13)]、菊池香織[13)]、安宍美咲[13)]、工藤雅庸[14)]、久保恒明[1)]、秋野　桂[13)]

1) 青森県立中央病院血液内科
2) 公共社団法人青森県医師会
3) 一般社団法人青森県歯科医師会
4) 一般社団法人青森県薬剤師会
5) 公共社団法人青森県看護協会
6) 青森県高等学校長会
7) 青森県私立中学高等学校長会
8) 青森県中学校長会
9) 青森県特別支援学校長会
10) 青森県教育庁スポーツ健康課
11) 青森県こども家庭部県民活躍推進課
12) 青森県弁護士会
13) 青森県健康医療福祉部
14) 青森県保健所長会

P-S04-3 多数透析施設で受入拒否を受けた HIV 陽性者患者における透析導入と維持の課題 (第 1 報)―倫理的意思決定と地域連携による解決―

宗好祐子[1)]、吉岡典子[2)]、東郷和美[3)]、大道淳二[4)]、三村陽子[5)]、佐久川亮[6)]

1) 岡山赤十字病院医療社会事業部医療社会事業課
2) 岡山赤十字病院看護部
3) 岡山赤十字病院精神神経科
4) 岡山赤十字病院薬剤部
5) 重井医学研究所附属病院入退院支援センター
6) 岡山赤十字病院呼吸器内科

P-S04-4 多数透析施設で受入拒否を受けた HIV 陽性者患者における透析導入と維持の課題（第 2 報）ー維持透析の受入を行った地域の非拠点病院の立場からー

三村陽子[1)]、宗好祐子[2)]、森安香緒里[3)]、産賀知子[4)]、佐久川亮[5)]

1) 重井医学研究所附属病院入退院支援センター
2) 岡山赤十字病院医療社会事業課
3) 重井医学研究所附属病院看護部
4) 重井医学研究所附属病院血液浄化療法センター
5) 岡山赤十字病院呼吸器内科

P-S04-5 HIV 感染症患者の療養支援に関する Ns と MSW の協働について - 第 5 回 Ns と MSW の協働シンポジウムのアンケート結果から -

三嶋一輝[1)]、大金美和[2)]、杉野祐子[2)]、谷口　紅[2)]、高橋昌也[2)]、百田亜紀子[1)]、田村梨華[1)]、葛田衣重[3)]、潟永博之[2)]

1) 福井大学医学部附属病院
2) 国立国際医療研究センター病院
3) 千葉大学医学部附属病院

P-S04-6 HIV 感染症患者の療養支援に関する心理職と MSW の協働について - 第 2 回心理職と MSW の協働シンポジウムのアンケート結果から -

三嶋一輝[1)]、木村聡太[2)]、高橋昌也[2)]、高野公輔[3)]、青野加奈子[4)]、越野紗矢[4)]、高村佳幸[5)]、葛田衣重[6)]、潟永博之[2)]

1) 福井大学医学部附属病院
2) 国立国際医療研究センター病院
3) 明治学院大学
4) 石川県立中央病院
5) 順天堂医院
6) 千葉大学医学部附属病院

P-S04-7 A 地域における薬害 HIV 訴訟期の血友病 HIV 感染者の「相互ケアシステム」

山田富秋[1)]、種田博之[2)]、入江恵子[3)]、小川良子[4)]、宮本哲雄[5)]、松枝亜希子[6)]

1) 特定非営利活動法人　社会理論・動態研究所
2) 産業医科大学
3) 北九州市立大学
4) 所属なし
5) 大阪医療センター
6) 社会理論・動態研究所

P-S04-8 薬害 HIV 感染血友病等患者のがん検診促進と公認心理師の役割に関する動画教材の制作・公開

田中貴大[1)]、保坂　隆[1,2)]、後藤智己[3)]、古賀道子[1)]、福田あかり[1)]、柿沼章子[3)]、四柳　宏[1,4)]

1) 東京大学医科学研究所附属病院　感染免疫内科
2) 保坂サイコオンコロジー・クリニック
3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
4) 国立健康危機管理研究機構

■日時：11 月 22 日（日） 10:30 ～ 12:00
■会場：展示ホール

ポスター P-S05（社会・S）
薬害

P-S05-1 薬害 HIV 感染者に対する個別救済のための病病連携における患者と医療従事者の課題

大杉福子、野崎宏枝、知久熙眞、鈴木ひとみ、杉野祐子、大金美和、宮本里香、木村聡太、高橋昌也、上村　悠、中本貴人、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

P-S05-2 薬害 HIV 感染血友病患者における緊急時受診先調整の実態と課題

野崎宏枝[1)]、大杉福子[1)]、谷口　紅[1)]、向井博子[1,2)]、池田和子[1)]、鈴木ひとみ[1)]、杉野祐子[1)]、大金美和[1)]、木村聡太[1)]、大友　健[1)]、高橋昌也[1)]、宮本里香[1)]、上村　悠[1)]、照屋勝治[1)]、潟永博之[1)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター
2）公益財団法人　エイズ予防財団

P-S05-3 HIV 感染血友病患者における移動困難感と地域差の検討

宮本高明[1)]、西原将太[1)]、木下雄介[1)]、岡田貴裕[1)]、松崎春希[1)]、山本克彦[1)]、大金美和[2)]、柿沼章子[3)]、藤谷順子[1)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　リハビリテーション科
2）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
3）社会福祉法人　はばたき福祉事業団

P-S05-4 血液製剤による HIV 感染者の調査成績（令和 7 年度）第 2 報 通院の状況

川戸美由紀[1)]、三重野牧子[2)]、橋本修二[3)]、天野景裕[4)]、大金美和[5)]、岡本　学[6)]、潟永博之[5)]、日笠　聡[7)]、八橋 弘[8)]、渡邊　大[6)]、白阪琢磨[6)]

1）国立保健医療科学院
2）自治医科大学
3）藤田医科大学
4）東京医科大学
5）国立健康危機管理研究機構
6）国立病院機構大阪医療センター
7）兵庫医科大学病院
8）国立病院機構長崎医療センター

P-S05-5 血液製剤による HIV 感染者の調査成績（令和 7 年度）第 3 報 喫煙・飲酒の状況

三重野牧子[1)]、川戸美由紀[2)]、橋本修二[3)]、天野景裕[4)]、大金美和[5)]、岡本　学[6)]、潟永博之[5)]、日笠　聡[7)]、八橋　弘[8)]、渡邊　大[6)]、白阪琢磨[6)]

1）自治医科大学情報センター
2）国立保健医療科学院
3）藤田医科大学
4）東京医科大学
5）国立健康危機管理研究機構
6）国立病院機構大阪医療センター
7）兵庫医科大学病院
8）国立病院機構長崎医療センター

P-S05-6 薬害エイズおよびエイズ・パニックに関する認知度調査の結果

日下　都

任意団体　PLANET（HIV・エイズとともに生きる人々）

P-S05-7 「生きる」を支える―高齢化する薬害 HIV 患者の地域支援に向けた教育資源作成と普及活動の実践―

長浦由紀[1)]、石田陽子[2)]、高田知恵子[3)]、中川雄真[4)]、関口　愛[5)]、曽我真千恵[6)]、濱田航一郎[1)]、三木浩司[7)]、南　留美[6)]

1）長崎大学病院 総合診療科
2）北海道大学病院 HIV 診療支援センター／公益財団法人エイズ予防財団
3）タカタ・カウンセリング・オフィス
4）常葉大学 教育学部
5）大分大学医学部臨床薬理学講座
6）九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター
7）小倉記念病院 緩和ケア・精神科

■日時：11 月 22 日（日） 10:30 ～ 12:00
■会場：展示ホール

ポスター P-S06（社会・S）
潜在外国人 / その他

P-S06-1 外国籍HIV感染症患者の臨床的特徴とART継続支援の課題

廣田和之[1)]、小西啓司[1,2)]、上地隆史[1)]、中嶋恵理子[1)]、渡邊　大[1,2)]、西田恭治[1)]、上平朝子[1)]、白阪琢磨[1)]

1）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター　感染症内科
2）独立行政法人国立病院機構大阪医療センター　臨床研究センターエイズ先端医療研究部

P-S06-2 当院における外国籍 PWH の臨床的特徴と早期診断・支援体制の課題

高江洲壮[1,2)]、仲村秀太[1)]、長谷川知彦[1)]、山入端一貴[1)]、新垣若子[1)]、前田さおり[3)]、宮城京子[3)]、田里大輔[2)]、山本和子[1)]

1）琉球大学大学院医学研究科　感染症・呼吸器・消化器内科学講座（第一内科）
2）北部地区医師会病院　呼吸器・感染症科
3）琉球大学病院看護部　外来

P-S06-3 北陸 HIV 情報センターにおける外国人 HIV 陽性者支援の実態と課題　―支援記録を用いた後方視的検討―

山崎玲子、西念奈津江、中崎しげ子、今井由三代

北陸 HIV 情報センター

P-S06-4 日本在住外国人の HIV 検査情報探索とチャットボット支援ニーズに関する質的研究

ThiHue Tran[1)]、北島　勉[2)]、宮首弘子[3)]、沢田貴志[4)]、Shakya Supriya[5)]

1）神戸女子大学
2）杏林大学総合政策学部
3）杏林大学外国語学部
4）神奈川県横浜市神奈川区港町診療所
5）Japan Foundation for AIDS Prevention

P-S06-5 「男性間性的接触 Same Sex Sexual Behavior（SSSB）に関する遺伝子研究」についての文献学的研究

立川夏夫

名寄東病院

P-S06-6 性感染症予防啓発活動を支えるボランティアスタッフのやりがいと困難さ - 予防啓発に従事する CBOs の活動をサポートするための方策の検討 -

澤田華世[1)]、町登志雄[2)]、藤井良樹[3)]、塩野徳史[4)]

1）名古屋市立大学大学院　看護学研究科
2）MASH 大阪
3）名古屋大学大学院　人文学研究科　博士研究員
4）大阪青山大学　看護学部　看護学科

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C01（臨床・C）
薬害

P-C01-1 HIV 感染血友病患者の機能的自立度は筋量より筋質を反映する―Phase Angle を用いた検討―

松崎春希[1)]、宮本高明[1)]、西原将太[1)]、木下雄介[1)]、岡田貴裕[1)]、山本克彦[1)]、大金美和[2)]、柿沼章子[3)]、藤谷順子[1)]

1）国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　リハビリテーション科
2）国立健康危機管理研究機構　国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター
3）社会福祉法人　はばたき福祉事業団

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C02（臨床・C）
日和見感染・悪性腫瘍・肝炎

P-C02-1 HIV RNA 抑制下に発症・再燃した HIV 関連カポジ肉腫の臨床的特徴

中本貴人、川島　亮、井上恵理、桑田　亮、源河いくみ、矢崎博久、安藤尚克、上村　悠、水島大輔、青木孝弘、菊池　嘉、照屋勝治、潟永博之

国立健康危機管理研究機構　国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

P-C02-2 AIDS 発症 PLWH における ART 開始後に発症したサイトメガロウイルス臓器障害

吉川　寛、谷口俊文、矢幅美鈴、猪狩英俊、河井彬弘

千葉大学医学部附属病院感染制御部・感染症内科

P-C02-3 当院における HIV 陽性びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫の治療経験：単施設 4 例

小林宣彦[1)]、小川孔幸[1)]、松本　彬[1)]、反町百花[1)]、塚田明彦[1)]、西連寺由起子[1)]、寺崎幸恵[1)]、武井寿史[1)]、宮澤悠里[1)]、柳澤邦雄[2)]、内海英貴[3)]、半田　寛[1)]

1）群馬大学医学部附属病院血液内科
2）深谷赤十字病院内科
3）医療法人社団日高会　白根クリニック

P-C02-4 HIV 治療を自己中断し AIDS 発症で入院となった 15 症例の検討

金子　竣、村松　崇、大崎俊樹、原田侑子、加藤千博、宮下竜伊、一木昭人、近澤悠志、備後真登、四本美保子、天野景裕、木内　英

東京医科大学病院　臨床検査医学科

P-C02-5 外国籍 HIV 陽性者における播種性非結核性抗酸菌症発症と長期管理

宮下竜伊、大崎俊樹、金子　竣、一木昭人、近澤悠志、備後真登、村松　崇、四本美保子、天野景裕、木内　英

東京医科大学病院臨床検査医学科

P-C02-6 薬害 HIV・HCV 共感染先天性血友病 A 患者に発症した AFP 産生胃癌肝転移の 1 例

松本　彬[1)]、小川孔幸[2)]、柳澤邦雄[3)]、石崎芳美[4)]、樋口裕哉[5)]、城田陽子[6)]、桑原陽子[7)]、武井寿史[1)]、小林宣彦[1)]、宮澤悠里[1)]、内海英貴[8)]、半田　寛[1)]

1) 群馬大学医学部附属病院　血液内科
2) 群馬大学医学部附属病院　輸血部
3) 深谷赤十字病院　内科
4) 群馬大学医学部附属病院　看護部
5) 群馬大学医学部附属病院　薬剤部
6) 群馬大学医学部附属病院　医事課（エイズ予防財団）
7) 群馬大学医学部附属病院　患者支援センター
8) 白根クリニック

P-C02-7 重症ニューモシスチス肺炎を契機に診断された HIV 感染症の致死的経過

高濱宗一郎[1)]、中川ともみ[2)]、犬丸真司[2)]、長與由紀子[2)]、南　留美[1)]、中嶋恵理子[3)]、藤田　綾[4)]

1) 国立病院機構　九州医療センター　免疫感染症内科
2) 国立病院機構　九州医療センター　看護部
3) 国立病院機構　大阪医療センター　感染症内科
4) 国立病院機構　九州医療センター　病理診断科

■日時：11 月 22 日（日）　10:30 ～ 12:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C03（臨床・C）
抗 HIV 療法

P-C03-1 HIV 陽性者における Doravirine ベースレジメンの使用実態：DATuM IDEA を用いた後ろ向き観察研究

服部純子[1)]、上元純平[1)]、松下一鈴[2)]、端本直輝[2)]、松本圭以[2)]、風戸知子[2)]、村上亜弥[3)]

1) MSD 株式会社
2) TOPPAN ホールディングス株式会社
3) 株式会社 CLINICAL STUDY SUPPORT

P-C03-2 Switch to DORAVIRINE/ISLATRAVIR (DOR/ISL 100 mg/0.25 mg) QD from BIC/FTC/TAF: 96-Week Update from a Blinded Phase 3 Study

初澤由香理[1)]、Amy E. Colson[2)]、Anthony M. Mills[3)]、Moti Ramgopal[4)]、Christopher Bettacchi[5)]、Olayemi Osiyemi[6)]、Federico Hinestrosa[7)]、Gordon Crofoot[8)]、Harold P. Katner[9)]、Gatanaga Hiroyuki[10)]、Margaret Johnson[11)]、Chenguang Zhang[12)]、Tracy L. Diamond[12)]、Erika Barninger[12)]、Michelle C. Fox[12)]、Mengchun Li[12)]

1) MSD 株式会社
2) Community Resource Initiative, Boston, MA and Cambridge Health Alliance
3) Men's Health Foundation
4) Midway Immunology and Research Center
5) HIV Center, North Texas Infectious Diseases Consultants
6) Triple O Research Institute
7) Orlando Immunology Center
8) The Crofoot Research Center, Inc.
9) Mercer University School of Medicine
10) AIDS Clinical Center, NCGM
11) Royal Free London NHS Foundation Trust
12) Merck & Co, Inc.

P-C03-3 Switch to DORAVIRINE/ISLATRAVIR (DOR/ISL 100 mg/0.25 mg) QD from Oral ART: Week 96 Update from an Open-Label Phase 3 Study

初澤由香理[1)]、Chloe Orkin[2)]、Rosie Mngqibisa[3)]、Juan Diego Velez[4)]、Princy Kumar[5)]、Dominiqu Braun[6)]、Andrew Carr[7)]、Mark Bloch[8)]、Sharon Walmsley[9)]、Pablo Tebas[10)]、Alexandra Calmy[11)]、Monica Fuszard[12)]、Tracy Diamond[12)]、Beth Jackson[12)]、Michelle C. Fox[12)]、Jason Kim[12)]

1) MSD 株式会社
2) Queen Mary University of London
3) Enhancing Care Foundation, Wentworth Hospital
4) Fundacion Valle del Lili
5) Division of Infectious Diseases, Georgetown University Medical Center
6) University Hospital of Zurich
7) University of New South Wales
8) Holdsworth House Sydney
9) University of Toronto Department of Medicine
10) Penn Center for AIDS Research, University of Pennsylvania
11) HIV/AIDS Unit, Division of Infectious Diseases, Geneva University Hospitals
12) Merck & Co., Inc.

P-C03-4 抗 HIV 治療開始後の臨床検査値 5 年間の推移：電子カルテデータベースを用いた後向き観察研究

服部純子[1)]、上元 純平[1)]、松下一鈴[2)]、端本直輝[2)]、松本圭以[2)]、別府　汐[2)]、風戸知子[2)]、村上亜弥[3)]

1) MSD 株式会社
2) TOPPAN ホールディングス株式会社
3) 株式会社 CLINICAL STUDY SUPPORT

P-C03-5 Efficacy and Safety of Doravirine/Islatravir (100/0.25mg) in Adults with HIV and Renal Impairment

服部純子[1)]、Frank Post[2)]、Princy Kumar[3)]、Chloe Orkin[4)]、Amy Colson[5)]、Moti N. Ramgopal[6)]、Alexandra Calmy[7)]、Gatanaga Hiroyuki[8)]、Jonathan Underwood[9)]、Stephanie O. Klopfer[10)]、Anjana Grandhi[10)]、Ciaran J. McMullan[10)]、Matthew G. Johnson[10)]、Jason Y. Kim[10)]、Rima Lahoulou[10)]、Michelle C. Fox[10)]

1) MSD 株式会社
2) King's College Hospital NHS Foundation Trust
3) Division of Infectious Diseases, Georgetown University Medical Center
4) SHARE Collaborative, Faculty of Medicine and Dentistry, Queen Mary University of London
5) Community Resource Initiative, Boston, MA and Cambridge Health Alliance
6) Midway Immunology and Research Center
7) HIV/AIDS Unit, Division of Infectious Diseases, Geneva University Hospitals
8) AIDS Clinical Center, NCGM
9) Infection and Immunity, Cardiff University, Cardiff, UK and Infectious Diseases, Cardiff and Vale University Health Board
10) Merck & Co., Inc.

P-C03-6 ドルテグラビル / ラミブジン 2 剤療法の有効性に対する後方視的観察研究 - 続報 -

築地茉莉子[1)]、谷口俊文[2)]、矢幅美鈴[2)]、吉川　寛[2)]、内田雅士[1)]、猪狩英俊[2)]、石井伊都子[1)]

1) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部
2) 千葉大学医学部附属病院 感染症内科

P-C03-7 血液製剤による HIV 感染者の調査成績（令和 7 年度）第 1 報 健康状態と生活状況の概要

白阪琢磨[1)]、川戸美由紀[2)]、橋本修二[3)]、三重野牧子[4)]、天野景裕[5)]、大金美和[6)]、岡本　学[1)]、潟永博之[6)]、日笠　聡[7)]、八橋　弘[8)]、渡邊　大[1)]

1) 国立病院機構大阪医療センター
2) 国立保健医療科学院
3) 藤田医科大学
4) 自治医科大学
5) 東京医科大学
6) 国立健康危機管理研究機構
7) 兵庫医科大学病院
8) 国立病院機構長崎医療センター

P-C03-8 ドルテグラビル＋ラミブジンの 2 剤療法への簡素化と併用薬の影響について

大田久美子[1)]、上原　仁[1)]、諸見牧子[1)]、仲村秀太[2)]、井手口周平[2)]、神矢佑輔[1)]、宮城京子[3)]、前田サオリ[3)]、平良悠馬[4)]、石郷岡美穂[5)]、前原一輝[5)]、金城隆展[6)]、中村克徳[1)]

1) 琉球大学病院薬剤部
2) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科
3) 琉球大学病院看護部
4) 琉球大学病院第一内科
5) 琉球大学病院医療福祉センター
6) 琉球大学病院地域・国際医療部

P-C03-9 当院における長時間作用型カボテグラビル・リルピビリン（CAB + RPV）導入例の血中濃度推移とウイルス学的転帰：単施設後方視的記述研究

青嶋瑞樹[1)]、久保田早苗[1)]、池田麻穂子[2)]、鈴木麻衣[2)]、福井由希子[2)]、内藤俊夫[2)]

1) 順天堂大学医学部附属順天堂医院　薬剤部
2) 順天堂大学医学部総合診療科学講座

P-C03-10 夫婦同一レジメン採用による HIV 感染症患者のアドヒアランス向上：マラウイ人男性と日本人女性夫婦の 1 症例

妹尾和憲[1)]、水鶏口隼人[1)]、佐藤只空[1)]、洲山佳寛[2)]、菅原隆文[2)]、因幡由美子[3)]、上林智子[3)]、岡本良一[1)]

1) 広島市民病院総合診療・感染症科
2) 同薬剤部
3) 同看護部

P-C03-11 内服中断しがちな精神疾患・知的障害を有するHIV感染者への注射薬カボテグラビル＋リルピビリン導入の取組み

堀江健太[1)]、山之内純[1)]、中尾　綾[1)]、池田　聖[2)]、宮崎雅美[3)]、中川進平[4)]、乗松真大[4)]、末盛浩一郎[1)]、竹中克斗[1)]

1）愛媛大学医学部附属病院　血液・免疫・感染症内科
2）愛媛大学医学部附属病院　総合診療サポートセンター
3）愛媛大学医学部附属病院　看護部
4）愛媛大学医学部附属病院　薬剤部

P-C03-12 長期間のアドヒアランス不良患者に対する注射療法の効果

彼谷裕康

富山県立中央病院　感染症内科

P-C03-13 長期作用型注射療法ボカブリア水懸筋注＋リカムビス® 水懸筋注の実臨床での有用性と課題

松浦千裕、横室友美、吉村　歩、五十嵐俊、山本郁生

横浜市立市民病院

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C04（臨床・C）
高齢化・健康寿命

P-C04-1 HIV感染症患者における抗HIV薬レジメンの推移とポリファーマシーに関する後方視的検討

横尾卓也[1)]、花井雄貴[2)]、大谷真理子[1,3)]、磯田　凌[1)]、山浦美咲[1)]、下山航平[1)]、前田　正[4)]、宮崎泰斗[3,4)]、吉澤定子[5)]、松本高広[1)]

1）東邦大学医療センター大森病院薬剤部
2）明治薬科大学臨床感染症学研究室
3）東邦大学医療センター大森病院感染管理部
4）東邦大学医療センター大森病院総合診療・急病センター
5）東邦大学医療センター大森病院臨床検査部

P-C04-2 HIV陽性患者の入院背景の変化

吉村　歩[1)]、高崎祐里[1)]、横山悠香[1)]、松浦千裕[1)]、横室友美[1)]、五十嵐俊[1)]、吉村幸浩[2)]、山本郁生[1)]

1）横浜市立市民病院薬剤部
2）横浜市立市民病院感染症内科

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C05（臨床・C）
生活習慣病合併症

P-C05-1 広島大学病院のART施行患者における脂質異常症の現状

山崎尚也[1)]、芳本和子[2)]、坂本涼子[2)]、獅々田由美[2)]、土石川かよ[1)]、齊藤誠司[3)]、藤井輝久[1)]

1）広島大学病院輸血部
2）広島大学病院看護部
3）独立行政法人国立病院機構 福山医療センター　感染症内科 / 広島県東部地区エイズ治療センター

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C06（臨床・C）
体重増加・副作用

P-C06-1 テノホビルは脂肪酸β酸化を抑制し脂肪滴肥大化を誘導する

福本　敦[1,2)]、矢崎有希[1)]、木村佳貴[1,2)]、吉野友祐[1,2)]

1）帝京大学医学部微生物学講座
2）帝京大学アジア国際感染症制御研究所

P-C06-2 ビクテグラビル開始後の体重増加に関する後方視的観察研究

藤田清香、梅本憂衣、平田亮介、大石博史、松岡志歩、江端成美、松尾待池、高野　豪、藤瀬陽子、山脇一浩

独立行政法人国立病院機構九州医療センター薬剤部

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C07（臨床・C）
HAND・メンタルヘルス・薬物依存

P-C07-1 認知症疾患医療センターにおける認知機能障害を伴うHIV陽性者の受け入れ状況に関する調査研究

橋本　衛[1)]、鈴木麻希[2)]、池田　学[3,4)]

1）近畿大学医学部精神神経科学教室
2）大阪大学大学院連合小児発達学研究科行動神経学・神経精神医学
3）大阪精神医療センター脳とこころの未来医療センター
4）大阪大学ウェルネス推進機構健康支援相談センター

P-C07-2 神経心理学的検査（CoCoBattery）は抗HIV薬による認知機能改善の評価に有用か

西田拓洋[1)]、中尾　綾[2)]、谷　英俊[3)]、嶋田梨沙[4)]、海面　敬[5)]、中村美保[1)]、盛實篤史[1)]、和田秀穂[3)]、内田俊平[4)]、尾崎修治[5)]、河邉憲太郎[6)]、山之内純[2)]

1）高知大学医学部附属病院
2）愛媛大学医学部附属病院
3）川崎医科大学附属病院
4）香川大学医学部附属病院
5）徳島県立中央病院
6）石手内科

P-C07-3 中年期HIV陽性者におけるPOMS2実施状況と背景情報の関連の検討

黄　寛美[1,3)]、藤井輝久[1,2)]、喜花伸子[1)]、杉本悠貴恵[1)]

1）広島大学病院エイズ医療対策室
2）広島大学病院輸血部
3）公益財団法人エイズ予防財団　リサーチレジデント

P-C07-4 若年HIV陽性者の社会的孤立と精神的健康の関係について

金井講治[1)]、長瀬亜岐[1)]、田宮裕子[2)]、白阪琢磨[2)]、安尾利彦[2)]、岡本　学[2)]、神野未佳[2)]

1）三重大学保健管理センター
2）大阪医療センター

P-C07-5 HIV関連神経認知障害患者の就労支援における心理士の役割―復職・新規就労に至った2事例から―

曽我真千恵、南　留美、高濱宗一郎、犬丸真司、長與由紀子、中川ともみ、首藤美奈子、大里文誉

国立病院機構九州医療センター

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C08（臨床・C）
臨床薬理・PK / PD

P-C08-1 持効性注射製剤の血漿中カボテグラビルおよびリルピビリン濃度の経時的推移とUGT1A1およびCYP3A5遺伝子多型が及ぼす影響

矢倉裕輝[1,2)]、中内崇夫[2)]、久利　歩[1)]、岸田啓太郎[2)]、祝洸太朗[2)]、小西啓司[3)]、廣田和之[3)]、上地隆史[3)]、西田恭治[3)]、上平朝子[3)]、白阪琢磨[3)]、渡邊　大[1,3)]

1）国立病院機構 大阪医療センター　臨床研究センター　エイズ先端医療研究部
2）国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
3）国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

■日時：11月21日（土）　8:30 ～ 10:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C09（臨床・C）
薬剤耐性（臨床・C）

P-C09-1 薬剤耐性Mycoplasma genitalium感染症に対するニトロイミダゾール系抗菌薬療法の有効性および安全性：単群非盲検介入研究

桑田　亮[1)]、安藤尚克[1)]、水島大輔[1)]、清水陽介[2)]、澤田航太[2)]、上村夕香理[2)]、久保田寛顕[3)]、小林甲斐[3)]、水戸部森歌[3)]、三宅啓文[3)]、森　功次[3)]、新谷由衣[1)]、高野　操[1)]、川島　亮[1)]、青木孝弘[1)]、潟永博之[1)]

1）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2）国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター
3）東京都健康安全研究センター 微生物部

■日時：11月22日（日）　10:30 ～ 12:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C10（臨床・C）
薬剤師・薬局・服薬アドヒアランス

P-C10-1 患者チェックシート「マイたび」の活用経験が薬局薬剤師の認識に与える影響：Webアンケートによる前向き横断研究

日笠真一、島袋翔多、秀田恭子、仲井俊行、中村豪志、田中邦佳

兵庫医科大学病院　薬剤部

P-C10-2 HIV感染症患者における院外保険薬局との連携強化ならびに患者支援の充実化を目的とした情報提供書の発行と情報共有の有用性の検証 - 保険薬局薬剤師の評価 -

平野　淳[1,2)]、矢倉裕輝[3)]、増田純一[4)]、平田亮介[5)]、中内崇夫[3)]、松木克仁[6)]、石井　良[7)]、石井聡一郎[8)]、國本雄介[9)]、田澤佑基[10)]、井上正朝[11)]、佐藤　萌[12)]、三枝祐美[13)]、安田明子[14)]、白濱　航[15)]、林　誠[1)]

1）国立病院機構東名古屋病院 薬剤部
2）国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター
3）国立病院機構大阪医療センター 薬剤部
4）国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター 薬剤部
5）国立病院機構九州医療センター 薬剤部
6）国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部
7）新潟県立新発田病院 薬剤部
8）広島大学病院 薬剤部
9）札幌医科大学附属病院 薬剤部
10）北海道大学病院 薬剤部
11）旭川医科大学病院 薬剤部
12）国立病院機構仙台医療センター 薬剤部
13）新潟大学医歯学総合病院 薬剤部
14）石川県立中央病院 薬剤部
15）県立広島病院 薬剤科

P-C10-3 HIV 感染症患者における抗 HIV 薬服用に伴う負担・不安の実態と関連因子の検討―チェックシートデータを用いた後ろ向き観察研究―

秀田恭子、日笠真一、島袋翔多、仲井俊行、中村豪志、田中邦佳

兵庫医科大学病院薬剤部

P-C10-4 HIV/AIDS 中四国ブロック拠点病院・中核拠点病院・拠点病院における抗 HIV 薬および凝固因子製剤の供給体制に関する実態調査

石井聡一郎[1)]、藤井健司[1)]、藤井輝久[2,3)]、松尾裕彰[1)]

1）広島大学病院薬剤部
2）広島大学病院輸血部
3）広島大学病院エイズ医療対策室

P-C10-5 プロンプトの情報量が生成 AI の HIV 治療薬相談対応に与える影響

宮島寛幸

地方独立行政法人長野県立病院機構　長野県立こども病院

P-C10-6 HIV 感染症患者におけるセルフチェックシート項目の経年変化とその関連因子の後ろ向き解析

渡辺裕子[1,2)]、日笠真一[3)]、荒目俊明[2)]、下村翔一[1)]、岩根禎男[1,2)]

1）くるみ薬局兵庫医大店
2）くるみ薬局武庫川店
3）兵庫医科大学病院　薬剤部

P-C10-7 HIV 感染患者におけるトレーシングレポートを活用の現状と 4 年前との比較検討

山本順也

ココカラファイン薬局谷町四丁目駅店

P-C10-8 保険薬局薬剤師の「U=U」の理解と処方箋の応需対応への不安要因　～動画研修に関する追加報告～

野口梨紗[1)]、海老昌子[1)]、澤田智世[1)]、冨澤星華[2)]、松谷　定[3)]、伊藤智代[4)]、阿部真也[4)]、佐々木愛[5)]、野村和彦[5)]

1）調剤薬局ツルハドラッグ白金台店
2）調剤薬局ツルハドラッグおゆみ野南店
3）調剤薬局ツルハドラッグ尼崎武庫元町店
4）株式会社ツルハ
5）株式会社ツルハホールディングス

P-C10-9 抗 HIV 長時間作用型注射剤の中止要因に関する実態調査

梅本憂衣、平田亮介、藤田清香、高野　豪、藤瀬陽子、山脇一浩

国立病院機構　九州医療センター

P-C10-10 ライフスタイルを考慮したレジメン選択：DOR/ISL へ切り替えた HIV 感染者の 1 症例

松尾待池、平田亮介、藤田清香、梅本憂衣、江端成美、松岡志歩、高野　豪、藤瀬陽子、山脇一浩

九州医療センター

P-C10-11 岡山県下 6 病院における患者および薬剤師を対象としたビクタルビ配合錠 ®PTP 製剤に関するアンケート調査

大道淳二[1)]、平良奈々[1)]、槇田崇志[2)]、清水久美子[3)]、亀尾剛士[4)]、立石　翼[5)]、佐藤可奈[6)]、佐久川亮[7)]、森　英樹[1)]

1）岡山赤十字病院薬剤部
2）岡山大学病院薬剤部
3）岡山済生会総合病院薬剤部
4）川崎医科大学付属病院薬剤部
5）川崎医科大学総合医療センター薬剤部
6）倉敷中央病院薬剤部
7）岡山赤十字病院呼吸器内科

P-C10-12 薬剤師の外来 HIV 診療に対する不安解消に向けた取り組み

平田亮介[1)]、山口泰弘[2)]、梅本憂衣[1)]、藤田清香[1)]、小泉陽奈子[1)]、藤瀬陽子[1)]、山脇一浩[1)]

1）国立病院機構九州医療センター　薬剤部
2）第一薬科大学　薬学部　薬剤設計学分野

P-C10-13 薬局における PWH への ACP 支援ツール「もしも手帳」配布の取り組み

田橋美佳

薬樹薬局三ツ沢

P-C10-14 HIV 感染症患者が求める服薬支援に関する実態調査

並河真菜[1)]、宮本愛梨沙[1)]、迫田直樹[2)]

1）都島センター薬局
2）法円坂薬局

■日時：11 月 22 日（日） 8:30 ～ 10:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C11（臨床・C）
PEP・PrEP・STI・STD

P-C11-1 MSM におけるジアルジア・クリプトスポリジウム症の国内伝播

川島　亮[1,2,3]、明石恵実[4]、大城雄介[4]、
柳川泰昭[1,3]、下河原理江子[3]、黒川正美[4]、
土屋亮人[1]、山元　佳[5]、秋山純一[6]、安藤尚克[1]、
上村　悠[1]、青木孝弘[1]、水島大輔[1,2]、
八木田健司[3]、潟永博之[1,2]、渡辺恒二[7]

1）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター エイズ治療研究開発センター
2）熊本大学大学院 医学教育部 ヒトレトロウイルス学共同研究センター
3）国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 寄生動物部
4）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 中央検査部門
5）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 国際感染症センター
6）国立健康危機管理研究機構 国立国際医療センター 消化器内科
7）東海大学　生体防御学講座

P-C11-2 MSM における非複雑性 *Chlamydia trachomatis* 感染症に対するドキシサイクリン 3 日間療法

安藤尚克[1]、水島大輔[1]、清水陽介[2]、
上村夕香里[2]、澤田航太[2]、高野　操[1]、
青木孝弘[1]、川島　亮[1]、桑田　亮[1]、新谷由衣[1]、
潟永博之[1]

1）国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター エイズ治療・研究開発センター
2）国立健康危機管理研究機構 臨床研究センター データサイエンス部生物統計研究室

P-C11-3 神経梅毒 29 症例の臨床像の検討

新垣若子[1]、仲村秀太[1]、高江洲壮[2]、
井手口周平[1]、上　若生[1]、古堅　誠[1]、
宮城一也[1]、山本和子[1]

1）琉球大学大学院医学研究科　感染症・呼吸器・消化器内科学講座（第一内科）
2）北部地区医師会病院

P-C11-4 札幌における PrEP 開始後の現状と直面している課題について

池田　博[1]、池田詩子[2]、市原浩司[3]、砂押研一[4]、
生島　嗣[5]、三輪岳史[5]、高野　操[6]、水島大輔[6]

1）池田内科
2）宮の森レディースクリニック
3）札幌中央病院
4）ていね駅前泌尿器科
5）ぷれいす東京
6）国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発センター

■日時：11 月 21 日（土） 10:30 ～ 12:00
■会場：展示ホール

ポスター P-C12（臨床・C）
U=U と挙児希望・母子感染・歯科

P-C12-1 妊婦 HIV スクリーニング検査陽性時の診療連携体制、説明内容および心理的反応に関する全国調査

吉野直人[1,2]、伊藤由子[2]、岩動ちず子[2]、
小山理恵[2]、菊池琴佳[2]、幅野　渉[2]、
高橋尚子[1,2]、杉浦　敦[2]、田中瑞恵[2]、
高野政志[2]、出口雅士[2]、喜多恒和[2]

1）愛知県立大学 看護学部
2）「HIV 感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発および診療体制の整備と均てん化のための研究」班

P-C12-2 当院で経験した女性 PLWH の診療状況とその課題

齊藤誠司[1,2]、福井洋介[1,2]、山崎由佳[2,3]、
河野恭宏[2,4]、安岡悠典[2,4]、野田綾香[2,4]、
濱岡照隆[4]、木梨貴博[2]、飯塚暁子[2]、坂田達朗[2]、
和田秀穂[5]

1）独立行政法人国立病院機構　福山医療センター　感染症内科
2）同　広島県東部地区エイズ治療センター
3）同　看護部
4）同　薬剤部
5）川崎医科大学付属病院　エイズ治療センター

P-C12-3 血友病患者における HIV 感染と頭蓋内出血の関連および口腔機能低下への影響

新谷智章[1]、岡田美穂[2]、川越麻衣子[2]、
岩田倫幸[3]、山崎尚也[4,5]、藤井輝久[4,5]、
柴　秀樹[6]

1）広島大学病院口腔検査センター
2）広島大学病院歯科衛生部門
3）広島大学病院歯周診療科
4）広島大学病院輸血部
5）広島大学病院エイズ医療対策室
6）広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

P-C12-4 HIV 感染妊婦における経膣分娩選択への歩み～最新版「経膣分娩マニュアル改訂追補版（2026 年 3 月）」について～

林　公一[1,8]、出口雅士[2,8]、山田里佳[3,8]、喜多恒一[4,8]、杉野祐子[5,8]、羽柴知恵子[6,8]、吉野直人[7,8]、厚労科研費：HIV 母子感染予防班 吉野直人研究班[8]

1）NHO 関門医療センター
2）神戸大学大学院医学研究科地域社会医学ネットワーク学分野
3）JA　愛知県厚生連海南病院
4）奈良市総合医療検査センター
5）国立国際医療センター・エイズ治療・研究開発センター
6）NHO 名古屋医療センター
7）愛知県立大学看護学部
8）厚生労働省科学研究補助金エイズ対策政策研究事業：「HIV 母子感染予防班」

P-C12-5 HIV 陽性者における子どもを持つことの断念経験と支援ニーズ

細川陸也[1]、井上洋士[2]、戸ヶ里泰典[3]、高久陽介[4]、大島　岳[5]、阿部桜子[6]、山内麻江[7]、米倉佑貴[8]、関由起子[9]、塩野徳史[10]、井上智史[11]、伊藤佳七子[2]、若林チヒロ[12]

1）京都府立医科大学
2）アクセライト
3）放送大学
4）日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
5）明治大学
6）TIS
7）順天堂大学
8）聖路加国際大学
9）埼玉大学
10）大阪青山大学
11）九州大学
12）埼玉県立大学

■日時：11 月 21 日（土）　8:30 ～ 10:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C13（臨床・C）
看護・長期療養・チーム医療

P-C13-1 ブロック拠点病院の支援により非拠点病院で持効性注射剤を導入した高齢 HIV 感染者の一例

田村美喜[1,2]、辻　晃朗[1,3]、横尾ゆかり[1]、猪俣萌子[1]、須貝　恵[1,3]、増沢磨理[1]、三枝祐美[1,4]、鈴木啓記[1,4]、阿部静太郎[1,5]、柴田　怜[1,5]、青木信将[5]、青木美栄子[1,2]、茂呂　寛[1,5]

1）新潟大学医歯学総合病院　HIV 感染症総合支援センター
2）新潟大学医歯学総合病院　看護部
3）公益財団法人　エイズ予防財団
4）新潟大学医歯学総合病院　薬剤部
5）新潟大学医歯学総合病院　呼吸器・感染症内科

P-C13-2 多系統萎縮症を合併した HIV 感染症患者への多職種連携による転院支援――注射製剤への移行に関連した転院調整の障壁

伊藤慶洋[1]、村元祐子[2]、浦野睦美[2]、鈴木優子[2]、田口李砂[2]、塚田そのみ[2]、大森健太郎[3]、宮城島拓人[4]

1）労働者健康安全機構　釧路労災病院　地域医療連携室
2）労働者健康安全機構　釧路労災病院　看護部
3）労働者健康安全機構　釧路労災病院　薬剤部
4）労働者健康安全機構　釧路労災病院　内科

P-C13-3 重度介護を要した HIV 患者の在宅療養継続を支えたシームレスな医療連携―療養病棟と訪問診療の一体的運用の 1 例―

大石　毅[1]、川路聖子[3]、園　徳子[3]、遠藤一平[4]、上久保淑子[1,2]

1）医療法人財団圭友会　小原病院
2）東京医科大学臨床検査医学分野
3）医療法人財団圭友会　小原病院　看護部
4）医療法人財団圭友会　小原病院　介護部

P-C13-4 HIV 陽性患者における経口抗レトロウイルス療法から長期作用型注射製剤への治療移行後に患者が認識するベネフィットおよびデメリット：質的帰納的研究

杉山仁美[1]、臼井依都子[1]、田中利江子[1]、杉村鮎美[2]、中川ひろみ[2]

1）岐阜大学医学部附属病院看護部
2）国立大学法人東海国立機構岐阜大学医学部看護学科

P-C13-5 HIV 感染者における家族や大切な人との高齢期から人生の最終段階を見据えた話し合いの実態

八鍬類子[1,2]、堀田宗一郎[3]、川上明希[1]、田中真琴[1]

1）東京科学大学保健衛生学研究科
2）東京医療保健大学千葉看護学部
3）東京医科大学医学部看護学科

P-C13-6 進行性多巣性白質脳症（PML）を合併していた HIV 患者の意思決定支援における看護の一例

井上桃花、前田愛子、影森彩夏

国立健康危機管理研究機構国立国際医療センター看護部

P-C13-7 HIV 長期作用型注射剤導入に向けた外来看護師教育介入の施行と評価

多田志穂、雨宮喜美子、河西洋子

地方独立行政法人　東京都立病院機構　がん・感染症センター都立駒込病院

P-C13-8 外来における HIV 陽性者への継続的療養支援体制の検討

南村　茜[1)]、七條明代[1)]、樋野優子[1)]、
植田景子[1)]、大川美加[1)]、中村明世[2)]

1）奈良県立医科大学附属病院 C 棟 8 階
2）奈良県立医科大学附属病院　感染管理室

P-C13-9 HIV 陽性者を『特別な患者』にしない ―医療療養型病院における介護実践と職員教育―

遠藤一平[1)]、上久保淑子[3,4)]、川路聖子[2)]、
園　徳子[2)]、大石　毅[3,4)]

1）医療法人財団圭友会　小原病院　介護部
2）医療法人財団圭友会　小原病院　看護部
3）医療法人財団圭友会　小原病院
4）東京医科大学臨床検査医学分野

P-C13-10 HIV 陽性患者を支える看護体制の構築－療養病棟における看護実践報告－

園　徳子[1)]、川路聖子[1)]、上久保淑子[3,4)]、
遠藤一平[2)]、大石　毅[3,4)]

1）医療法人財団圭友会　小原病院　看護部
2）医療法人財団圭友会　小原病院　介護部
3）医療法人財団圭友会　小原病院
4）東京医科大学臨床検査医学分野

P-C13-11 MA-T 口腔ケア製品を活用した効果と今後の課題

今井三枝子[1)]、高嶋英樹[2)]、叶内　至[3)]、
阿部公俊[4)]、中尾安秀[2)]

1）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院
2）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院総合診療科・感染症内科
3）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院薬剤部
4）医療法人財団明理会新松戸中央総合病院糖尿病・内分泌代謝内科

■日時：11 月 22 日（日）　10:30 ～ 12:00

■会場：展示ホール

ポスター P-C14（臨床・C）
症例報告

P-C14-1 ウイルス学的抑制が得られている HIV 感染者において、安定した気管支拡張症の経過中に顕在化した HIV 関連肺動脈性肺高血圧症

柳　秀高、津田歩美

東海大学総合内科

P-C14-2 歯科受診を契機に発見された HIV 感染症の 1 例

岡田美穂[1)]、應原一久[2)]、新谷智章[3)]、
川越麻衣子[1)]、岩田倫幸[2)]、山崎尚也[4)]、
藤井輝久[4)]、柴　秀樹[5)]

1）広島大学病院診療支援部歯科部門
2）広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学研究室
3）広島大学病院口腔検査センター
4）広島大学病院輸血部
5）広島大学大学院医系科学研究科歯髄生物学研究室

P-C14-3 HIV 感染判明直後のパートナーへの病名打ち明けに対する看護師の意思決定支援

前田サオリ[1)]、仲村秀太[2)]、宮城京子[1)]、
新垣有紗[3)]、吉村和佳乃[3)]、前原一輝[3)]、
石郷岡美穂[3)]、金城隆展[4)]、上原　仁[5)]、
大田久美子[5)]、宮良尚子[6)]、石垣永夢歌[7)]、
山本和子[2)]、眞榮城智子[1)]

1）琉球大学病院看護部　外来
2）琉球大学大学院医学研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
3）琉球大学病院医療福祉センター
4）琉球大学病院地域・国際医療部
5）琉球大学病院薬剤部
6）沖縄県公認心理師協会
7）琉球大学病院検査・輸血部血液検査室

P-C14-4 ニューモシスチス肺炎を契機に判明した HIV 陽性者の寒冷凝集素症の一例

上田晃弘[1)]、馬渡桃子[1)]、丸木孟知[2)]、余語　萌[3)]

1）日本赤十字社医療センター感染症科
2）済生会中央病院総合診療・感染症内科
3）日本赤十字社医療センター血液内科

P-C14-5 抗 HIV 治療前、治療中に HIV 関連血小板減少症をきたした 2 例

赤木智昭、海老名徹、立田卓登、久保恒明

青森県立中央病院血液内科

P-C14-6 Brentuximab vedotin + AVD 療法を完遂することができた HIV 患者に発症したホジキンリンパ腫

加藤潤一[1)]、森　健人[2)]、中尾　綾[1,3)]、
増田侑也[1)]、小西達矢[4)]、名部彰悟[1)]、丸田雅樹[1)]、
宮崎幸大[1)]、越智俊元[1)]、山之内純[4)]、竹中克斗[1)]

1）愛媛大学医学部　血液・免疫・感染症内科学講座
2）市立宇和島病院　血液内科
3）愛媛大学医学部　感染制御学講座
4）愛媛大学医学部附属病院　輸血・細胞治療部

P-C14-7　経管栄養施行下にビクタルビ配合錠を簡易懸濁法で投与し薬物血中濃度を評価した１例

関　将行[1)]、長島浩二[1)]、増田純一[1)]、川島　亮[2)]、桑田　亮[2)]、照屋勝治[2)]、潟永博之[2)]、西村富啓[1)]

1）国立国際医療センター　薬剤部
2）国立国際医療センター　エイズ治療・研究開発セン ター

P-C14-8　多職種連携により集学的治療を完遂し得たHIV 関連中枢神経原発リンパ腫の一例

井上政弥[1,2)]、林　克起[2)]、宇賀田典美[2)]、岡田隆宏[2)]、中元隆浩[3)]、土井教雄[3)]、伊達雅子[4)]、安部紀子[4)]、成相晴美[5)]、高野由美子[6)]、後藤悦子[4)]、鈴木律朗[2)]

1）島根大学医学部附属病院輸血部
2）島根大学医学部附属病院血液内科
3）島根大学医学部附属病院薬剤部
4）島根大学医学部附属病院看護部
5）島根大学医学部附属病院地域医療連携センター
6）島根大学医学部附属病院 HIV カウンセラー

P-C14-9　生活背景および併用薬を考慮した初回 ART 導入支援を行った一例

辻田麻衣[1)]、宇高　歩[1)]、溝端友希[1)]、藤井千賀[1)]、中野光世[2)]、長谷川耕平[2)]、小川吉彦[2)]

1）堺市立総合医療センター　薬剤科
2）堺市立総合医療センター　感染症内科